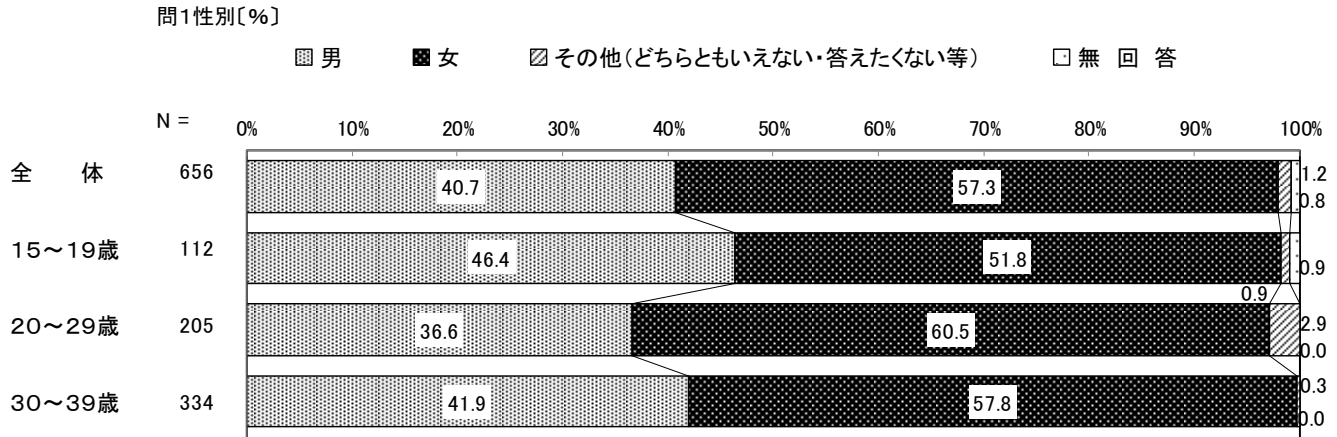


4. こども・若者の意識と生活に関する調査

4.1 あなたについて

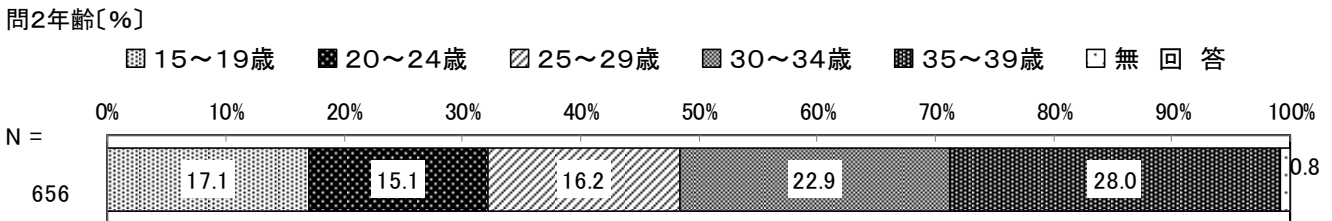
問1 あなたの性別をお答えください。

全体では、「女」が57.3%と高く、「男」が40.7%となっています。



問2 あなたの年齢についてお答えください。令和6年4月1日時点の年齢をお答えください。

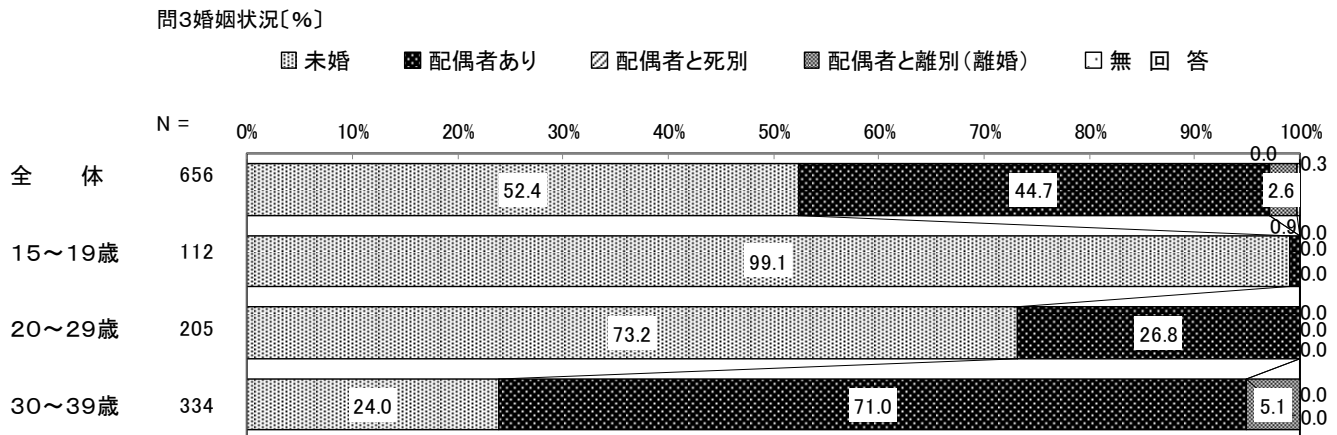
全体では、「35~39歳」が28.0%と高く、「30~34歳」が22.9%、「15~19歳」が17.1%となっています。



問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないものの事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

全体では、「未婚」が52.4%と半数を超え、「配偶者あり」が44.7%、「配偶者と離別（離婚）」が2.6%となっています。

「配偶者あり」は20~29歳で26.8%、30~39歳で71.0%となっています。

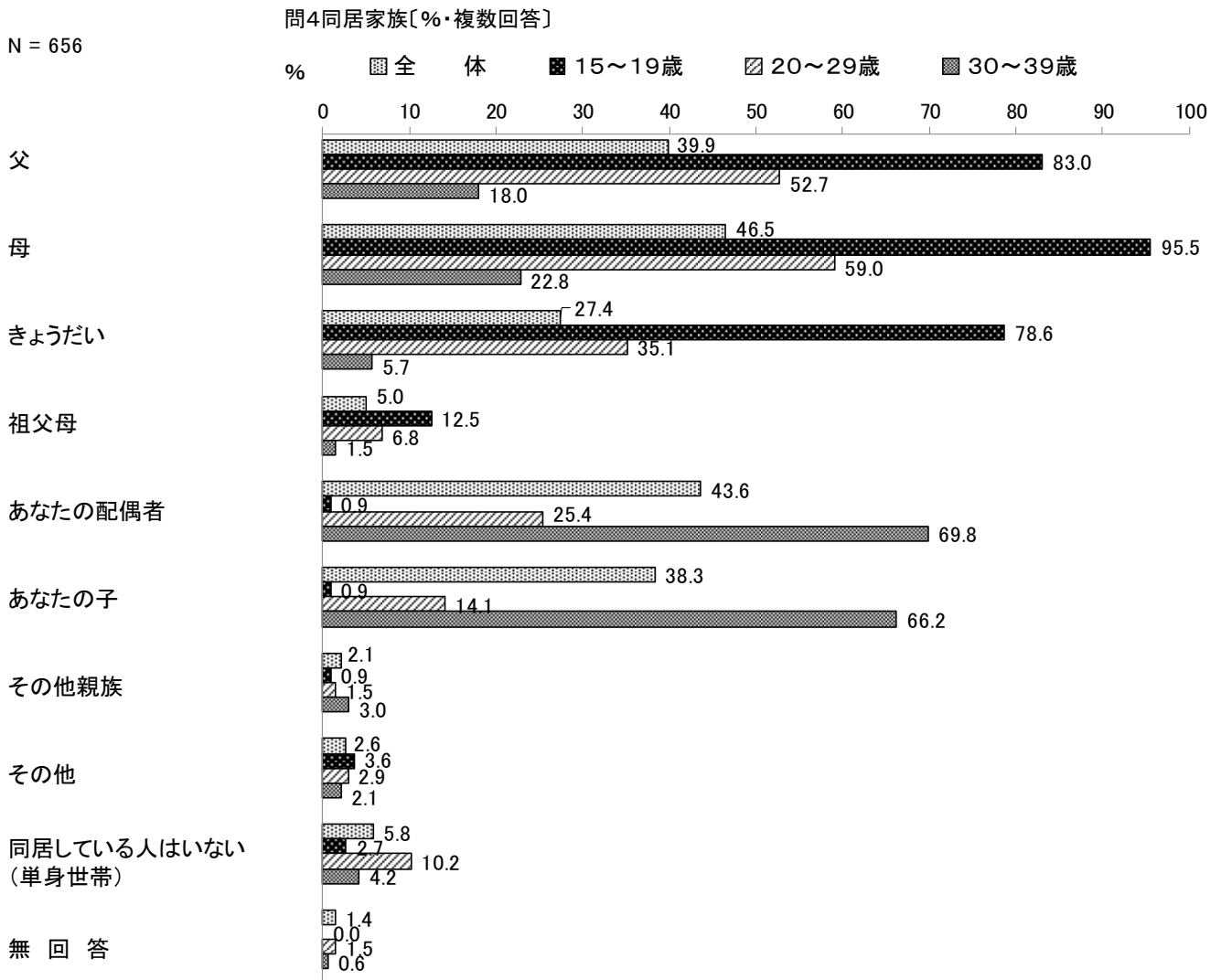


問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。

同居家族は、全体では、「母」が46.5%、「あなたの配偶者」が43.6%と高く、「父」が39.9%、「あなたの子」が38.3%となっています。

15～19歳は「母」、「父」と「きょうだい」が75%を超え、30～39歳は「あなたの配偶者」と「あなたの子」が65%を超えています。

◆婚姻状況別では、未婚者は「父」が70.9%、「母」が81.4%、「きょうだい」が51.2%と家族と同居で暮らしており、「同居している人はいない（単身世帯）」は10.8%となっています。配偶者のいる回答者では「あなたの配偶者」が96.6%、「あなたの子」が79.5%となっています。（図表4-1）



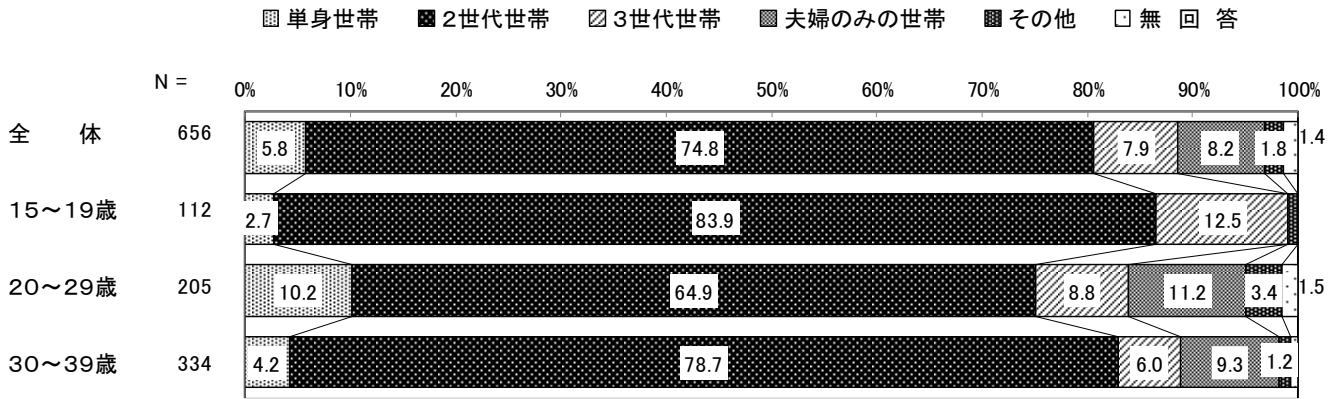
世帯構成は、全体では、「2世代世帯」が74.8%と高く、「夫婦のみの世帯」が8.2%となっており、核家族に当たる世帯が80%を超えています。

「単身世帯」は20～29歳で10.2%と最も高くなっています。

世帯人数は、全体では、「4人」が28.5%、「3人」が27.6%と高く、「5人以上」が17.7%となっています。

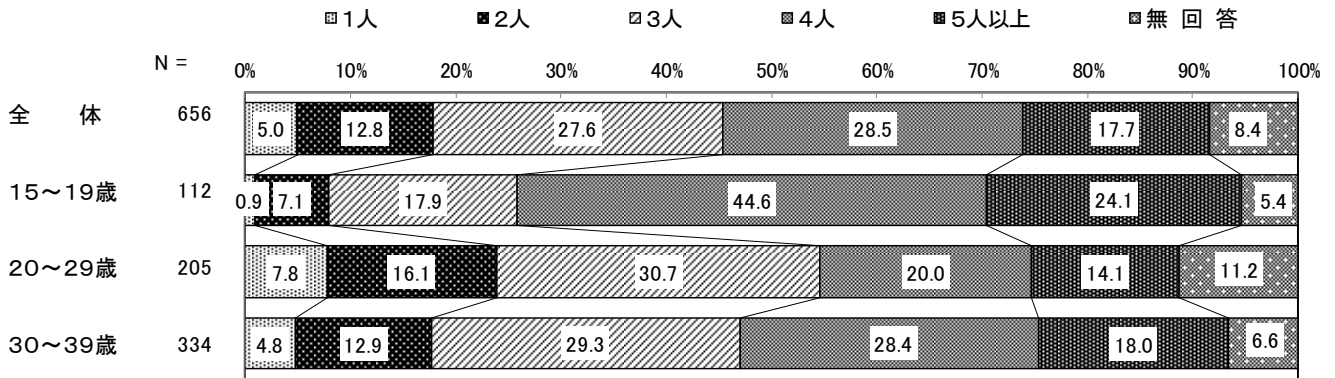
また、年代別では、15～19歳で「4人」が44.6%、20～29歳、30～39歳で「3人」がそれぞれ30.7%、29.3%と最も高くなっています。

問4世帯構成〔%〕



○15～19歳「その他」:0.9%、「夫婦のみの世帯」「無回答」:0.0% ○30～39歳「無回答」:0.6%

問4世帯人数〔%〕



問5 あなたの生計について、以下の（1）と（2）のそれぞれにお答えください。

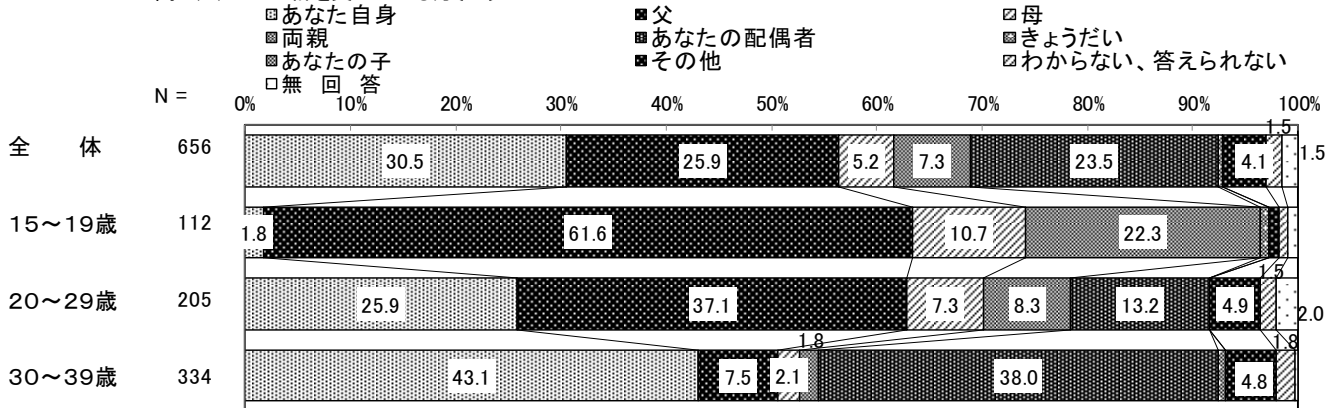
1) 生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。

全体では、「あなた自身」が30.5%と高く、「父」が25.9%、「あなたの配偶者」が23.5%となっています。

15～19歳で「父」が61.6%、「両親」が22.3%、「母」が10.7%となっています。20～29歳で「父」が37.1%、30～39歳で「あなた自身」が43.1%、「あなたの配偶者」が38.0%となっています。

◆婚姻状況別では、配偶者のいる回答者は「あなた自身」が38.9%、「あなたの配偶者」が52.6%と高くなっています。(図表4-2)

問5(1)主に生計を支えている方〔%〕

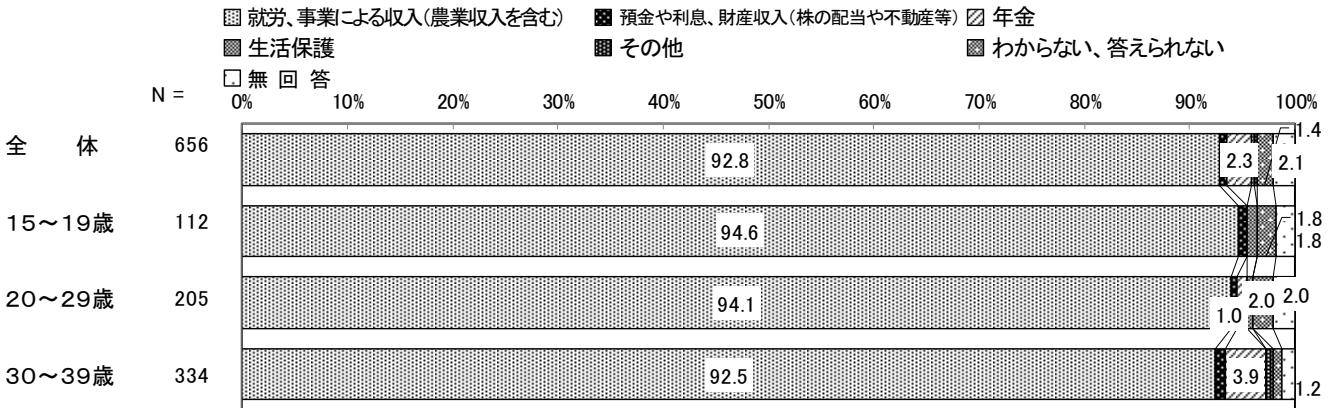


○全体「きょうだい」:0.5%、「あなたの子」:0.0% ○15～19歳「きょうだい」「その他」「わからない」「無回答」:0.9%、「あなたの配偶者」「あなたの子」:0.0% ○20～29歳「きょうだい」「あなたの子」:0.0% ○30～39歳「きょうだい」:0.6%、「無回答」:0.3%、「あなたの子」:0.0%

2) 主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。

全体では、「就労、事業による収入（農業収入を含む）」が92.8%を占めます。

問5(2) 生計者の主な収入源〔%〕



○全体「預金や利息、財産収入(株の配当や不動産等)」:0.8%、「生活保護」「その他」:0.3% ○15~19歳「預金や利息、財産収入(株の配当や不動産等)」:0.9%、「生活保護」:0.9%、「年金」「その他」:0.0% ○20~29歳「預金や利息、財産収入(株の配当や不動産等)」:0.5%、「生活保護」:0.5%、「その他」:0.0% ○30~39歳「預金や利息、財産収入(株の配当や不動産等)」:0.9%、「その他」:0.6%、「生活保護」:0.0%

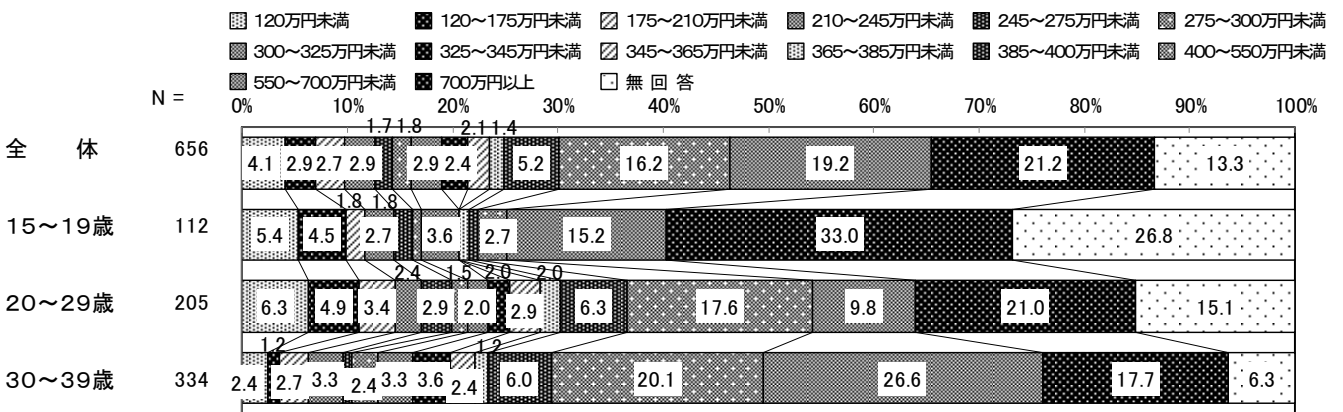
問6 令和5年(2023年1月~12月)のあなたの世帯全体の手取り収入(可処分所得)は、合計でおよそいくらですか。就労等による収入に加え、雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送り等を足した金額でお答えください。※就労等による可処分所得の額(収入から住民税や社会保険料等を引いた手取り収入の額)+雇用保険等の支給額や、親族等からの仕送り等(年間分)をお答えください。

全体では、「700万円以上」が21.2%、「550~700万円未満」が19.2%と高く、「400~550万円未満」が16.2%となっています。

30~39歳で「550~700万円未満」が26.6%となっています。

◆婚姻状況別では、「550~700万円未満」が29.4%、配偶者のいる回答者は「400~550万円未満」が22.9%と高くなっています。(図表4-3)

問6世帯全体の可処分所得(手取り)総額〔%〕



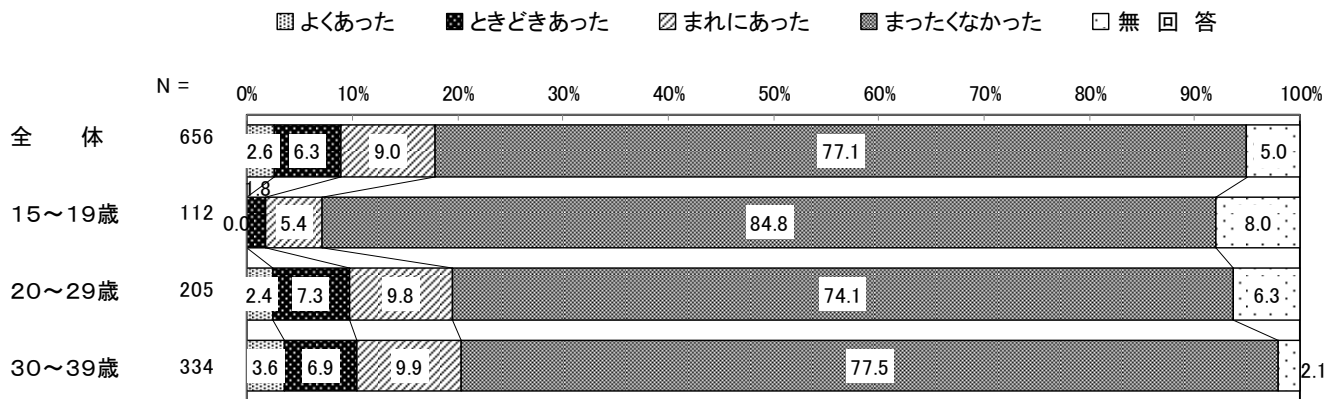
○15~19歳「275~300万円未満」「365~385万円未満」「385~400万円未満」:0.9%、「325~345万円未満」「345~365万円未満」:0.0% ○30~39歳「245~275万円未満」:0.9%

問7 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

全体では、「まったくなかった」が77.1%と高く、無回答を除く18.9%の回答で「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた『あった』と回答しています。

◆婚姻状況別では、配偶者と離別（離婚）した回答者で「まれにあった」と「ときどきあった」が17.6%となっています。（図表4-4）

問7 お金がなくて必要な食料が買えなかったこと[%]

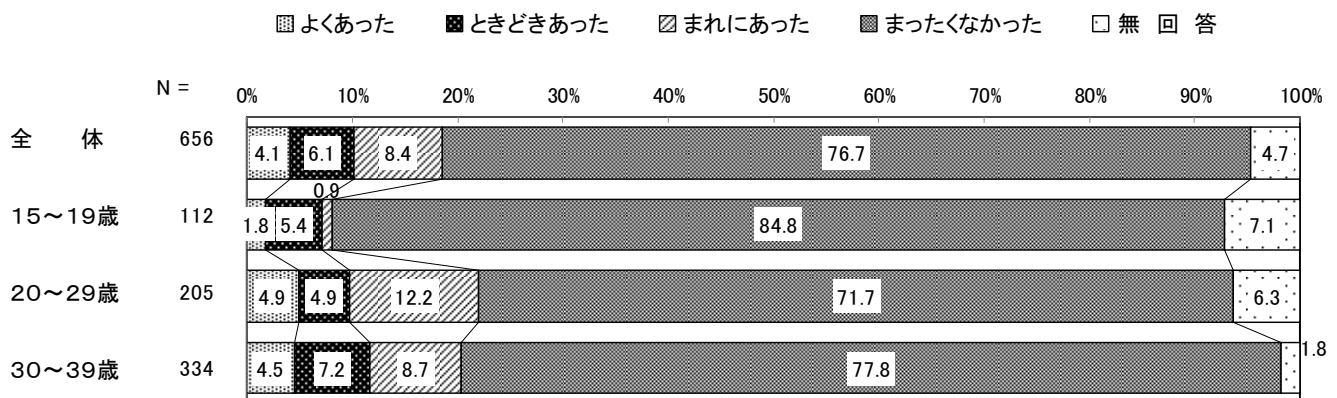


問8 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

全体では、「まったくなかった」が76.7%と高く、「まれにあった」が8.4%となっています。

◆婚姻状況別では、配偶者と離別（離婚）した回答者で「よくあった」が11.8%、「ときどきあった」が17.6%となっています。（図表4-5）

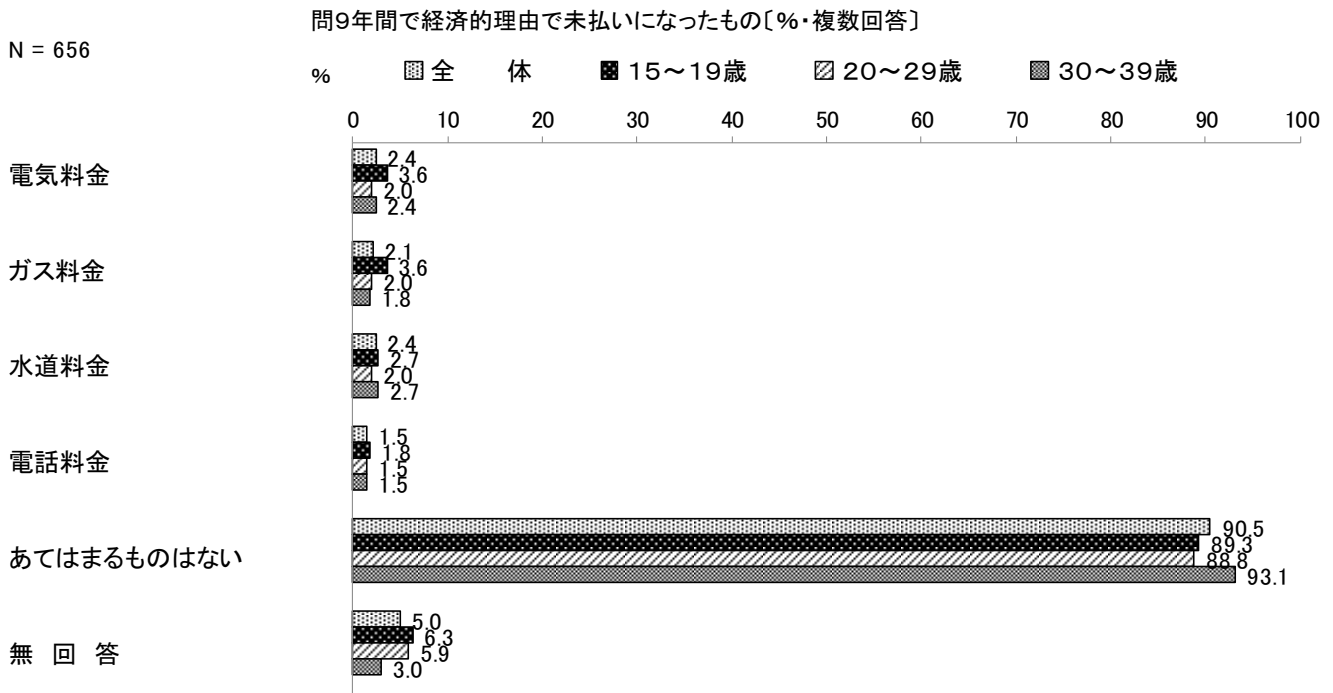
問8 お金がなくて必要な衣服が買えなかったこと[%]



問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。

全体では、「あてはまるものはない」が90.5%と高く、割合は低いものの、いずれの料金未払いも15～19歳が最も高くなっています。

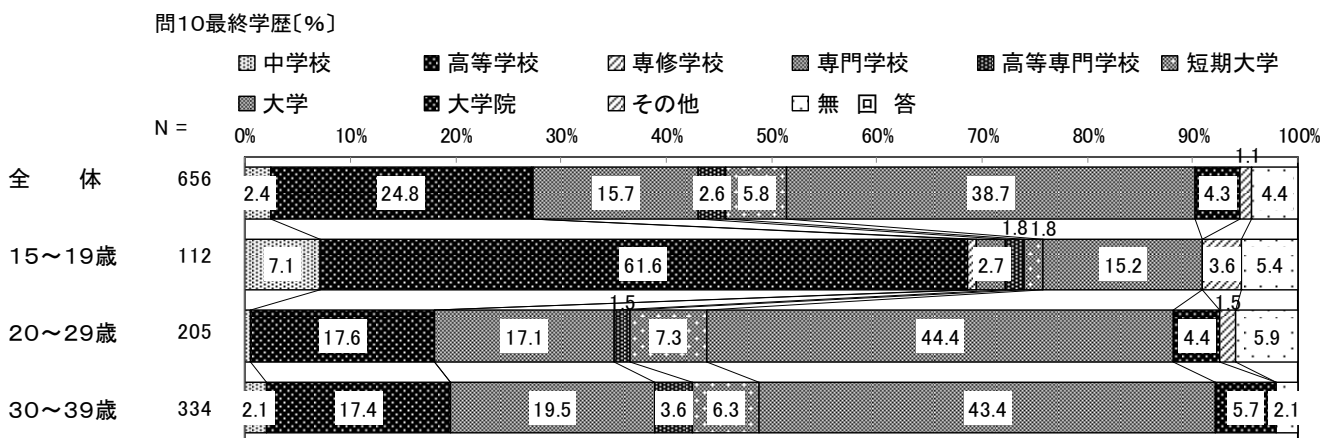
◆婚姻状況別では、配偶者と離別（離婚）した回答者で「電気料金」と「ガス料金」と「水道料金」が11.8%となっています。（図表4-6）



問10 あなたが最後に卒業（中退を含む）した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。

全体では、「大学」が38.7%と高く、「高等学校」が24.8%、「専門学校」が15.7%となっています。

15～19歳で「高等学校」が61.6%、20～29歳と30～39歳で「大学」が45%弱となっています。



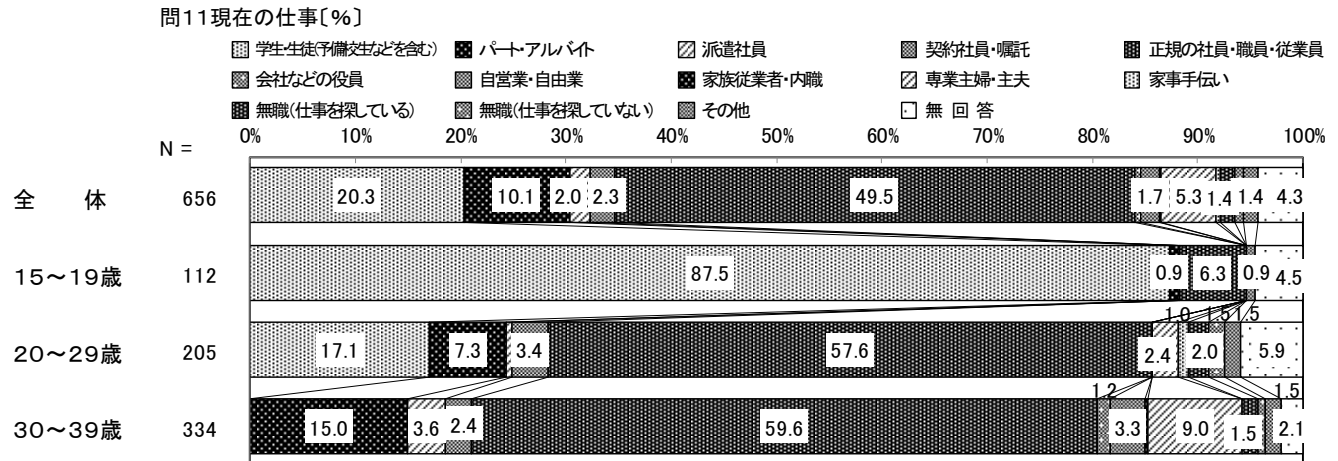
○全体「専門学校」:0.2% ○15～19歳「専門学校」:0.9%、「大学院」:0.0% ○20～29歳「中学校」:0.5%、「専門学校」:0.0%
○30～39歳「専門学校」「その他」:0.0%

問11 あなたの現在の仕事をお答えください。

全体では、「正規の社員・職員・従業員」が49.5%と高く、「学生・生徒（予備校生などを含む）」が20.3%、「パート・アルバイト」が10.1%となっています。

15～19歳で「学生・生徒（予備校生などを含む）」が87.5%、20～29歳と30～39歳で「正規の社員・職員・従業員」がそれぞれ約60%となっています。

◆所得別では、低所得世帯では「正規の社員・職員・従業員」の割合は、非低所得世帯では51.5%ですが、低所得世帯では28.6%となっています。（図表4-7）



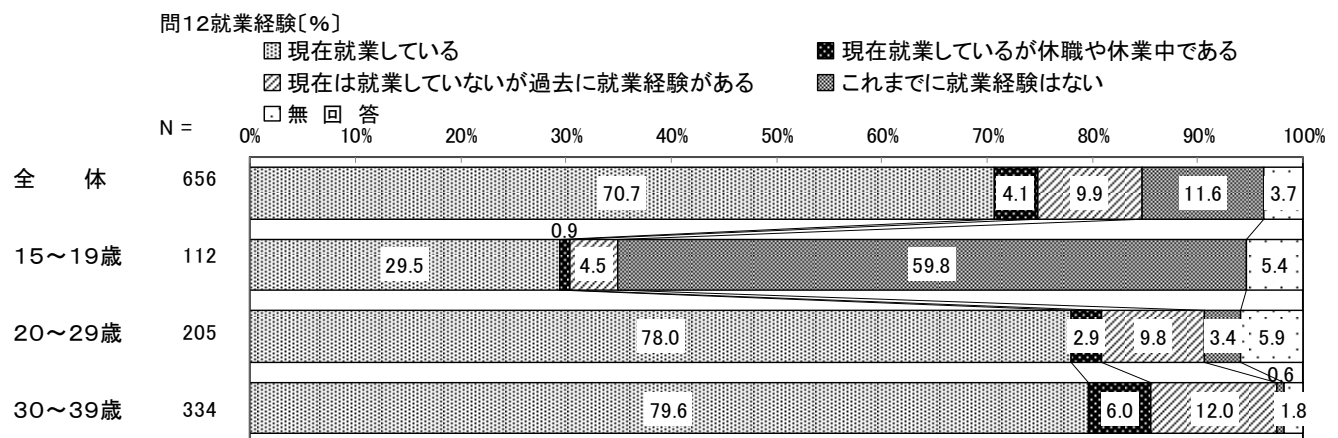
○全体「無職(仕事を探していない)」:0.8%、「会社などの役員」:0.6%、「家事手伝い」:0.3%、「家族従業者・内職」:0.2% ○15～19歳「パート・アルバイト」「その他」:0.9%、「派遣社員」「契約社員・嘱託」「会社などの役員」「自営業・自由業」「家族従業者・内職」「専業主婦・主夫」「家事手伝い」「無職(仕事を探している)」:0.0% ○20～29歳「派遣社員」:0.5%、「会社などの役員」「自営業・自由業」「家族従業者・内職」:0.0% ○30～39歳「無職(仕事を探していない)」:0.6%、「家族従業者・内職」:0.3%、「学生・生徒(予備校生などを含む)」:0.0%

問12 あなたの就業経験についてお答えください。（パート・アルバイトを含む）

全体では、「現在就業している」が70.7%と高く、「これまでに就業経験はない」が11.6%、「現在は就業していないが過去に就業経験がある」が9.9%となっています。

20～29歳と30～39歳で「現在就業している」がそれぞれ約80%となっています。

◆世帯構成別では、「現在就業している」は単身世帯で78.9%、夫婦のみの世帯で92.6%となっています。（図表4-8）

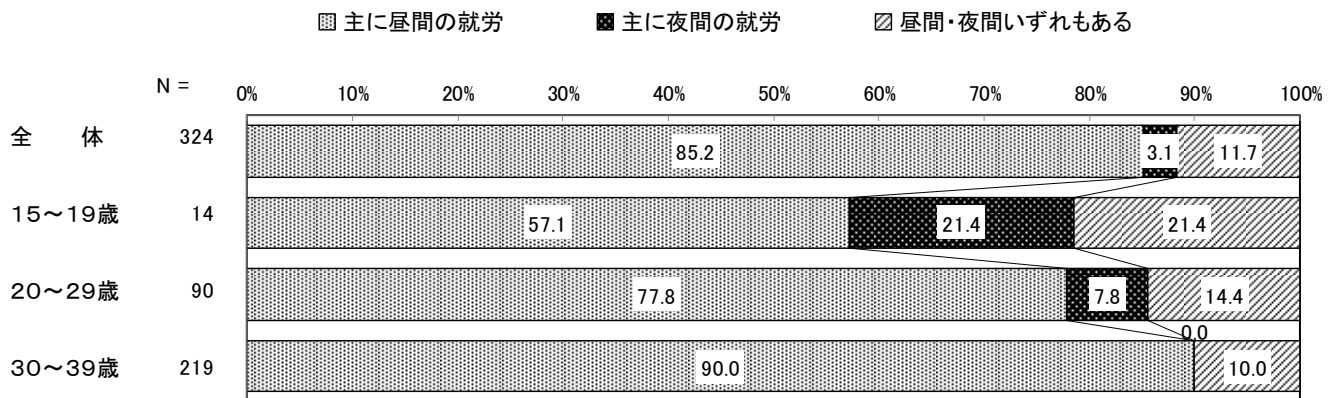


問13 現在働いている場合、普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(お子さんのいる方)

全体では、「主に昼間の就労」が85.2%と高く、「昼間・夜間いずれもある」が11.7%となっています。

15～19歳で「主に夜間の就労」と「昼間・夜間いずれもある」がともに21.4%となっています。

問13 普段の就労時間帯[%]

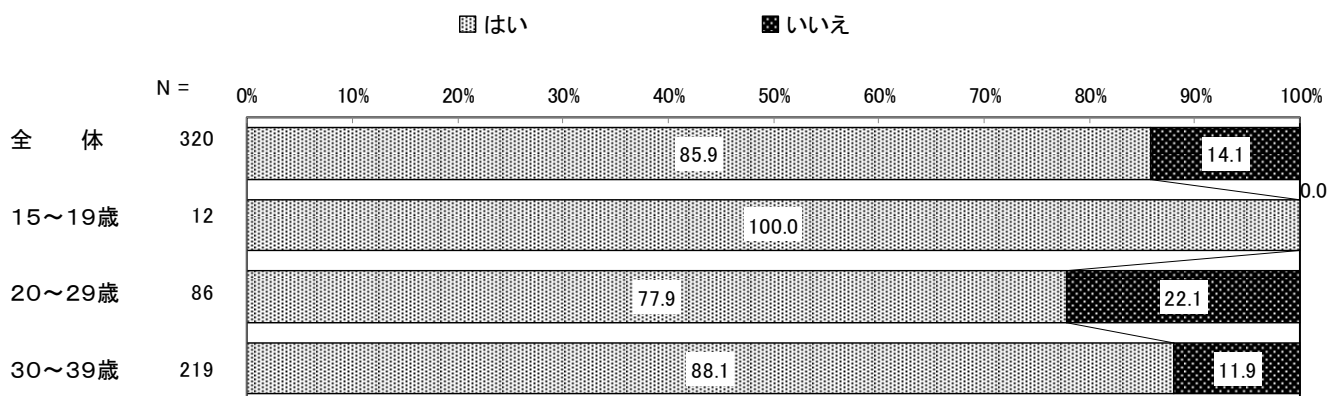


問14 現在働いている場合、あなたの職場についてお答えください。(お子さんのいる方)

①子育て中の職員に職場・上司の理解がある

全体では、「はい」が85.9%と高く、「いいえ」が14.1%となっています。

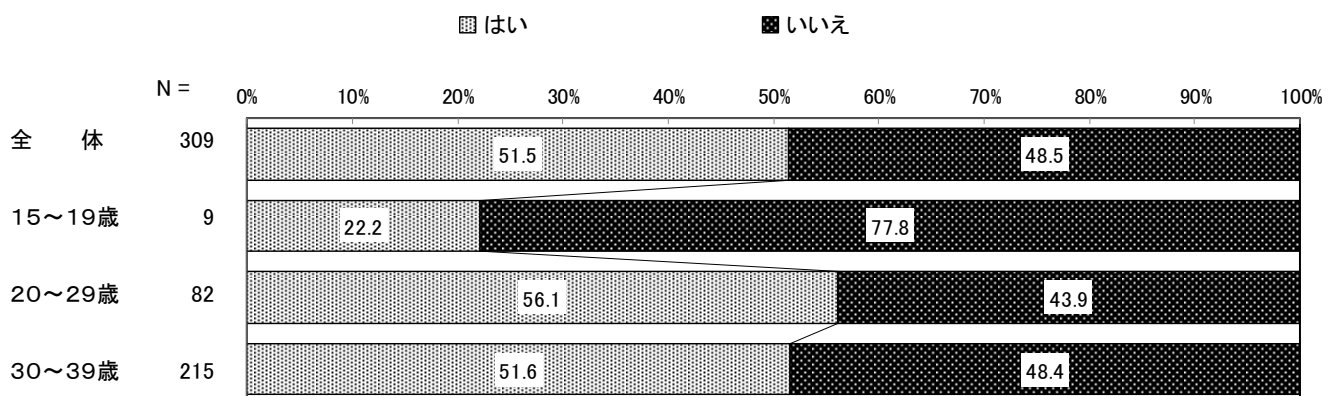
問14①子育て中の職員に職場・上司の理解がある[%]



②出産・育児が就業継続・経歴の障害と感じる

全体では、「はい」が51.5%、「いいえ」が48.5%と同程度になっています。

問14②出産・育児が就業継続・経歴の障害と感じる[%]

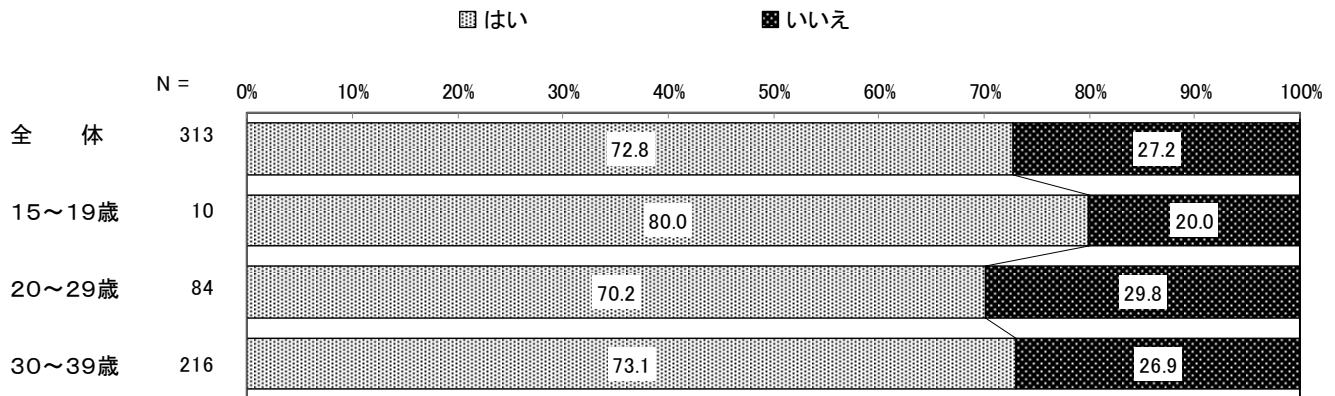


③休暇はとりやすい

全体では、「はい」が72.8%と高く、「いいえ」が27.2%となっています。

◆世帯構成別では、「いいえ」が単身世帯で42.9%と高くなっています。(図表4-9)

問14③休暇はとりやすいか[%]

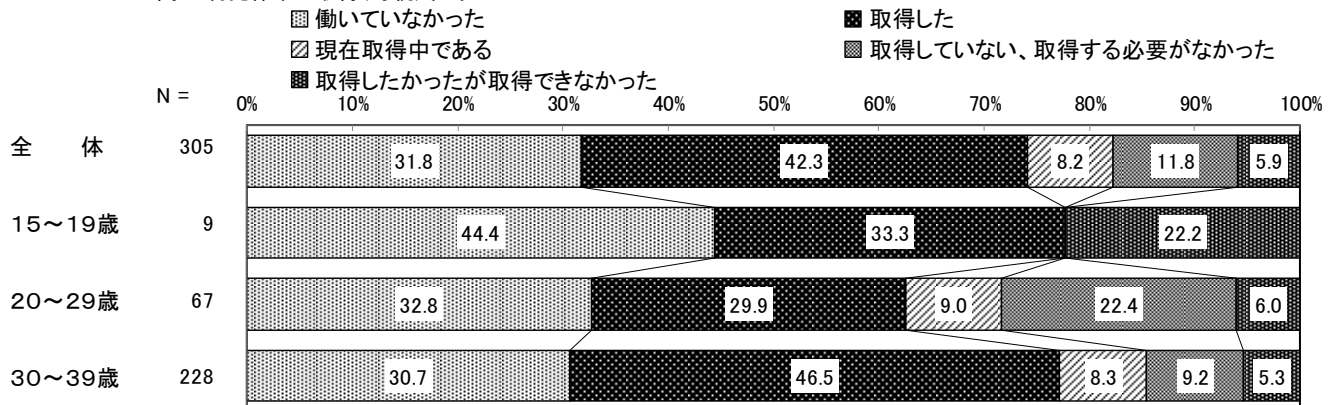


問15 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得したことがありますか。お子さんからみた続柄それぞれでお答えください。(お子さんのいる方)

【母親】

全体では、「取得した」が42.3%と高く、「働いていなかった」が31.8%、「取得していない、取得する必要がなかった」が11.8%となっています。

問15育児休業の取得(母親)[%]

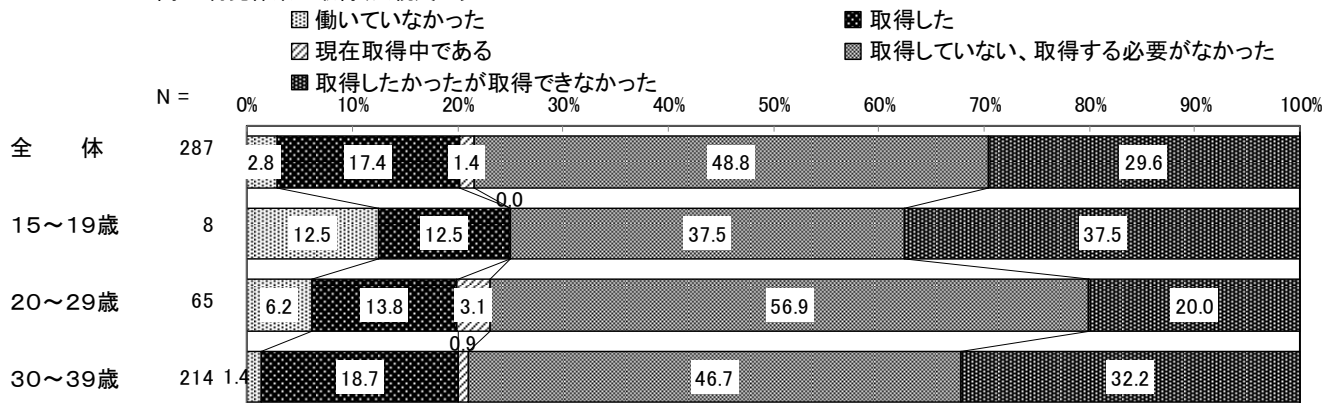


○15～19歳「現在取得中である」「取得していない、取得する必要がなかった」:0.0%

【父親】

全体では、「取得していない、取得する必要がなかった」が48.8%と高く、「取得したかったが取得できなかった」が29.6%、「取得した」が17.4%となっています。

問15育児休業の取得(父親)[%]



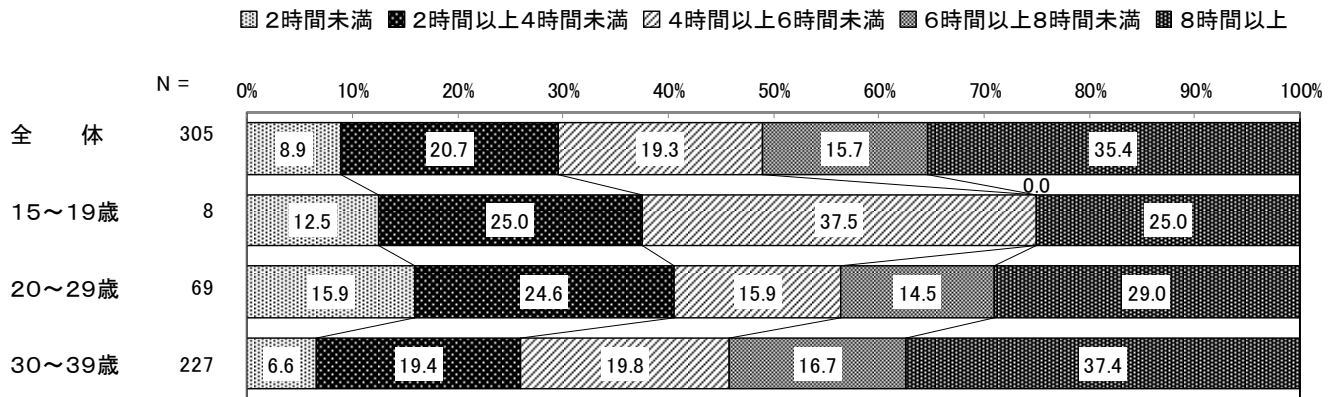
問16 家事・育児の時間は1日あたり平均してどれくらいですか。(お子さんのいる方)

【母親】

全体では、「8時間以上」が35.4%と高く、「2時間以上4時間未満」が20.7%、「4時間以上6時間未満」が19.3%となっています。

「2時間未満」は、世代別で見ると、20～29歳が最も高く、15.9%となっています。

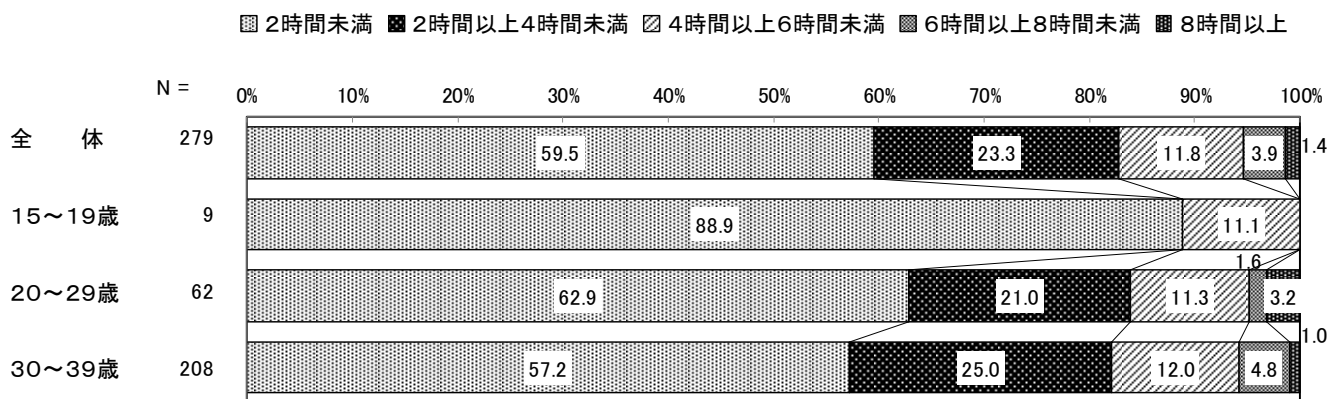
問16家事・育児の時間(母親)〔%〕



【父親】

全体では、「2時間未満」が59.5%と高く、「2時間以上4時間未満」が23.3%、「4時間以上6時間未満」が11.8%となっています。

問16家事・育児の時間(父親)〔%〕



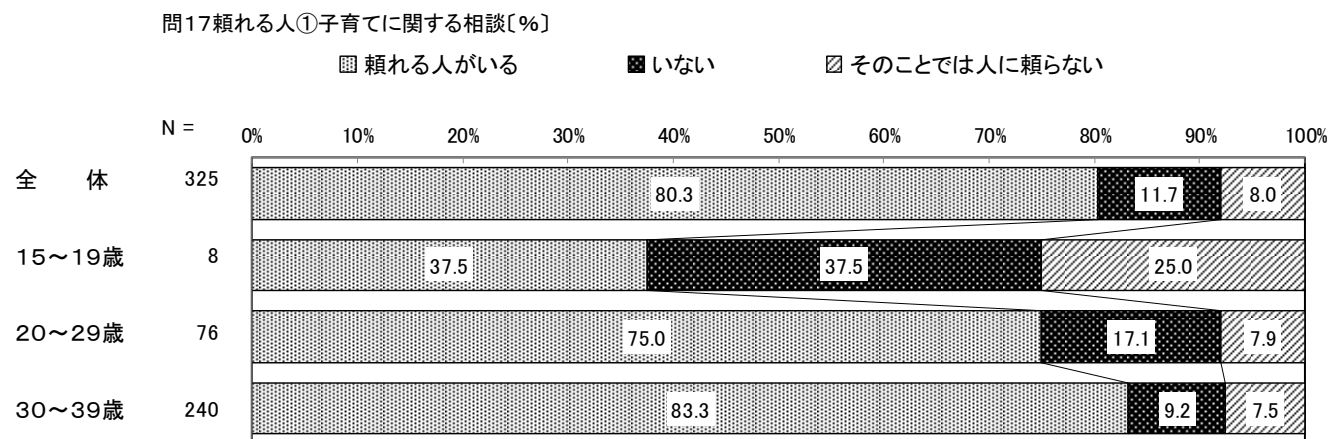
○15～19歳「2時間以上4時間未満」「6時間以上8時間未満」「8時間以上」:0.0%

問17 あなたは次にあげる事柄で頼れる人はいますか。(お子さんのいる方)

①子育てに関する相談

全体では、「頼れる人がいる」が80.3%と高く、「いない」が11.7%、「そのことでは人に頼らない」が8.0%となっています。

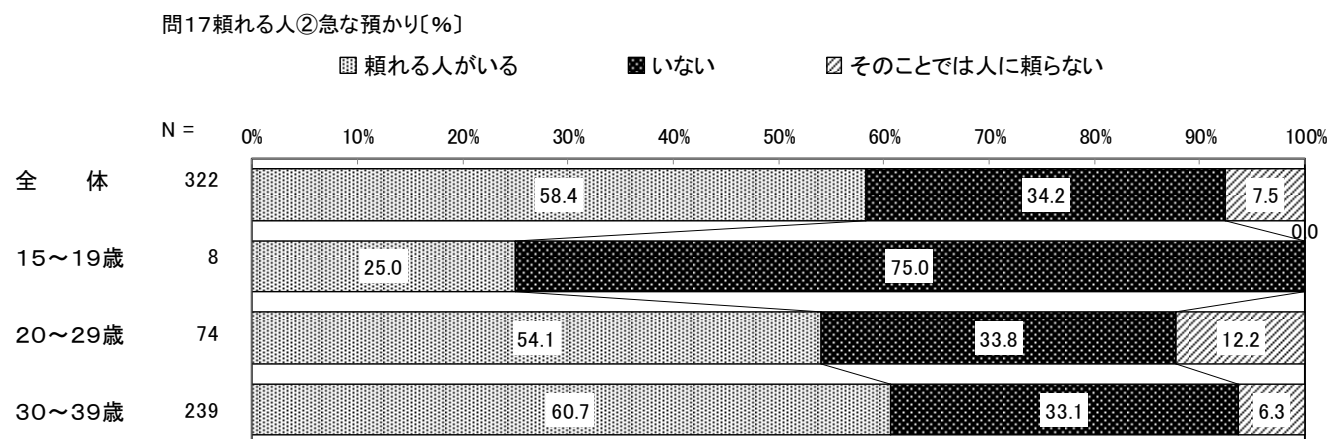
◆世帯構成別では、「頼れる人がいる」が3世代世帯で91.7%と高くなっています。(図表4-10)



②急な預かり

全体では、「頼れる人がいる」が58.4%と高く、「いない」が34.2%、「そのことでは人に頼らない」が7.5%となっています。

◆世帯構成別では、「頼れる人がいる」が3世代世帯で87.5%と高くなっています。(図表4-11)

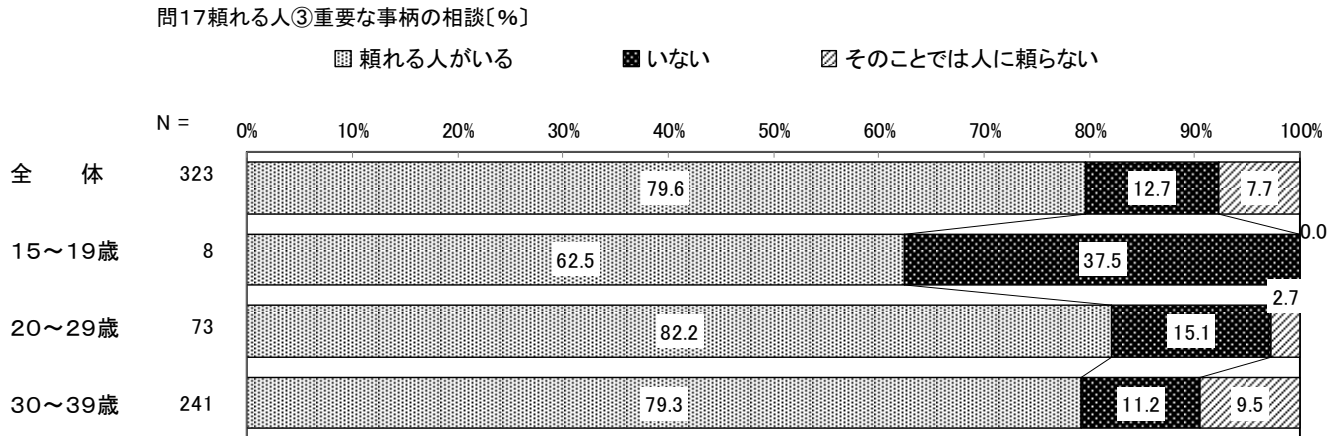


③重要な事柄の相談

全体では、「頼れる人がいる」が79.6%と高く、「いない」が12.7%、「そのことでは人に頼らない」が7.7%となっています。

◆婚姻状況別では、未婚者は「いない」が23.9%となっています。

◆世帯構成別では、「頼れる人がいる」は3世代世帯で91.7%となっています。(図表4-12)



④いざという時のお金の援助

全体では、「頼れる人がいる」が47.7%と高く、「いない」が28.7%、「そのことでは人に頼らない」が23.7%となっています。

年代別で「頼れる人がいる」割合は15～19歳、20～29歳、30～39歳でそれぞれ37.5%、55.6%、45.4%となっています。

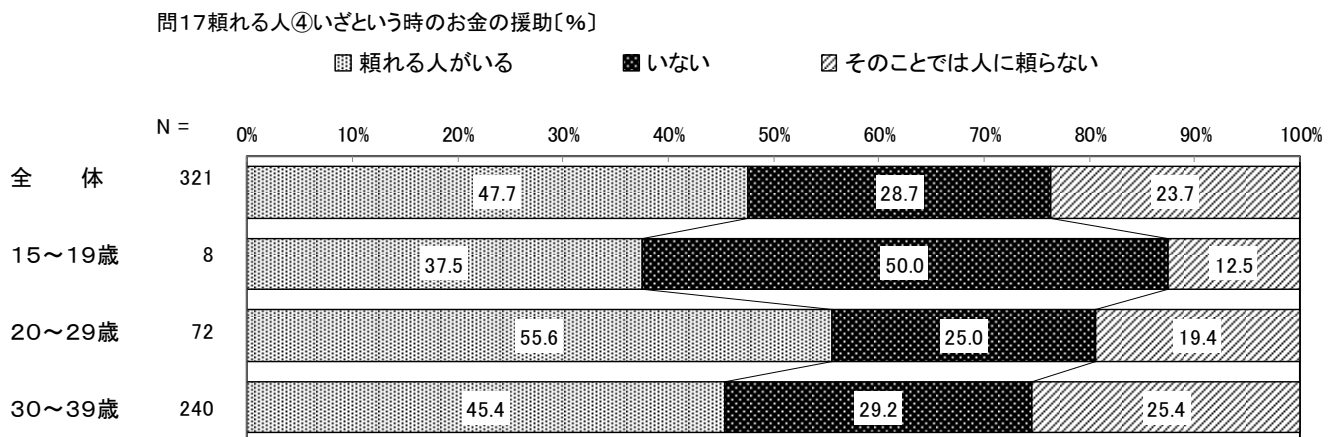
◆婚姻状況別では、「いない」は未婚者では35.8%、配偶者と離別（離婚）では40.0%となっています。

◆世帯構成別では、「頼れる人がいる」は単身世帯で75.0%、夫婦のみの世帯で56.3%となっています。

◆所得別では、「いない」は低所得世帯では54.5%となっています。

◆家計逼迫別では、「いない」は家計逼迫リスクありの回答者で67.3%となっています。(図表4-13)

家計逼迫リスクのある回答者：設問の6項目（電気・ガス・水道・電話の公共料金、食料・衣類の購入）で経済的な理由で払えなかった、または買えなかったことが1つ以上あったと回答した人（以下同様）



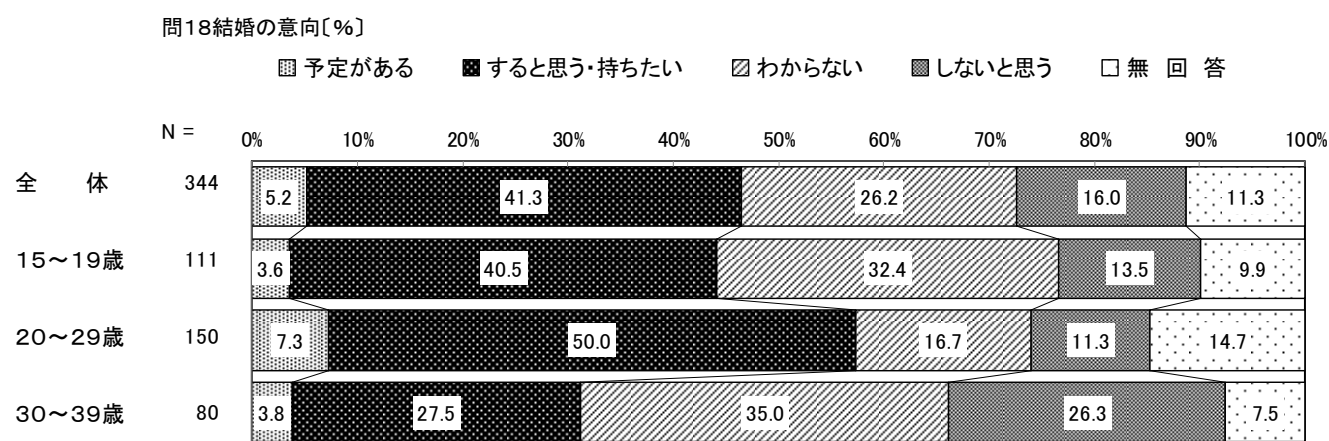
問18 あなたは、将来、結婚したり、家族を持ちたいと思いますか。(未婚の方)

全体では、「すると思う・持ちたい」が41.3%と最も高く、「わからない」が26.2%、「しないと思う」が16.0%となっています。

「すると思う・持ちたい」は、15～19歳、20～29歳でそれぞれ40.5%、50.0%と最も高く、「わからない」は30～39歳で35.0%と最も高くなっています。また、30～39歳では「しないと思う」が26.3%で、世代別で最も高くなっています。

◆世帯構成別では、「すると思う・持ちたい」が単身世帯で51.4%、3世代世帯で50.0%と高くなっています。

◆就業状況別では、「しないと思う」と回答した割合は、就業していないが就業経験ありの回答者で31.8%となっています。(図表4-14)



問19 結婚していない主な理由は何ですか。(未婚の方)

全体では、「年齢が若すぎる」が27.0%と高く、「自立していない」が17.2%、「異性と知り合う(出会う)機会がない」が16.6%となっています。

15～19歳で「年齢が若すぎる」が66.7%、「自立していない」が27.9%、20～29歳で「異性と知り合う(出会う)機会がない」が25.3%、「経済的に余裕がない」は20～29歳と30～39歳で20%程度となっています。

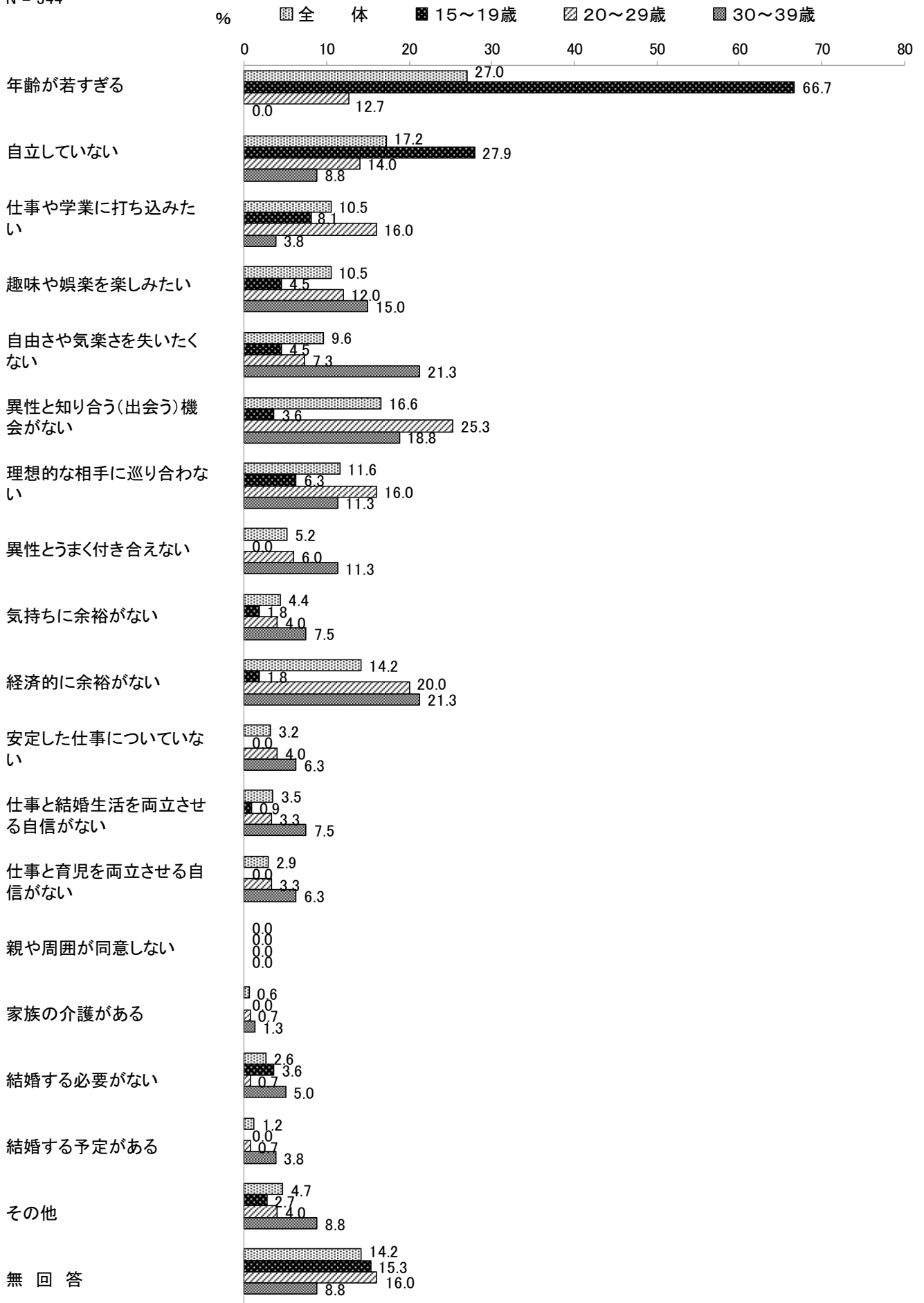
◆世帯構成別で上位を占めるのは、「異性と知り合う(出会う)機会がない」が29.7%、「理想的な相手に巡り合わない」が21.6%、2世代世帯では「年齢が若すぎる」が30.1%、「自立していない」が17.8%、3世代世帯では「自立していない」が28.1%、「異性と知り合う(出会う)機会がない」が21.9%となっています。

◆就業状況別では、就業していないが就業経験のあるの回答者で「自立していない」が40.9%、「経済的に余裕がない」が31.8%みられ、これまでに就業経験はない回答者では「年齢が若すぎる」が72.4%、「自立していない」が30.3%と高くなっています。

◆家計逼迫別では、家計逼迫リスクありの回答者で「経済的に余裕がない」が43.2%と高くなっています。(図表4-15)

問19結婚していない主な理由[%・複数回答]

N = 344

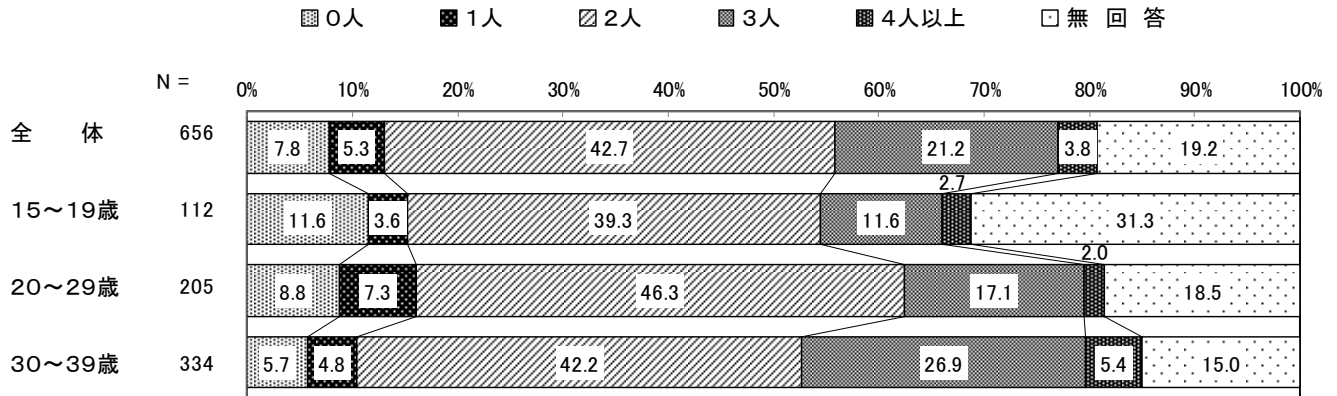


問20 理想のこども数と予定のこども数は何人ですか。

【理想】

全体では、「2人」が42.7%と高く、「3人」が21.2%、「0人」が7.8%となっています。
30～39歳で「3人」が26.9%となっています。

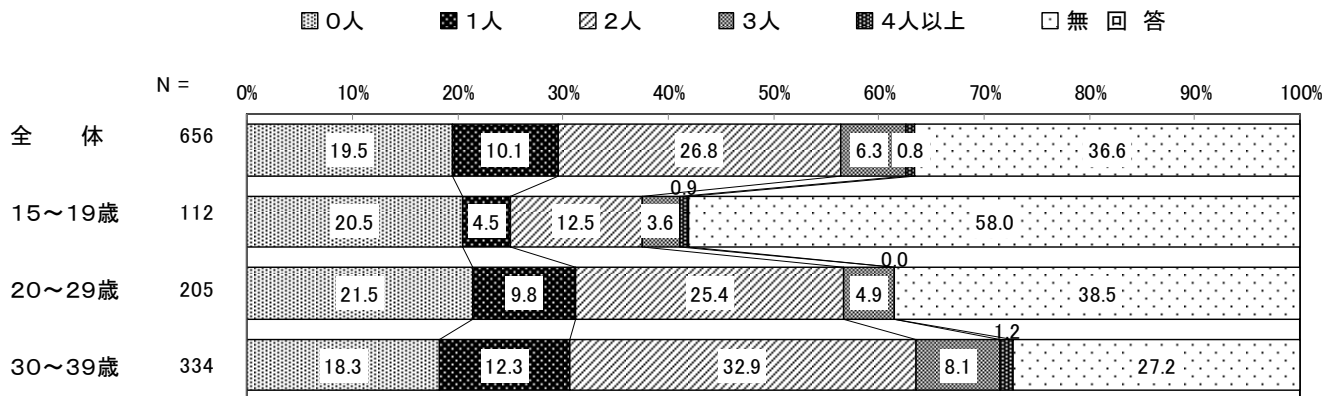
問20理想の子ども数[%]



【予定】

全体では、「2人」が26.8%と高く、「0人」が19.5%、「1人」が10.1%となっています。
30～39歳で「2人」が32.9%となっています。

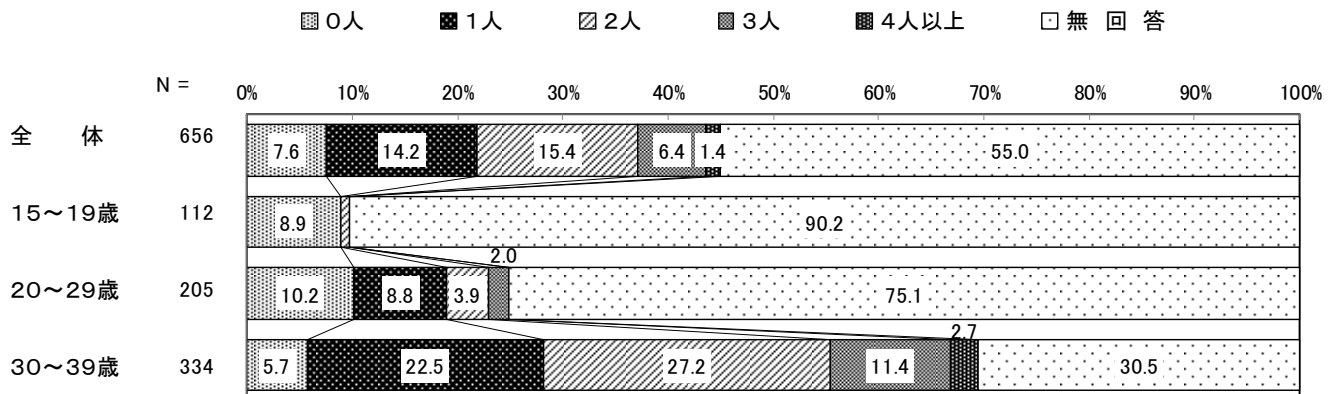
問20予定の子ども数[%]



【現在】

全体では、「2人」が15.4%と高く、「1人」が14.2%、「0人」が7.6%となっています。
30～39歳で「2人」が27.2%、「1人」が22.5%、「3人」が11.4%となっています。

問20現在の子ども数[%]



○15～19歳「2人」:0.9%、「1人」「3人」「4人以上」:0.0% ○20～29歳「4人以上」:0.0%

(1) 問20で理想のこども数と予定のこども数が異なる場合、主な理由は何ですか。

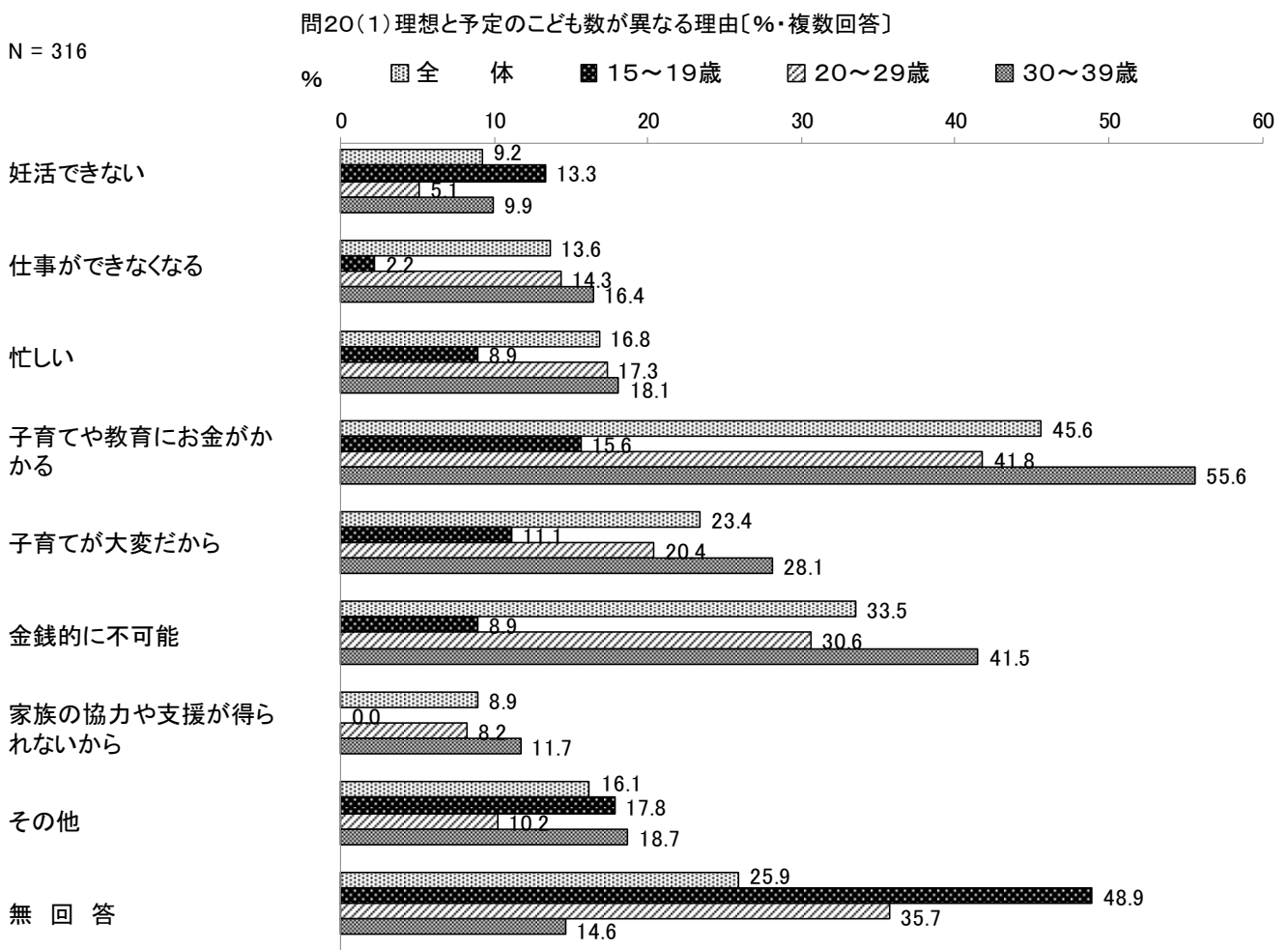
全体では、「子育てや教育にお金がかかる」が45.6%、「金銭的に不可能」が33.5%と高く、「子育てが大変だから」が23.4%となっています。

20～29歳、30～39歳いずれも、理由の上位が「子育てや教育にお金がかかる」がそれぞれ41.8%、55.6%、「金銭的に不可能」が30.6%、41.5%、「子育てが大変だから」が20.4%、28.1%となっています。

◆婚姻状況別では、配偶者のいる回答者で「子育てや教育にお金がかかる」が65.8%、「金銭的に不可能」が44.1%、「子育てが大変だから」が32.9%と高くなっています。

◆世帯構成別では、夫婦のみの世帯で「子育てや教育にお金がかかる」が72.7%、「金銭的に不可能」が48.5%と高くなっています。

◆家計逼迫別では、家計逼迫リスクのある回答者で、「子育てや教育にお金がかかる」が66.7%、「金銭的に不可能」が64.1%と高くなっています。(図表4-16)

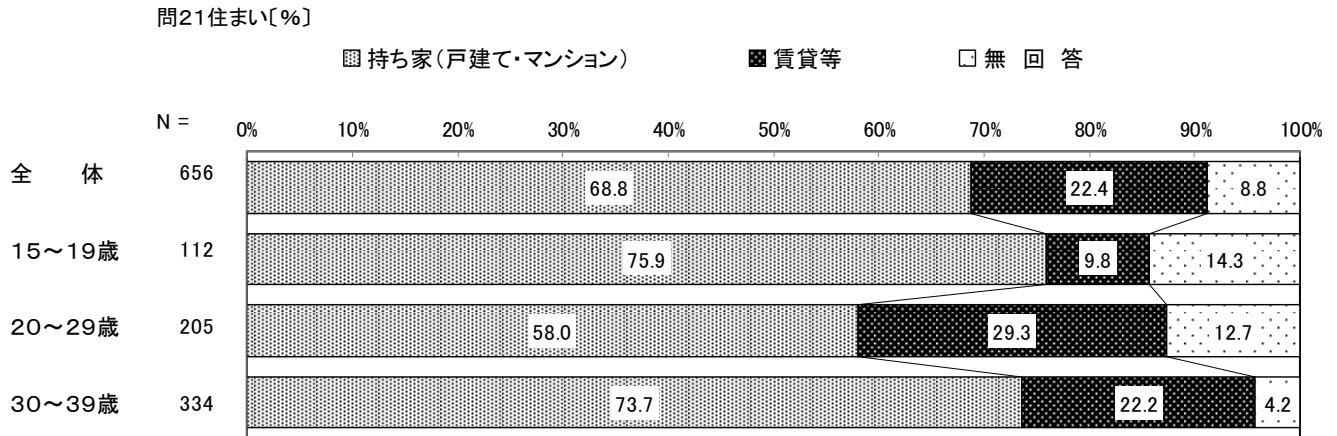


問21 お住まいのことについてお聞きします。

全体では、「持ち家（戸建て・マンション）」が68.8%と高く、「賃貸等」が22.4%となっています。

15～19歳で「持ち家（戸建て・マンション）」が75.9%、20～29歳で「賃貸等」が29.3%となっています。

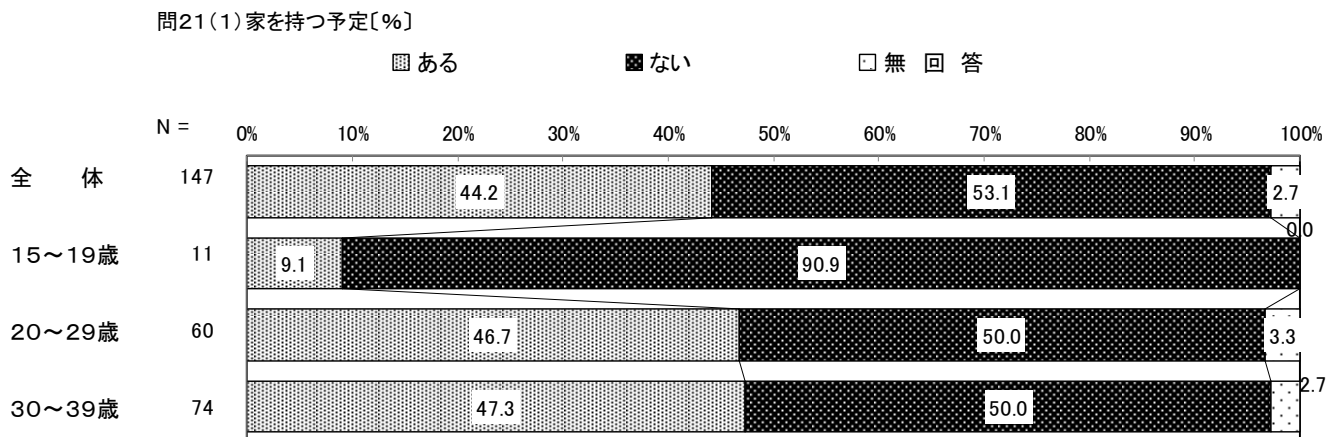
◆世帯構成別では、「賃貸等」は単身世帯で81.6%、夫婦のみの世帯で57.4%、「持ち家（戸建て・マンション）」は2世代世帯で75.6%、3世代世帯で94.2%と高くなっています。（図表4-17）



(1) 問21で「2」を選んだ場合、今後、持ち家を持つ予定はありますか。

全体では、「ない」が53.1%、「ある」が44.2%と同程度になっています。

◆婚姻状況別では、未婚者は「ない」が76.8%、配偶者のいる回答者は「ある」が70.8%と高くなっています。（図表4-18）

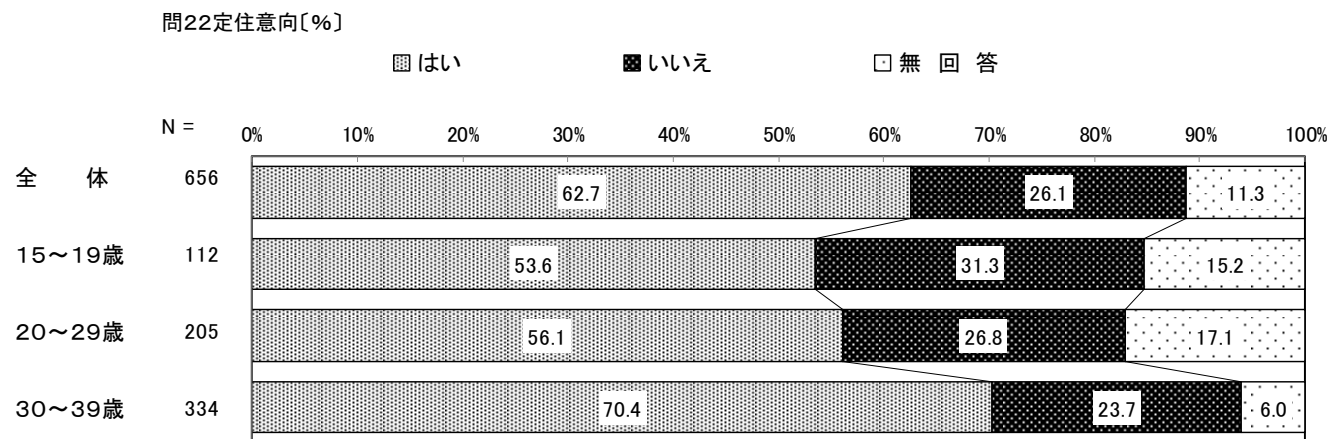


問22 あなたは今後も、久喜市に住みたいと思いますか。

全体では、「はい」が62.7%と高く、「いいえ」が26.1%となっています。

15～19歳は「はい」が53.6%で、30～39歳は70.4%となっています。

◆婚姻状況別では、「はい」は配偶者のいる回答者で71.7%。配偶者と離別（離婚）した回答者で82.4%と高くなっています。（図表4-19）



問23 若い世代をはじめ市民が住み続けたいと思える久喜市となるために、どのような取組が重要だと思いますか。

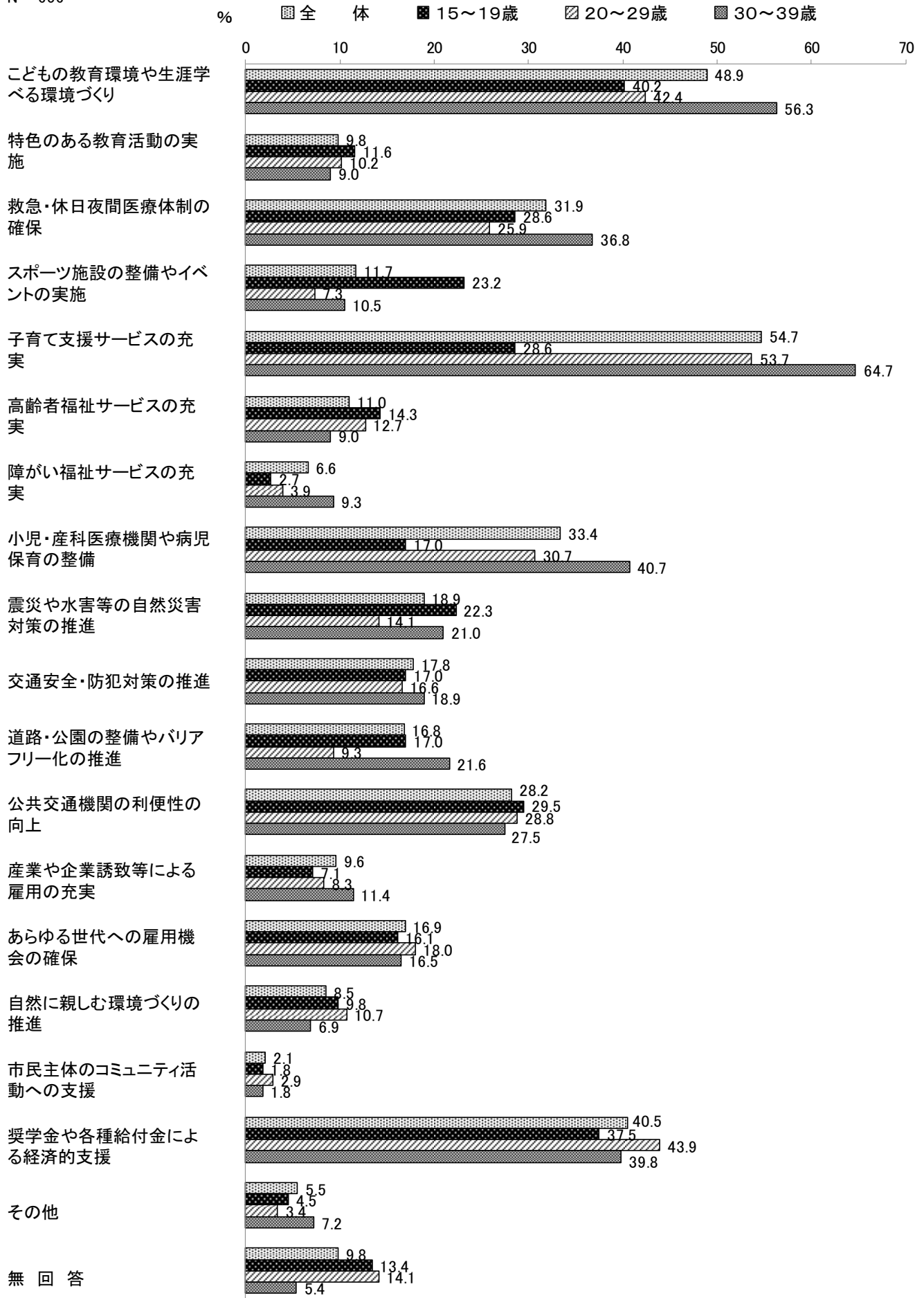
全体では、「子育て支援サービスの充実」が54.7%、「こどもの教育環境や生涯学べる環境づくり」が48.9%と高く、「奨学金や各種給付金による経済的支援」が40.5%、「小児・産科医療機関や病児保育の整備」が33.4%、「救急・休日夜間医療体制の確保」が31.9%となっています。

30～39歳で「子育て支援サービスの充実」が64.7%、「こどもの教育環境や生涯学べる環境づくり」が56.3%、「小児・産科医療機関や病児保育の整備」が40.7%、「救急・休日夜間医療体制の確保」が36.8%、15～19歳で「スポーツ施設の整備やイベントの実施」が23.2%となっています。

◆婚姻状況別では、配偶者のいる回答者で「子育て支援サービスの充実」が70.3%、「こどもの教育環境や生涯学べる環境づくり」が60.8%、「小児・産科医療機関や病児保育の整備」が49.1%、配偶者と離別（離婚）した回答者で、「子育て支援サービスの充実」が76.5%、「奨学金や各種給付金による経済的支援」が70.6%、「こどもの教育環境や生涯学べる環境づくり」が64.7%と高くなっています。（図表4-20）

問23若い世代が住み続けたいと思える取組[%・複数回答]

N = 656

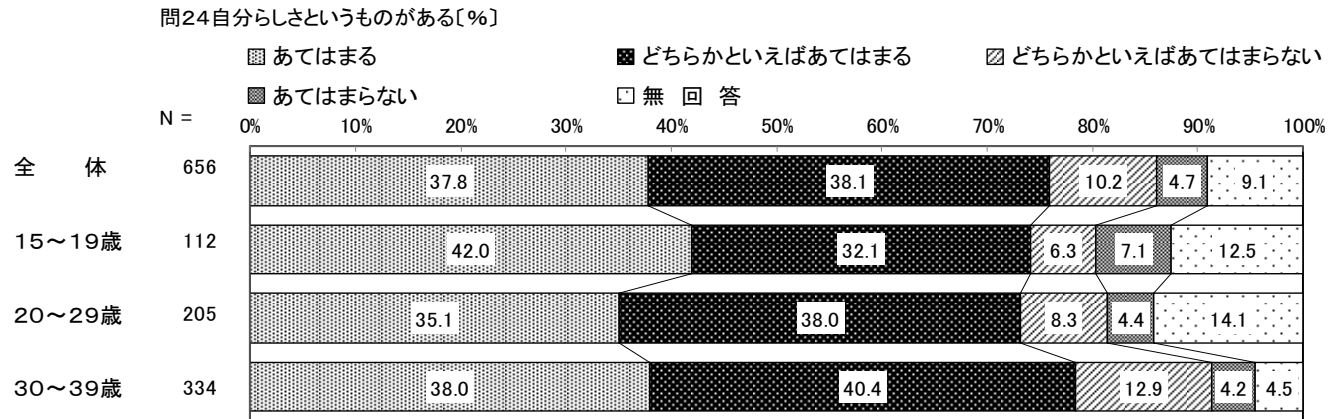


4.2 今の気持ちや状況について

問24 あなた自身について、次の項目にどのくらいあてはまりますか。

【自分らしさというものがある】

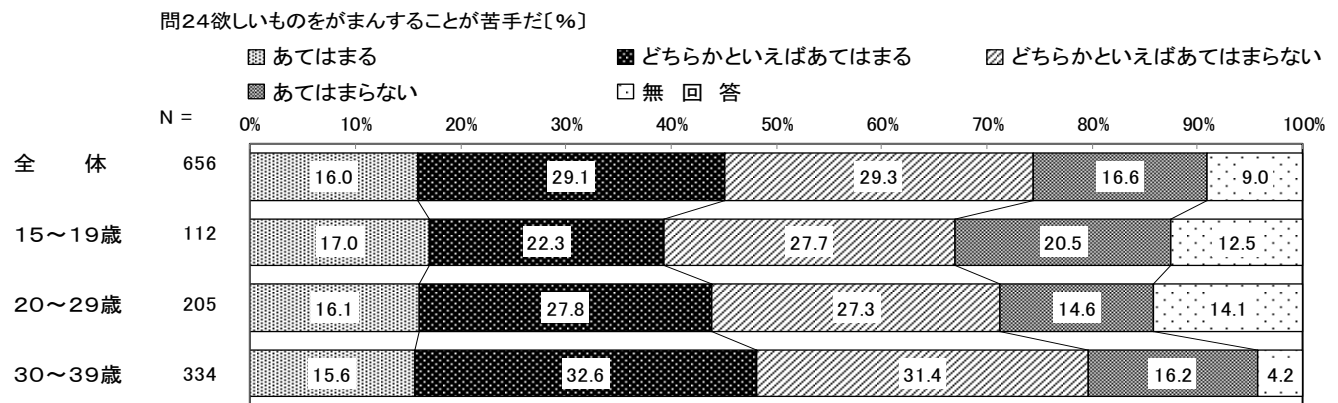
全体では、「どちらかといえばあてはまる」が38.1%で、「あてはまる」の37.8%と合わせた『あてはまる』は75.9%、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の計、以下同様）は14.9%となっています。



【欲しいものをがまんすることが苦手だ】

全体では、「どちらかといえばあてはまらない」が29.3%で、「あてはまらない」の16.6%と合わせた『あてはまらない』は45.9%、『あてはまる』は45.1%となっています。

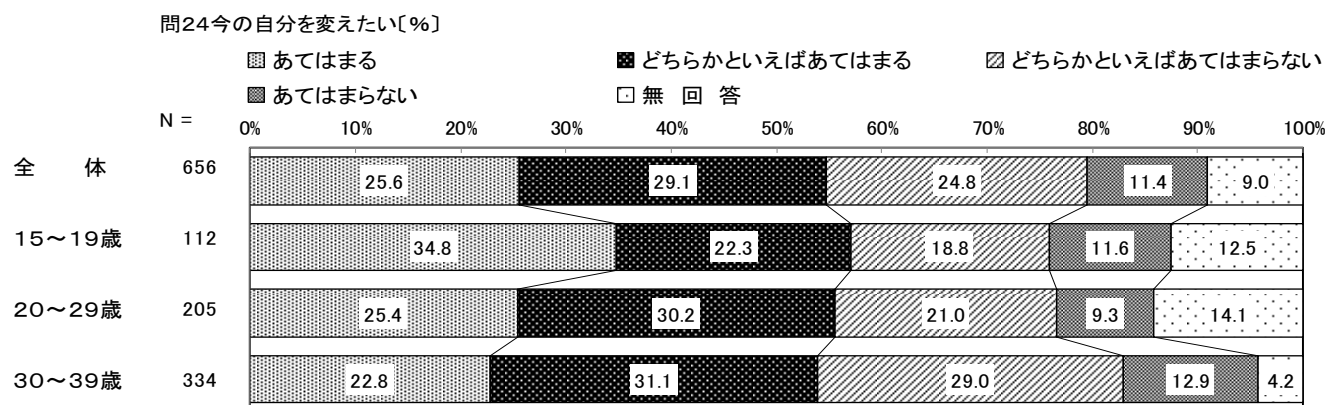
◆婚姻状況別では、未婚と配偶者ありで『あてはまらない』は42.1%と49.1%で差の開きがあります。（図表4-21）



【今の自分を変えたい】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が29.1%で、「あてはまる」の25.6%と合わせた『あてはまる』は54.7%、『あてはまらない』は36.2%となっています。

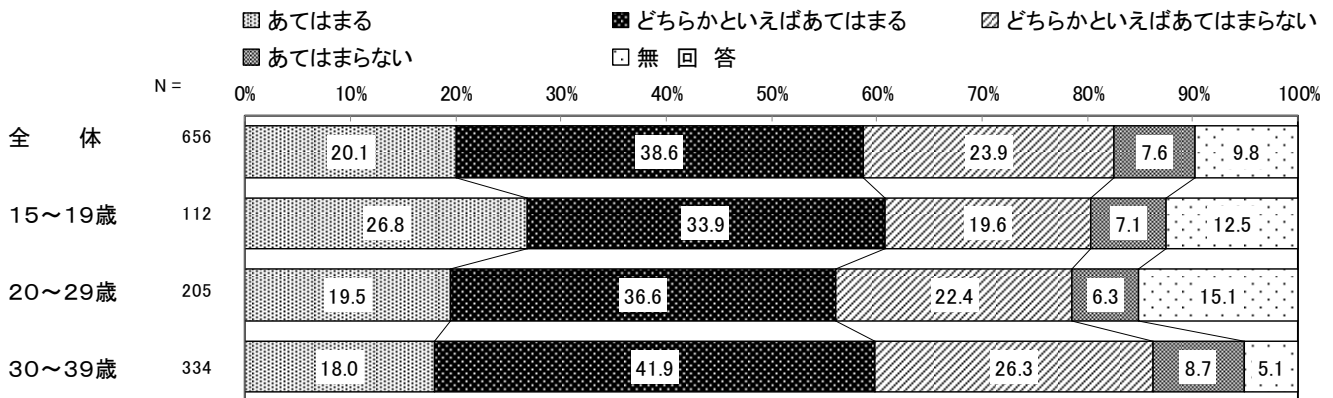
『あてはまる』は、年代が上がるにつれて低くなっています。



【将来よりも今の生活を楽しみたい】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が38.6%で、「あてはまる」の20.1%と合わせた『あてはまる』は58.7%、『あてはまらない』は31.5%となっています。

問24将来よりも今の生活を楽しみたい[%]

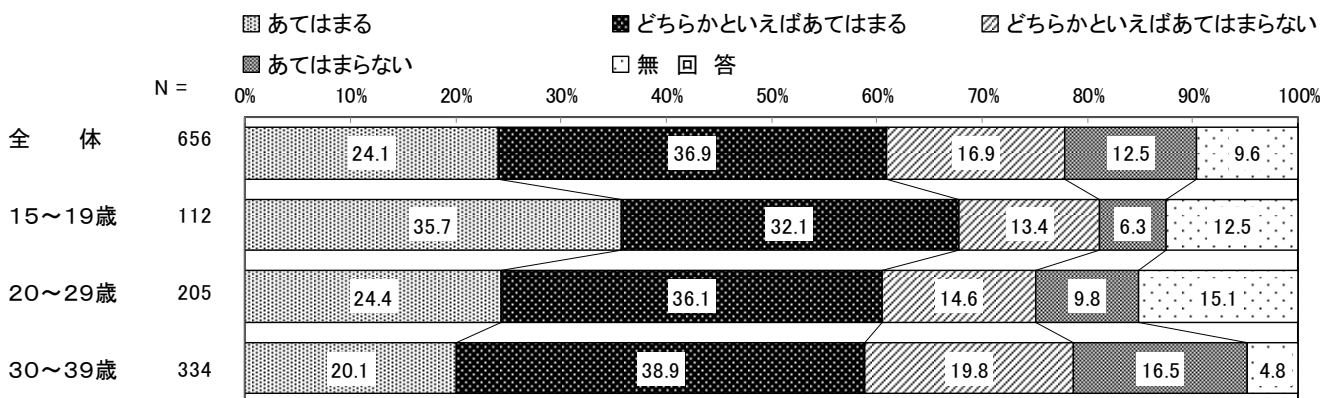


【努力すれば希望する職業につくことができる】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が36.9%で、「あてはまる」の24.1%と合わせた『あてはまる』は61.0%、『あてはまらない』は29.4%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて低くなっています。

問24努力すれば希望する職業につくことができる[%]

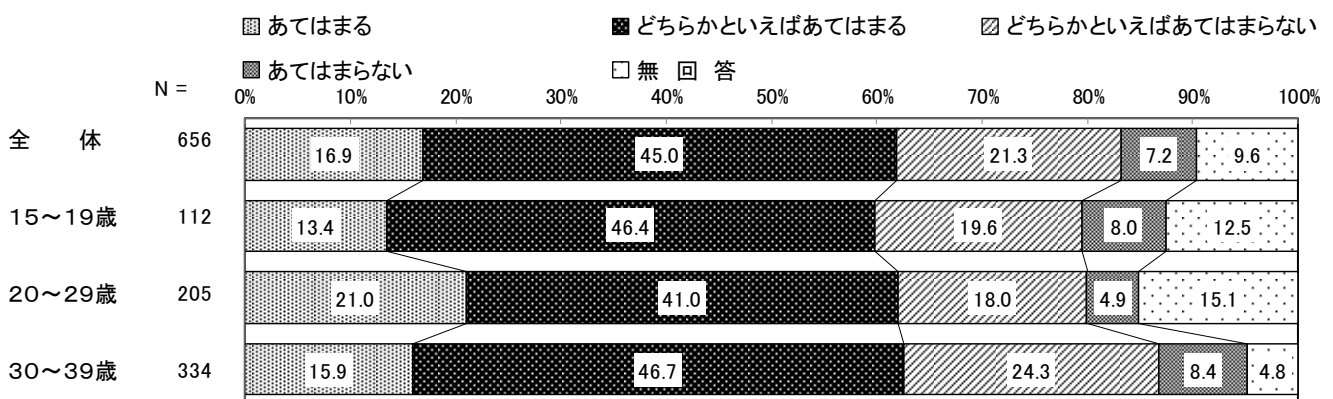


【自分の将来は運やチャンスによって決まる】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が45.0%で、「あてはまる」の16.9%と合わせた『あてはまる』は61.9%、『あてはまらない』は28.5%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて高くなっています。

問24自分の将来は運やチャンスによって決まる[%]

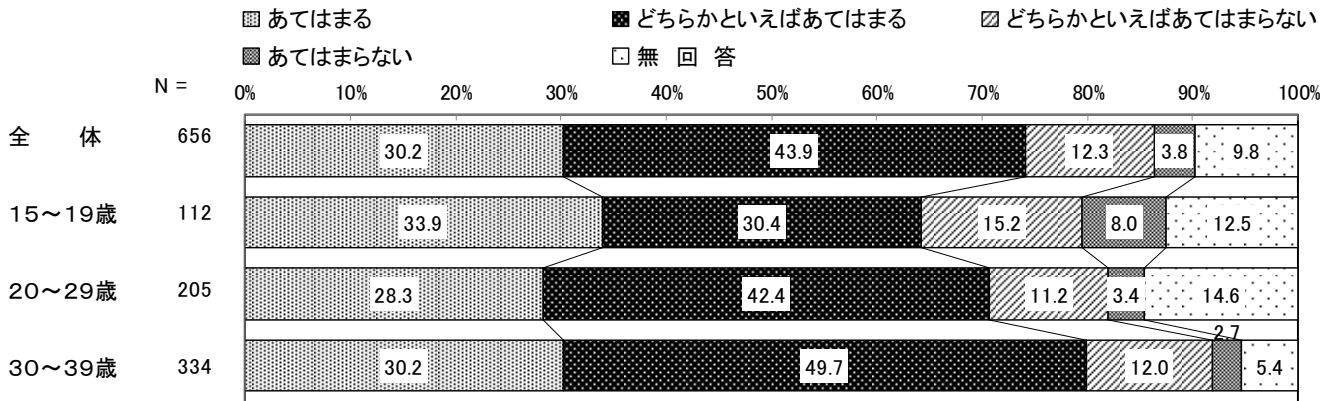


【人生で起こることは結局は自分に原因がある】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が43.9%で、「あてはまる」の30.2%と合わせた『あてはまる』は74.1%、『あてはまらない』は16.1%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて高くなっています。

問24人生で起こることは結局は自分に原因がある[%]

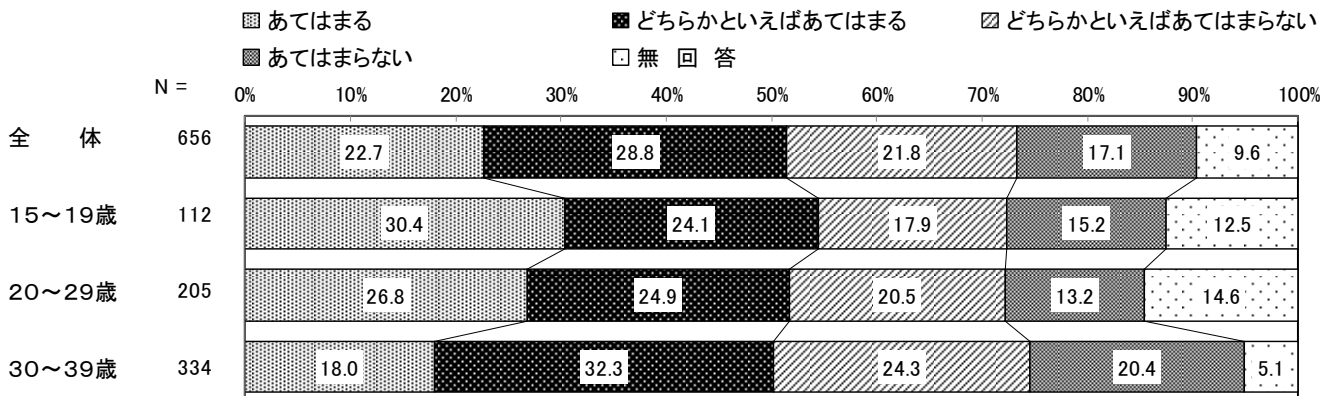


【人に迷惑をかけなければどんな考えや行動も自由だ】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が28.8%で、「あてはまる」の22.7%と合わせた『あてはまる』は51.5%、『あてはまらない』は38.9%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて低くなっています。

問24人に迷惑をかけなければどんな考えや行動も自由だ[%]

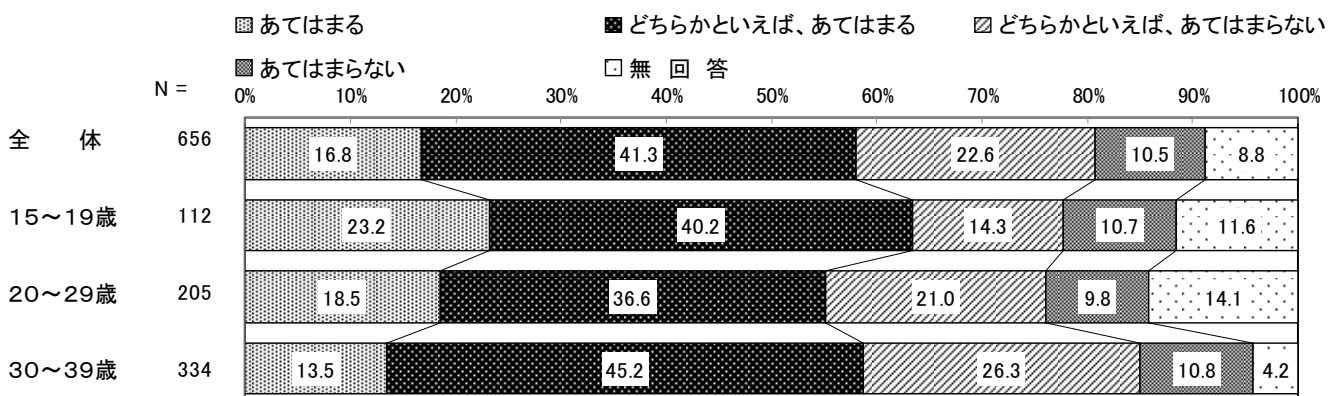


【今の自分が好きだ】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が41.3%で、「あてはまる」の16.8%と合わせた『あてはまる』は58.1%、『あてはまらない』は33.1%となっています。

年代別では、『あてはまる』で15~19歳が63.4%と最も高くなっています。

問24今の自分が好きだ[%]

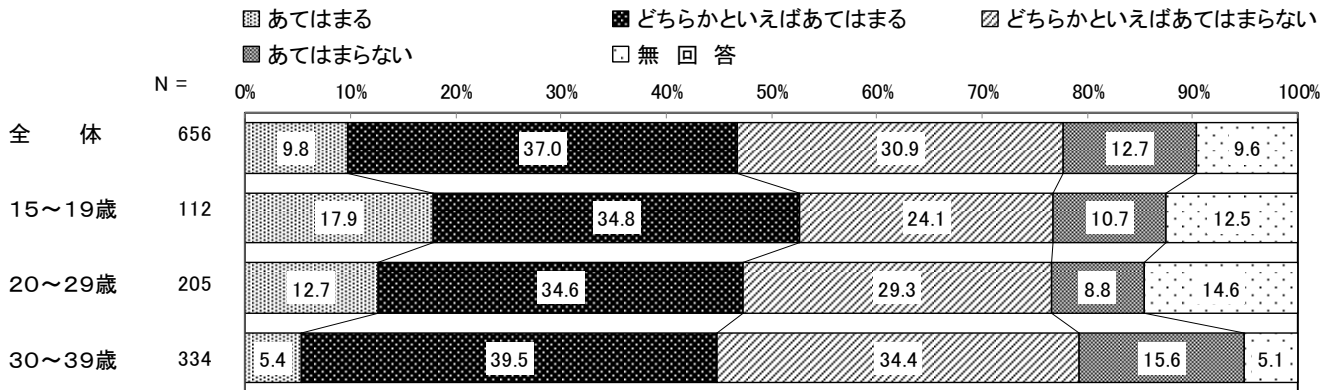


【他人と同じことをしていると安心だ】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が37.0%で、「あてはまる」の9.8%と合わせた『あてはまる』は46.8%、『あてはまらない』は43.6%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて低くなっています。

問24他人と同じことをしていると安心だ[%]

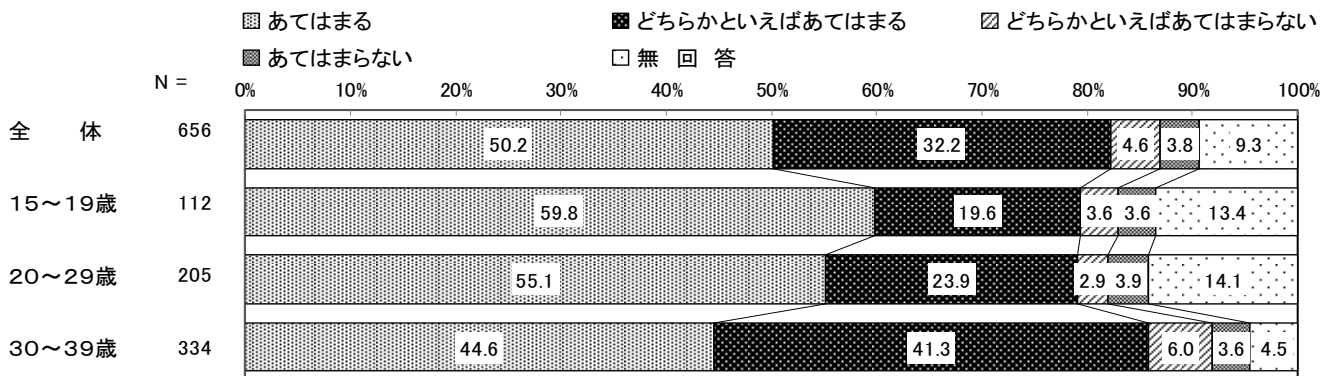


【自分の親（保護者）から愛されている】

全体では、「あてはまる」が50.2%で、「どちらかといえばあてはまる」の32.2%と合わせた『あてはまる』は82.4%、『あてはまらない』は8.4%となっています。

『あてはまる』は、15~19歳で79.4%、20~29歳で79.0%とほぼ同じですが、30~39歳では85.9%と高くなっています。

問24自分の親(保護者)から愛されている[%]

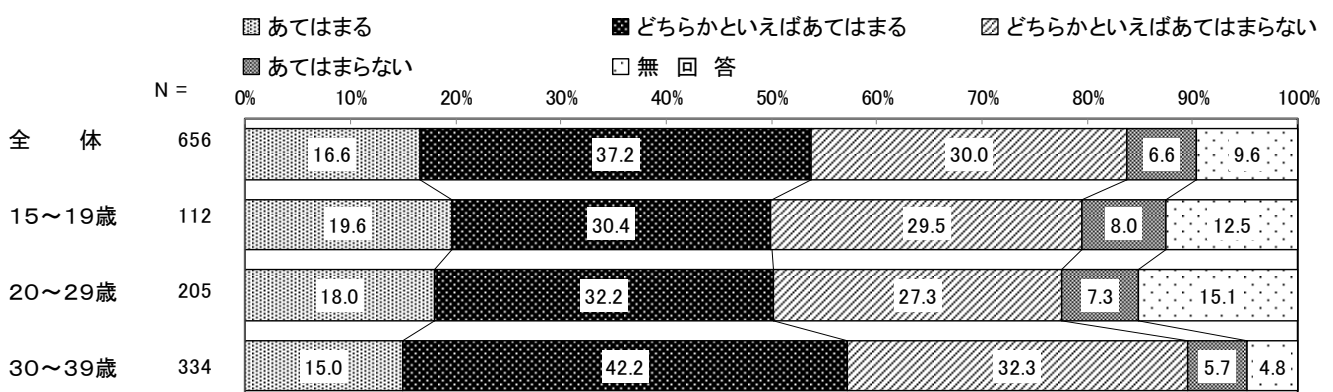


【うまくいかわからないことにも意欲的に取り組む】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が37.2%で、「あてはまる」の16.6%と合わせた『あてはまる』は53.8%、『あてはまらない』は36.6%となっています。

『あてはまる』は、15~19歳で50.0%、20~29歳で50.2%とほぼ同じですが、30~39歳では57.2%と高くなっています。

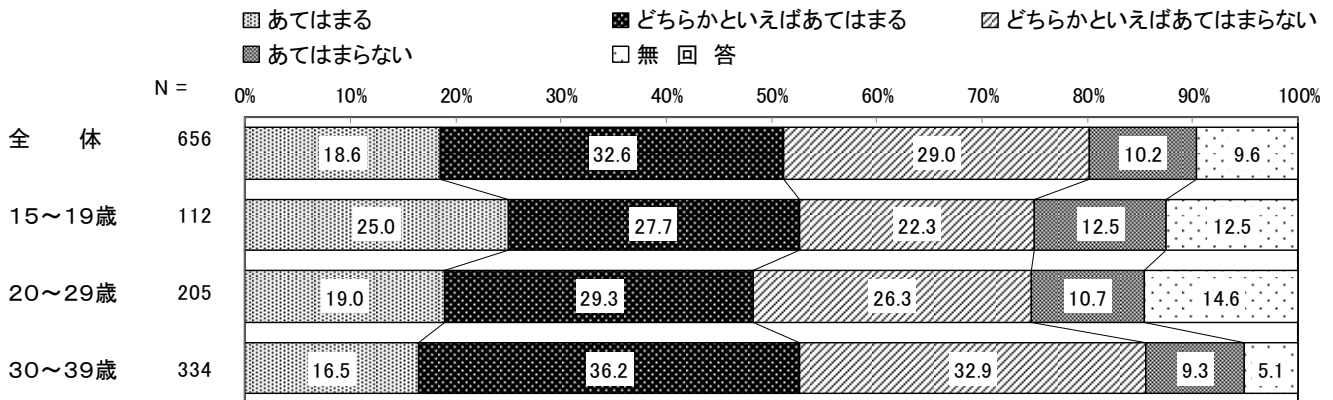
問24うまくいかわからないことにも意欲的に取り組む[%]



【自分の考えをはっきり相手に伝えることができる】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が32.6%で、「あてはまる」の18.6%と合わせた『あてはまる』は51.2%、『あてはまらない』は39.2%となっています。

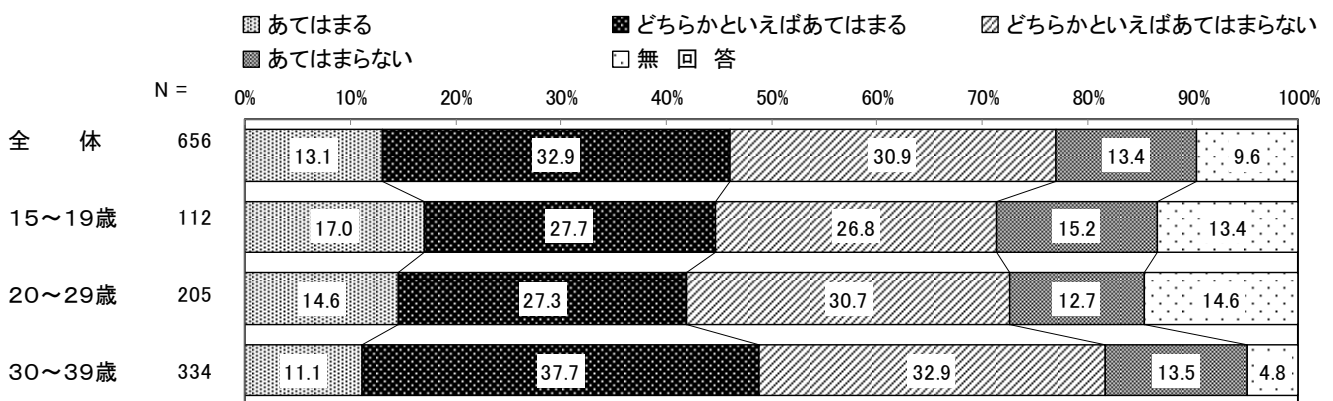
問24 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる[%]



【自分自身に満足している】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が32.9%で、「あてはまる」の13.1%と合わせた『あてはまる』は46.0%、『あてはまらない』は44.3%となっています。

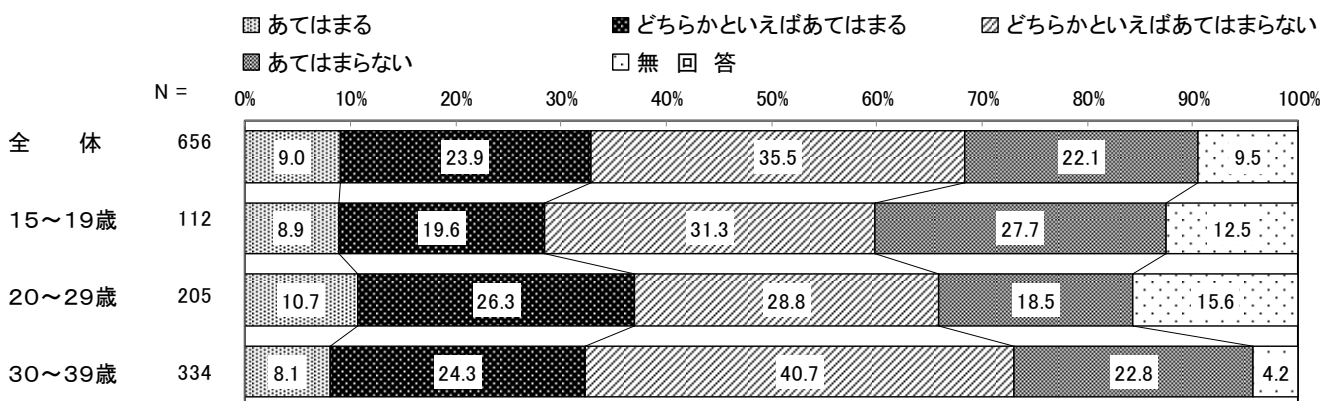
問24 自分自身に満足している[%]



【自分は役に立たないと強く感じる】

全体では、「どちらかといえばあてはまらない」が35.5%で、「あてはまらない」の22.1%と合わせた『あてはまらない』は57.6%、『あてはまる』は32.9%となっています。

問24 自分は役に立たないと強く感じる[%]



問25 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

全体では、「どちらかといえばそう思う」が39.5%で、「そう思う」の36.9%と合わせた『そう思う』は76.4%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計、以下同様）は14.1%となっています。

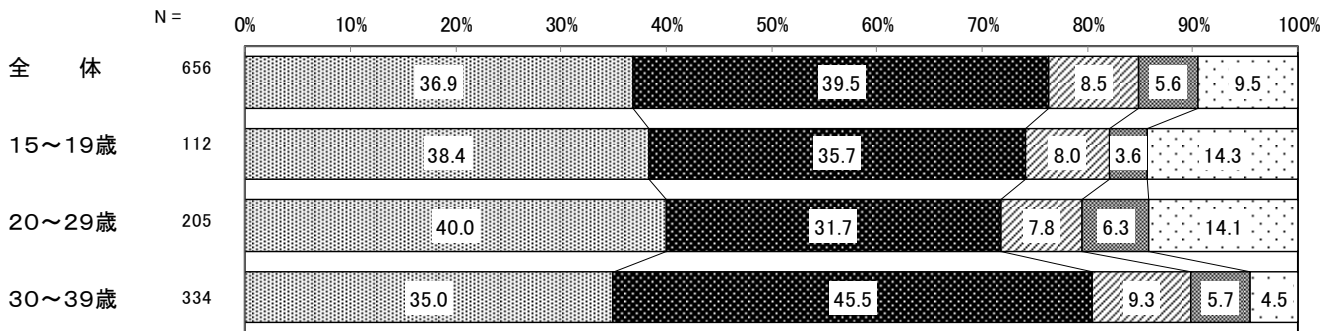
◆婚姻状況別では、配偶者のいる回答者で『そう思う』が86.7%と高くなっています。

◆所得別では、低所得世帯で『そう思わない』が28.6%と高くなっています。

◆家計逼迫別では、家計逼迫リスクありで『そう思わない』が32.5%と高くなっています。（図表4-22）

問25自分は幸せだと思う[%]

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



問26 次の場所は、今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所などになっていますか。

【自分の部屋】

全体では、「そう思う」が54.1%で、「どちらかといえばそう思う」の19.1%と合わせた『そう思う』は73.2%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計、以下同様）は5.3%となっています。

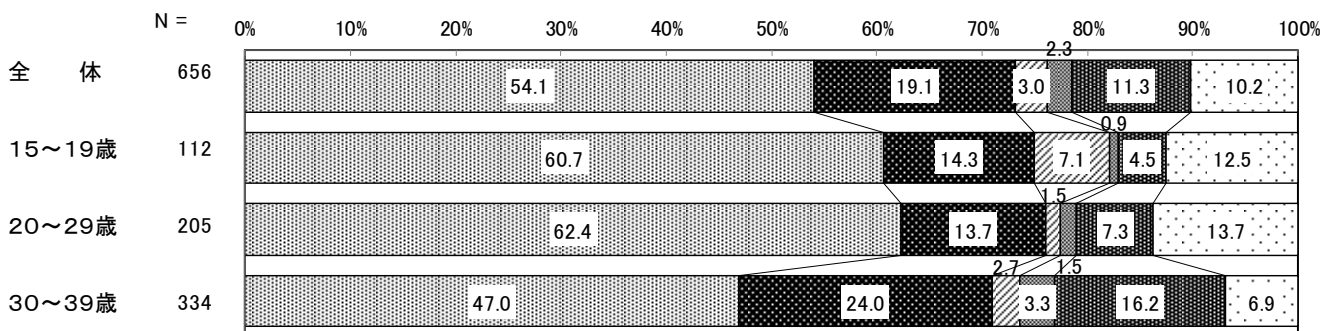
◆世帯構成別では、『そう思う』が単身世帯で89.5%、夫婦のみの世帯で79.7%と高くなっています。

◆所得別では、低所得世帯で『そう思わない』が10.8%と高くなっています。

◆家計逼迫別では、家計逼迫リスクありで『そう思わない』が10.8%と高くなっています。（図表4-23）

問26居心地の良い場所・自分の部屋[%]

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ あてはまるものはない、わからない □ 無回答

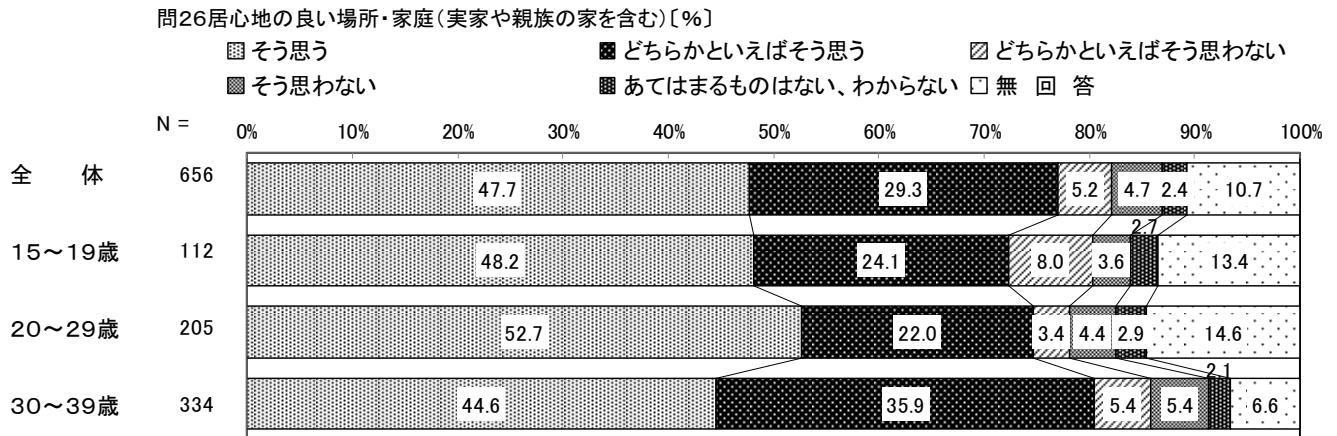


【家庭（実家や親族の家を含む）】

全体では、「そう思う」が47.7%で、「どちらかといえばそう思う」の29.3%と合わせた『そう思う』は77.0%、『そう思わない』は9.9%となっています。

◆婚姻状況別では、『そう思う』が配偶者のいる回答者で83.9%、配偶者と離別（離婚）で82.4%と高くなっています。

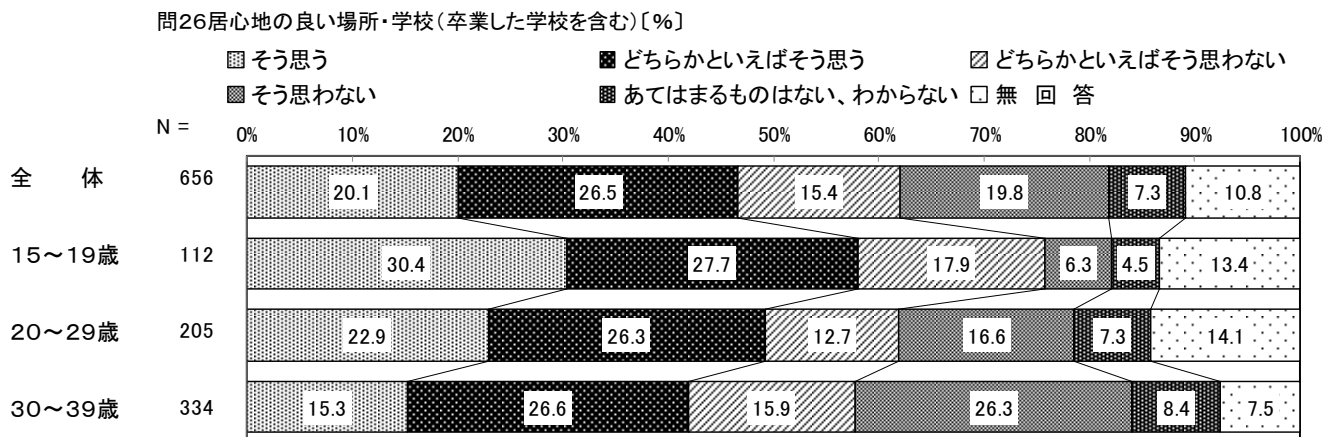
◆所得別では、低所得世帯で『そう思わない』が17.8%で非低所得世帯の9.2%と比べ2倍近くとなっています。（図表4-24）



【学校（卒業した学校を含む）】

全体では、「どちらかといえばそう思う」が26.5%で、「そう思う」の20.1%と合わせた『そう思う』は46.6%、『そう思わない』は35.2%となっています。

『そう思う』は年代が上がるにつれて低くなっています。

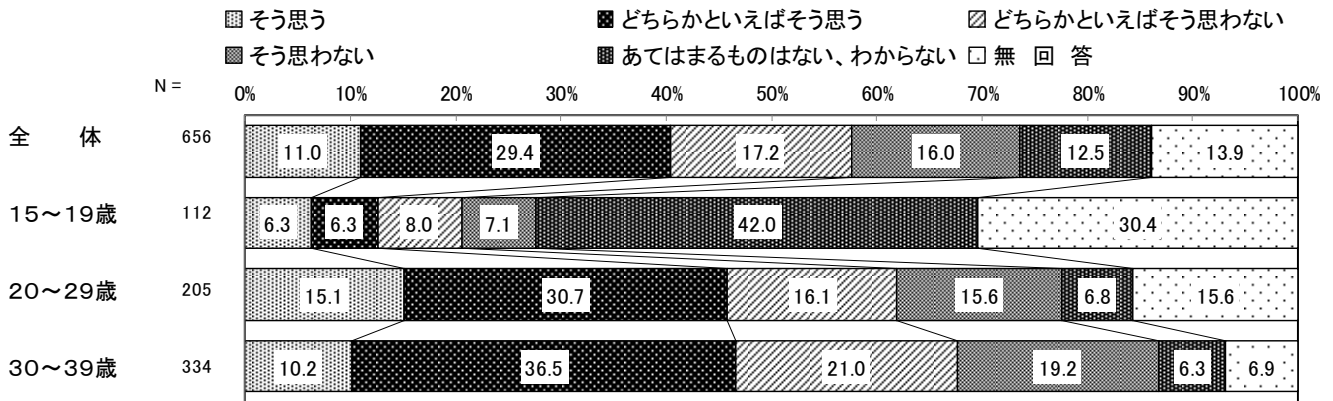


【職場（過去の職場を含む）】

全体では、「どちらかといえばそう思う」が29.4%で、「そう思う」の11.0%と合わせた『そう思う』は40.4%、『そう思わない』は33.2%となっています。

『そう思う』は、15～19歳では12.6%と低く、20～29歳、30～39歳で約48%と大幅に高くなっています。

問26居心地の良い場所・職場（過去の職場を含む）[%]



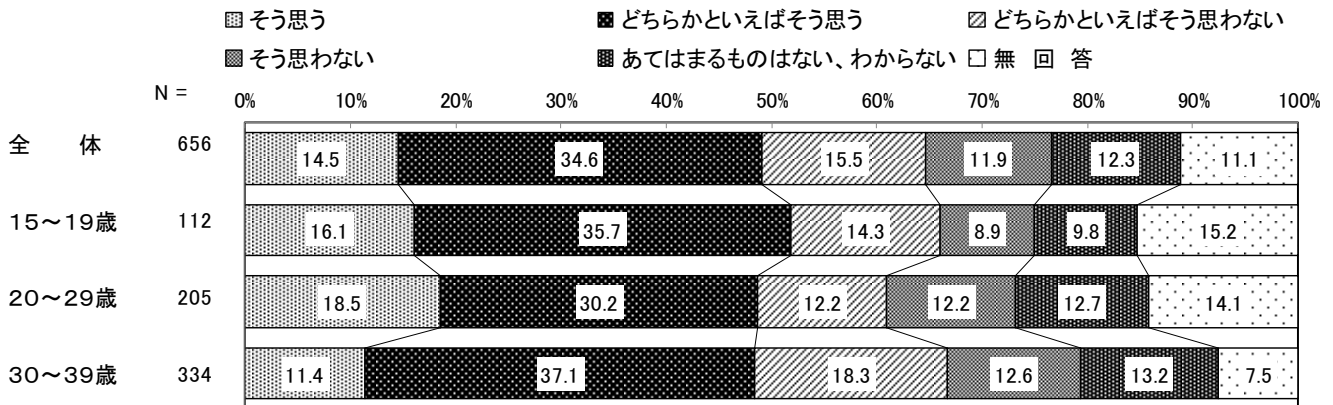
【地域】

全体では、「どちらかといえばそう思う」が34.6%で、「そう思う」の14.5%と合わせた『そう思う』は49.1%、『そう思わない』は27.4%となっています。

◆世帯構成別では、『そう思う』が単身世帯で65.8%、3世代世帯で57.7%と半数を超えています。

◆所得別の低所得世帯では、『そう思わない』が39.3%で、非低所得世帯での26.3%の約1.5倍となっています。（図表4-25）

問26居心地の良い場所・地域[%]



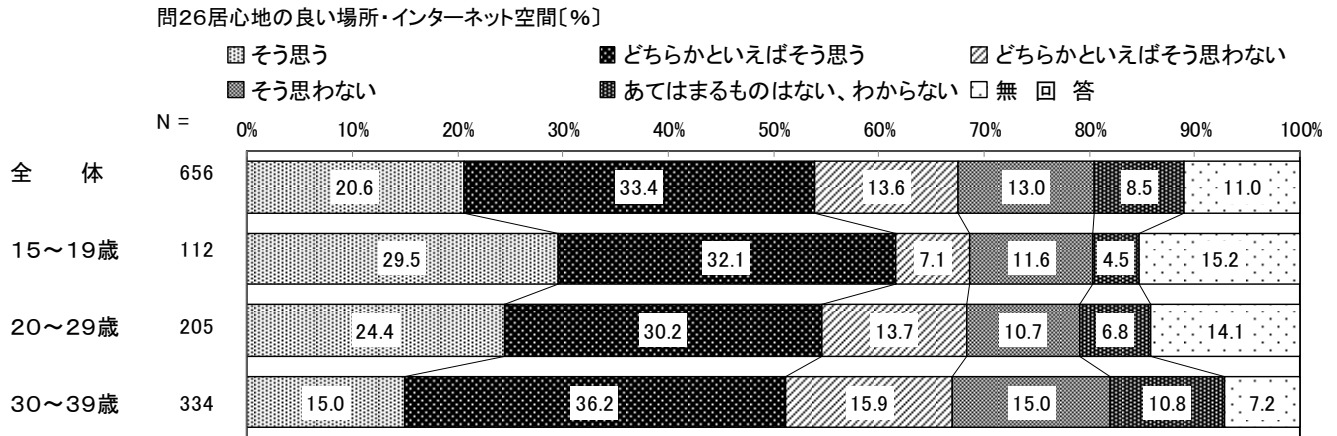
【インターネット空間】

全体では、「どちらかといえばそう思う」が33.4%で、「そう思う」の20.6%と合わせた『そう思う』は54.0%、『そう思わない』は26.6%となっています。

『そう思う』は年代が上がるにつれて低くなっています。

◆婚姻状況別では、配偶者と離別（離婚）した回答者で『そう思う』が70.6%と高くなっています。

◆所得別では、『そう思う』が低所得世帯で、59.6%と非低所得世帯の52.5%と比べ高くなっています。（図表4-26）

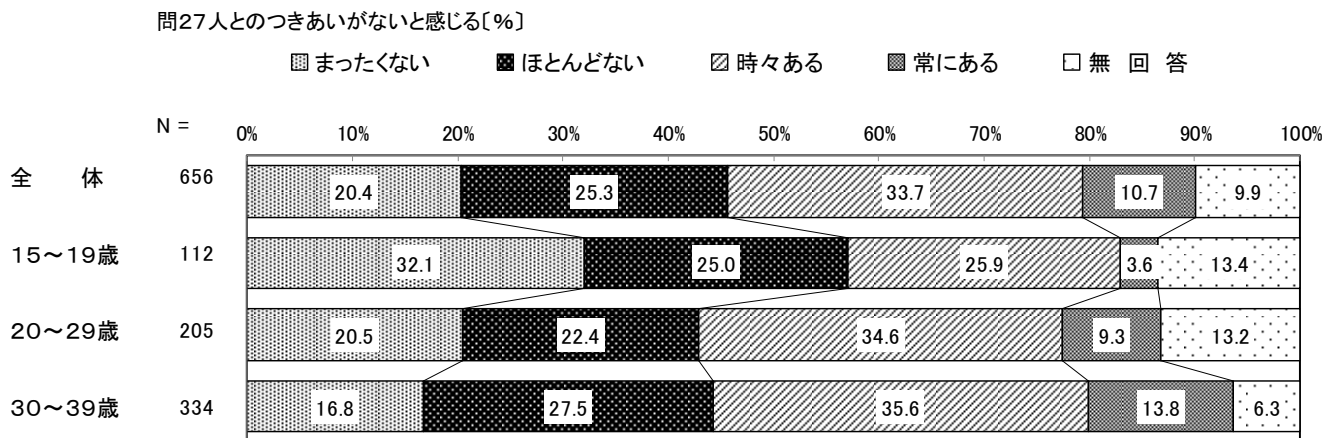


問27 次の項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。

【人とのつきあいがないと感じる】

全体では、「時々ある」が33.7%と高く、「ほとんどない」が25.3%、「まったくない」が20.4%となっています。

「まったくない」は、年代が上がるにつれて低くなっています。



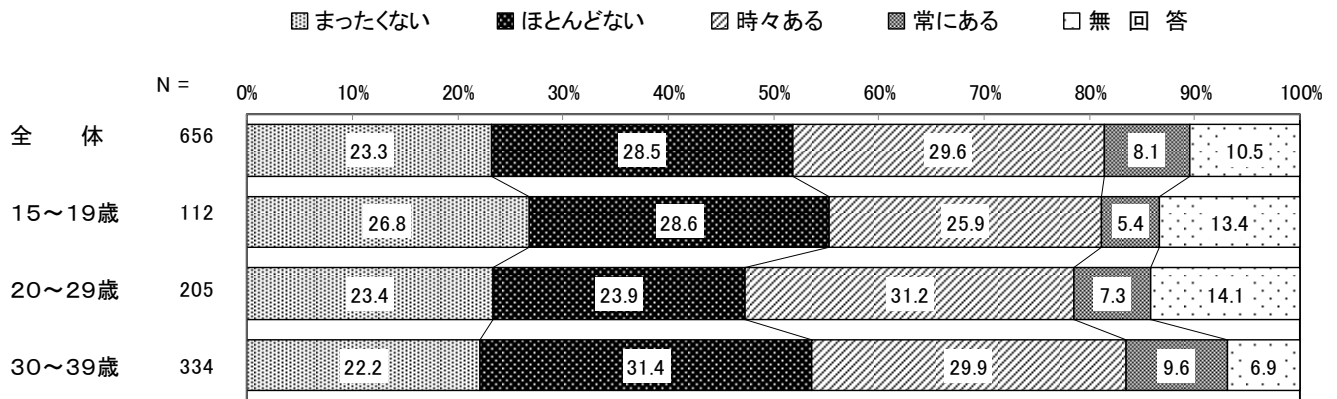
【取り残されていると感じる】

全体では、「時々ある」が29.6%、「ほとんどない」が28.5%と高く、「まったくない」が23.3%となっています。

◆世帯構成別では、単身世帯での「時々ある」が44.7%で最も高くなっています。

◆就業状況別では、「時々ある」、「常にある」を合わせた『ある』が、現在就業、休職や休業中と、就業していないが就業経験ありで、それぞれ59.2%、52.3%となっています。(図表4-27)

問27取り残されていると感じる[%]

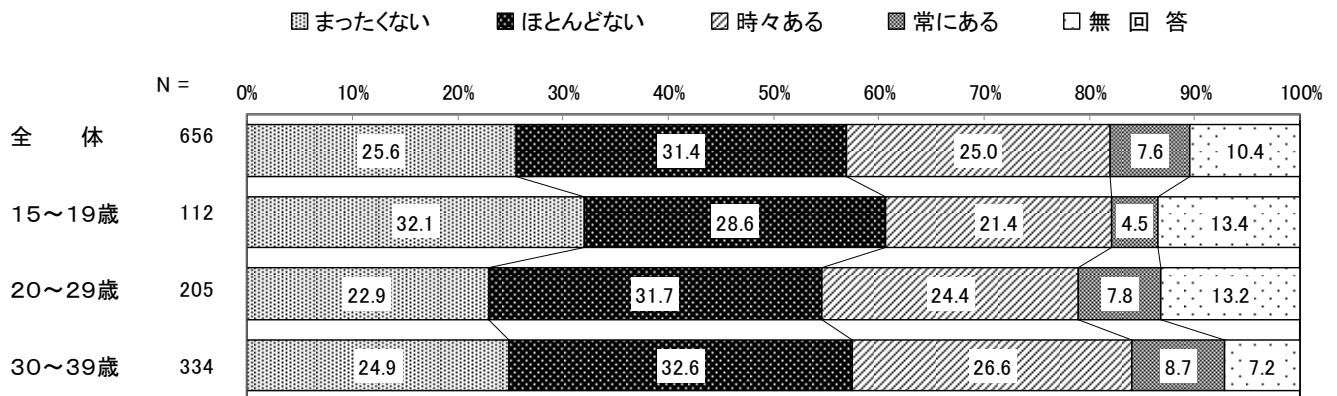


【他の人たちから孤立していると感じる】

全体では、「ほとんどない」が31.4%と高く、「まったくない」が25.6%、「時々ある」が25.0%となっています。

「時々ある」と「常にある」を合わせた『ある』は、年代が上がるにつれて高くなっています。

問27他の人たちから孤立していると感じる[%]

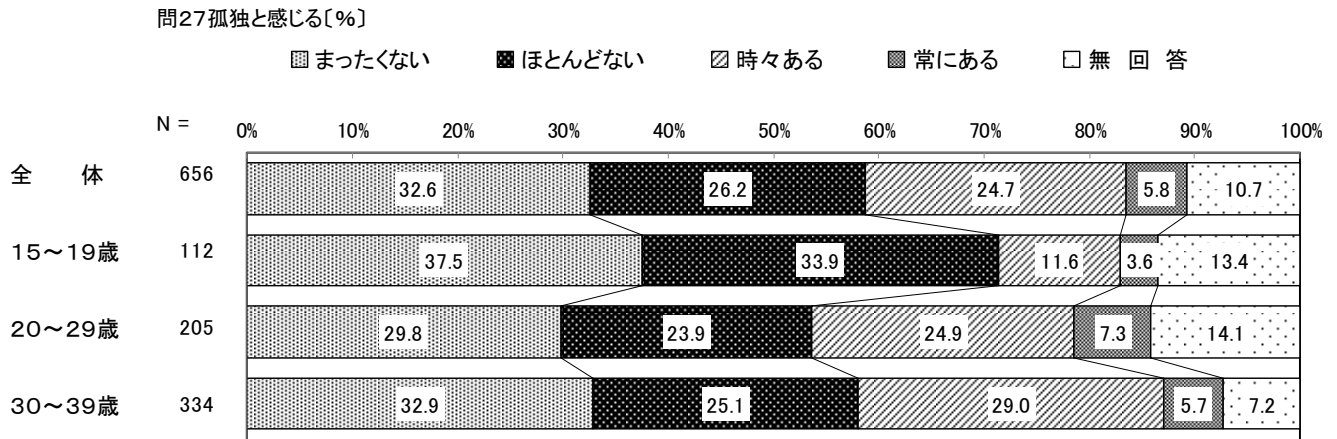


【孤独と感じる】

全体では、「まったくない」が32.6%と高く、「ほとんどない」が26.2%、「時々ある」が24.7%となっています。

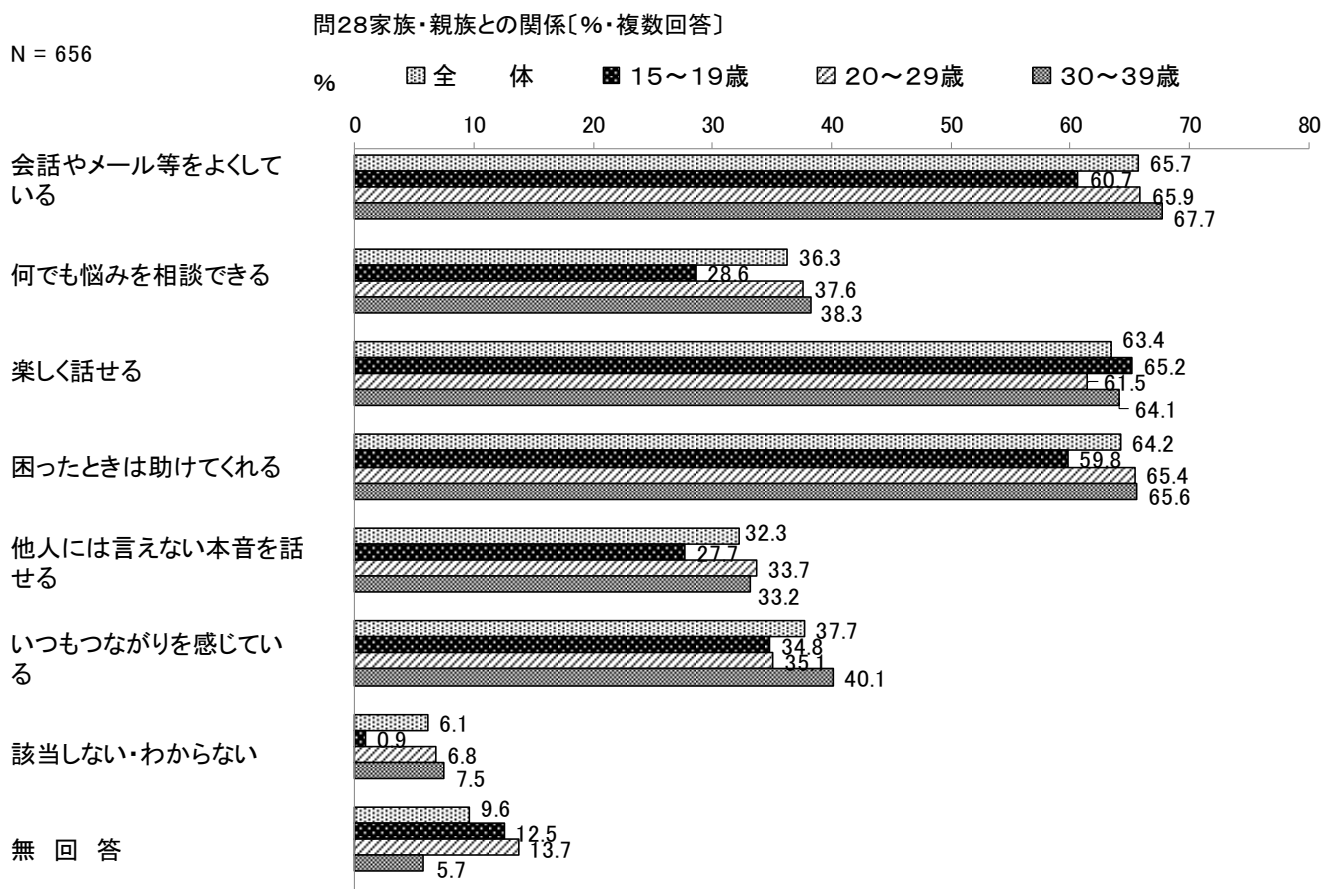
◆婚姻状況別では、配偶者と離別（離婚）した回答者で「時々ある」が47.1%と最も高くなっています。

◆世帯構成別では、単身世帯で「時々ある」が42.1%と最も高くなっています。（図表 4-28）



問28 家族・親族とあなたとの現在の関係は、どのようなものですか。

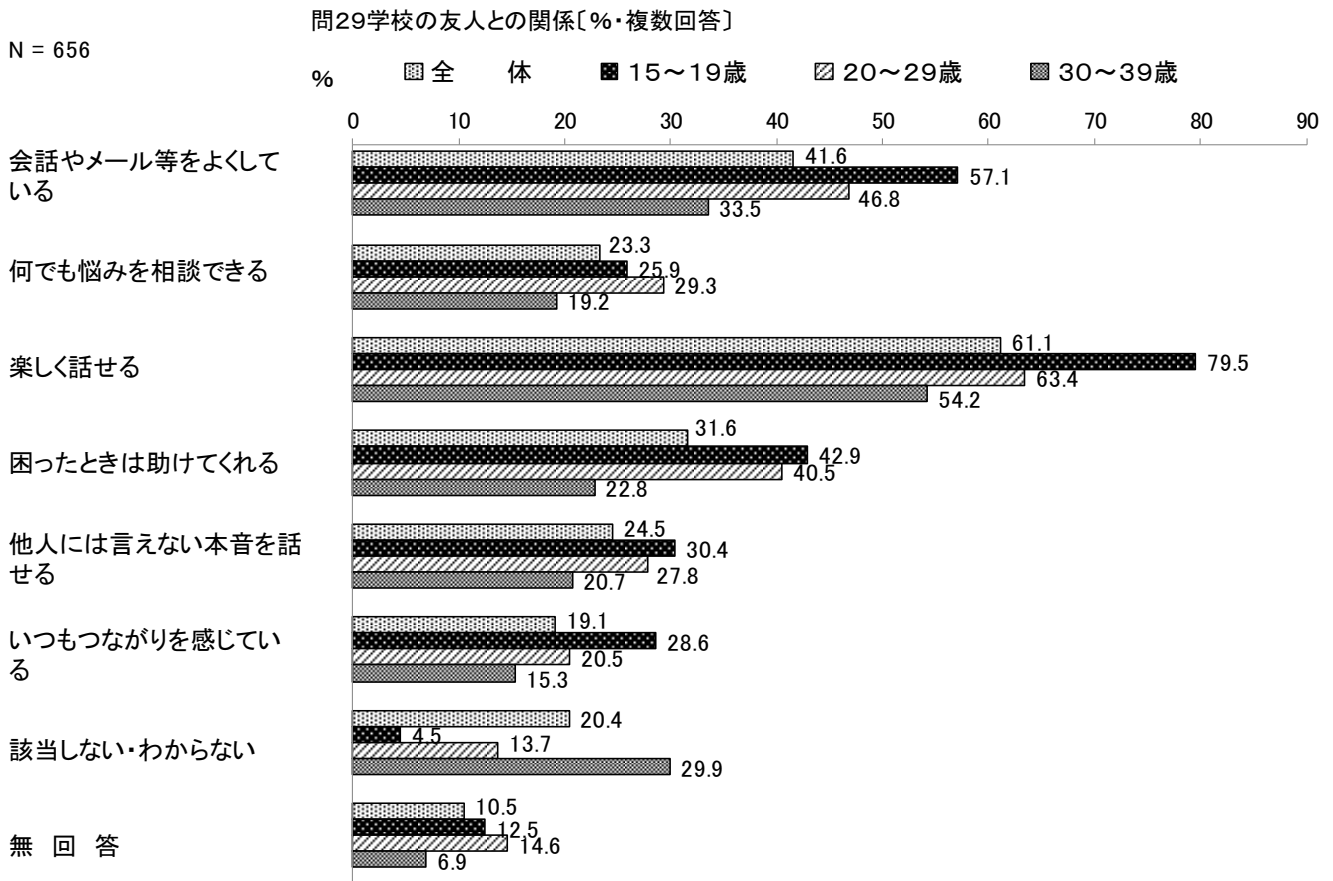
全体では、「会話やメール等をよくしている」が65.7%、「困ったときは助けてくれる」が64.2%、「楽しく話せる」が63.4%と高く、「いつもつながりを感じている」が37.7%となっています。



問29 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、同窓生など）と、あなたとの現在の関係は、どのようなものですか。

全体では、「楽しく話せる」が61.1%と高く、「会話やメール等をよくしている」が41.6%、「困ったときは助けてくれる」が31.6%、「他人には言えない本音を話せる」が24.5%となっています。

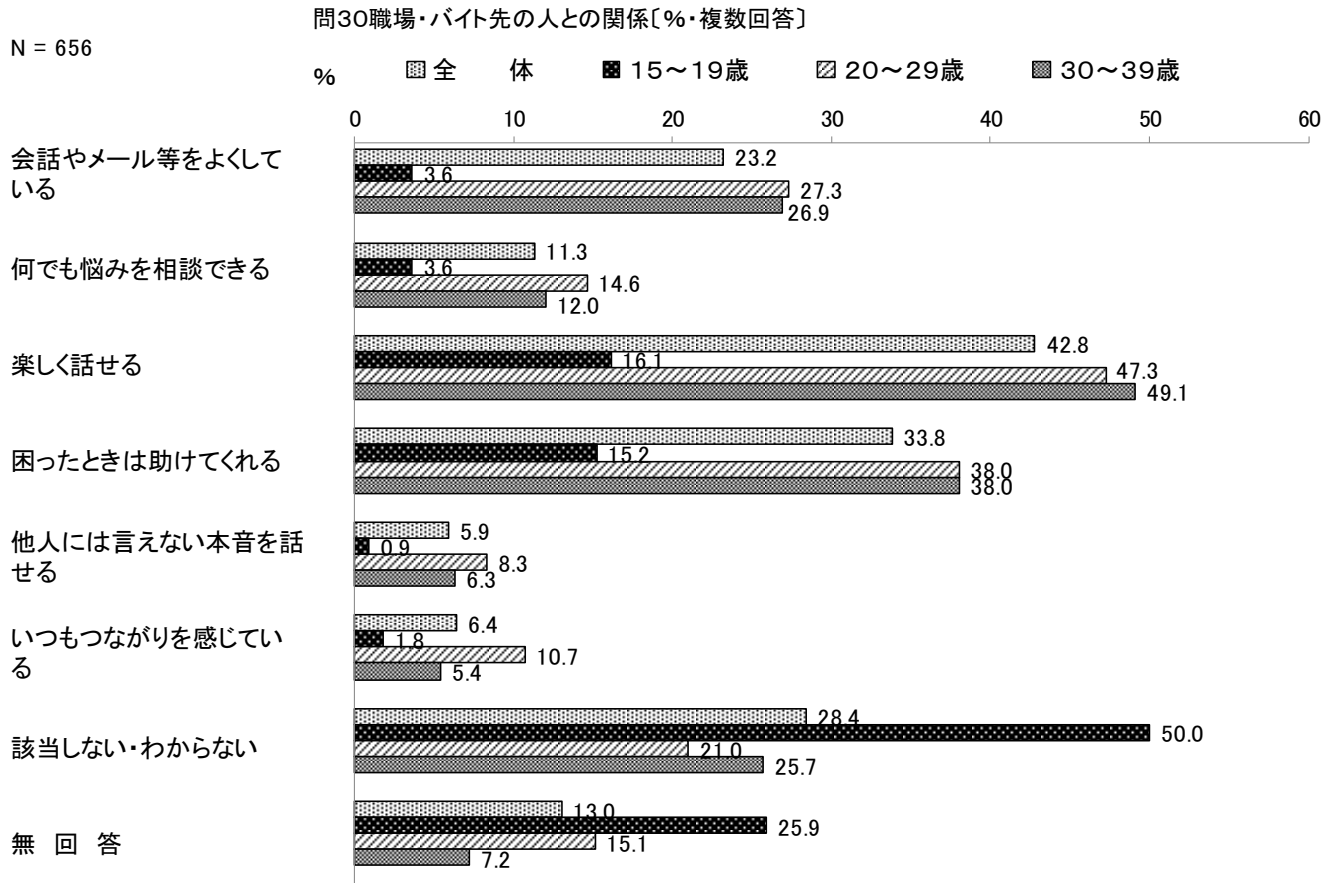
「楽しく話せる」、「会話やメール等をよくしている」はいずれの年代も共通して上位を占めていますが、15～19歳、20～29歳の「困ったときは助けてくれる」に対し、30～39歳では、「該当しない・わからない」が続いています。



問30 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたとの現在の関係は、どのようなものですか。

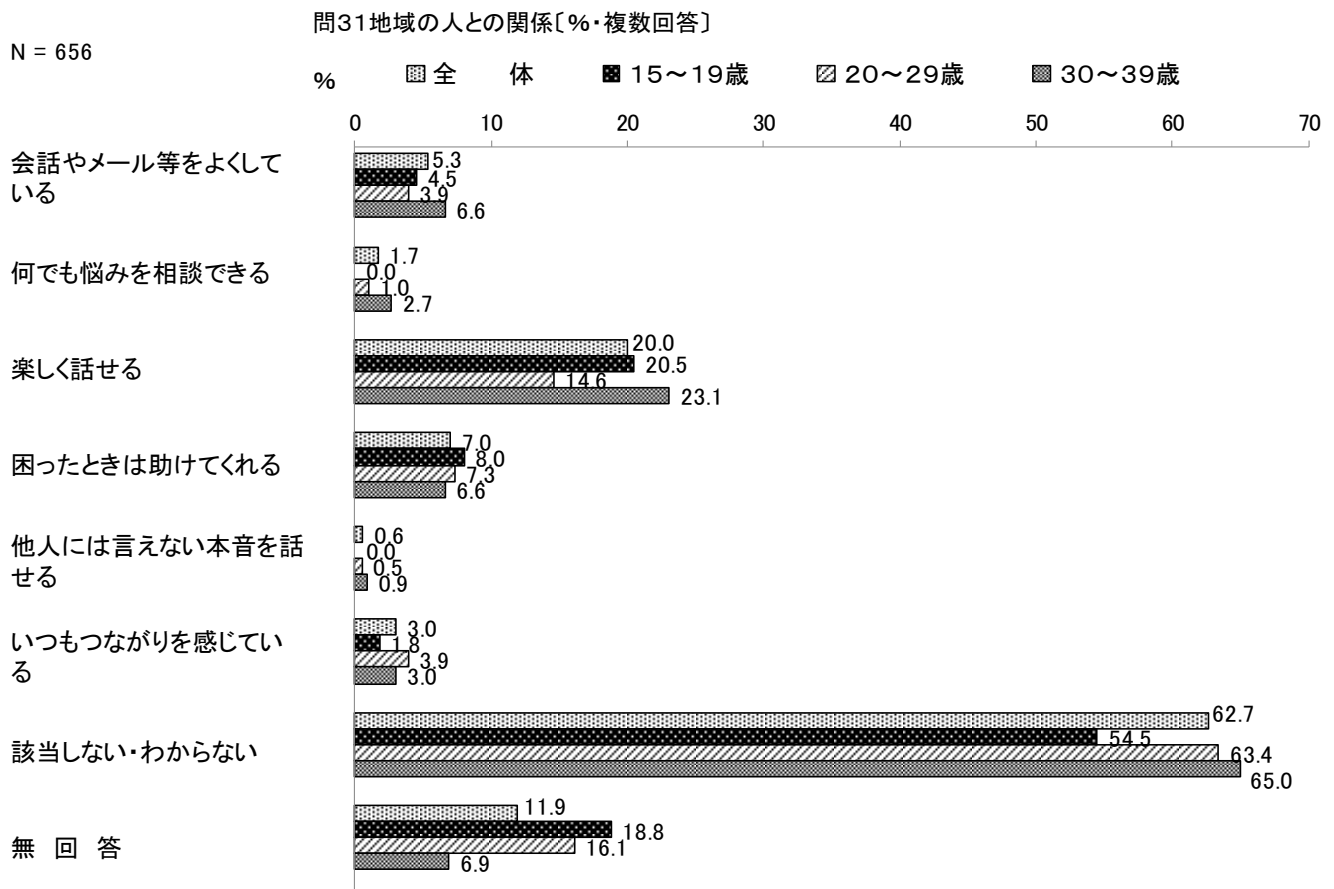
全体では、「楽しく話せる」が42.8%と高く、「困ったときは助けてくれる」が33.8%、「該当しない・わからない」が28.4%、「会話やメール等をよくしている」が23.2%となっています。

20～29歳と30～39歳で「楽しく話せる」が45%強、「困ったときは助けてくれる」がともに38.0%となっています。



問31 地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）と、あなたとの関係は、どのようなものですか。

全体では、「該当しない・わからない」が62.7%と高く、「楽しく話せる」が20.0%となっています。

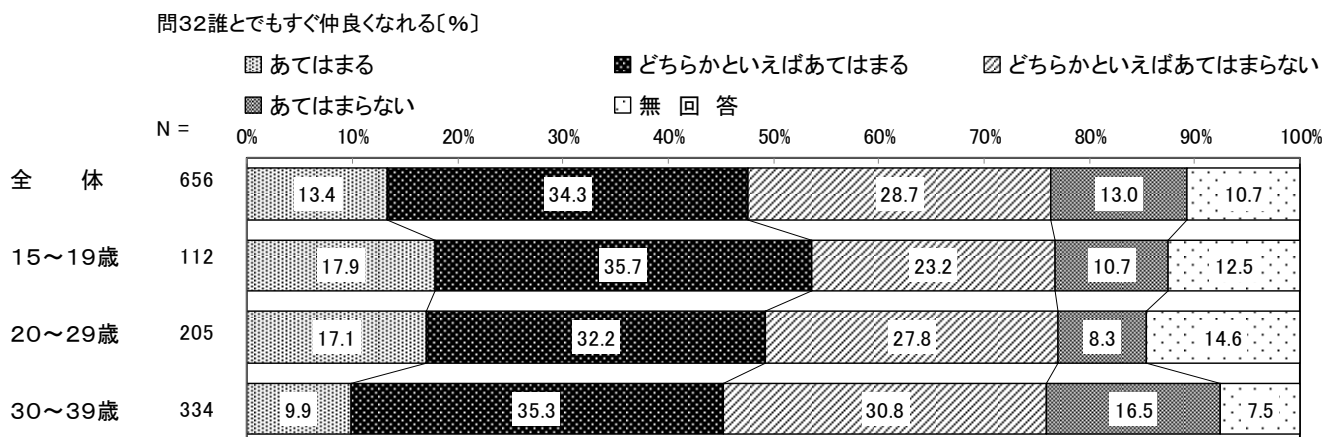


問32 あなたは、他の人と付き合う時、次の項目についてどのくらいあてはまりますか。

【誰とでもすぐ仲良くなれる】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が34.3%で、「あてはまる」の13.4%と合わせた『あてはまる』は47.7%、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の計、以下同様）は41.7%となっています。

『あてはまる』年代が上がるにつれて低くなっています。

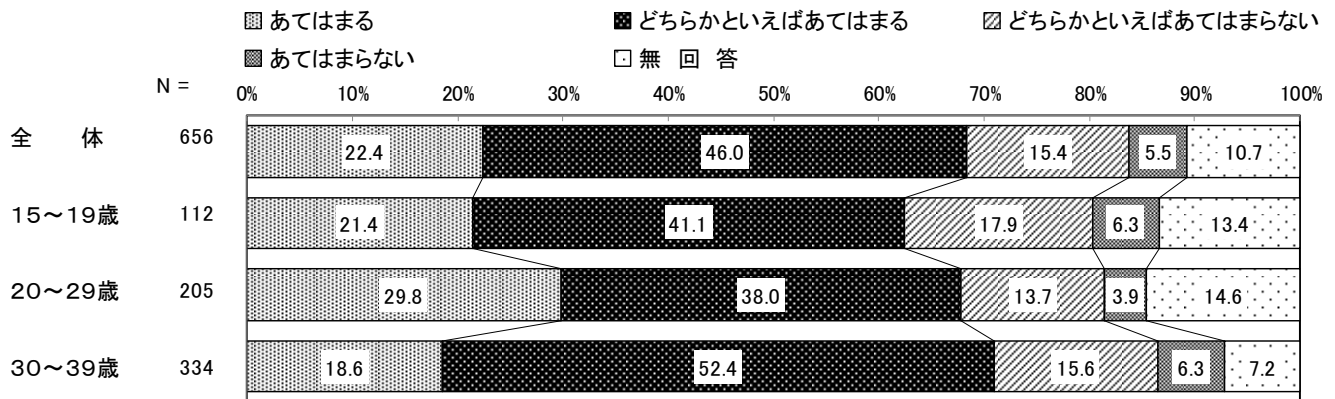


【表情やしぐさで相手の思っていることがわかる】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が46.0%で、「あてはまる」の22.4%と合わせた『あてはまる』は68.4%、『あてはまらない』は20.9%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて高くなっています。

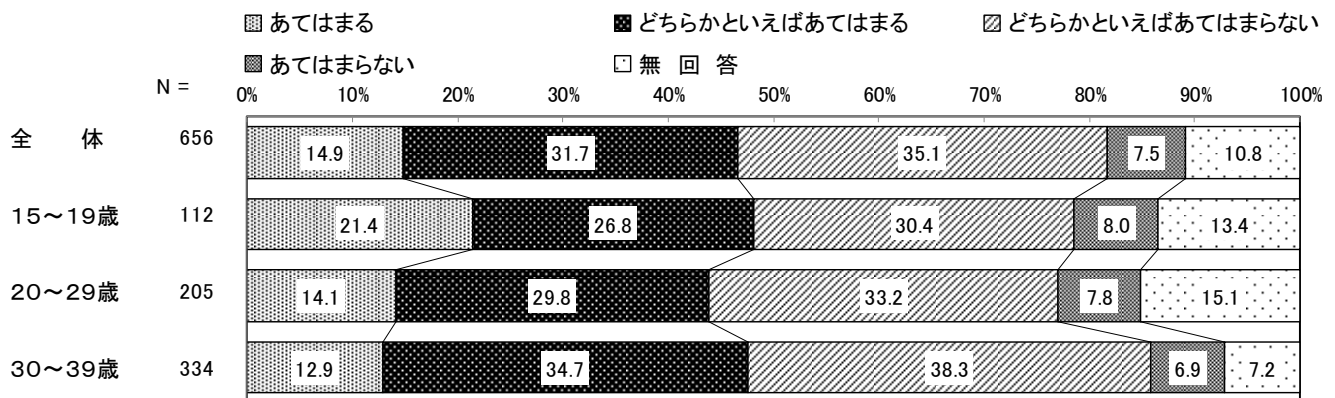
問32表情やしぐさで相手の思っていることがわかる〔%〕



【親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る】

全体では、「どちらかといえばあてはまらない」が35.1%で、「あてはまらない」の7.5%と合わせた『あてはまらない』は42.6%、『あてはまる』は46.6%となっています。

問32親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る〔%〕

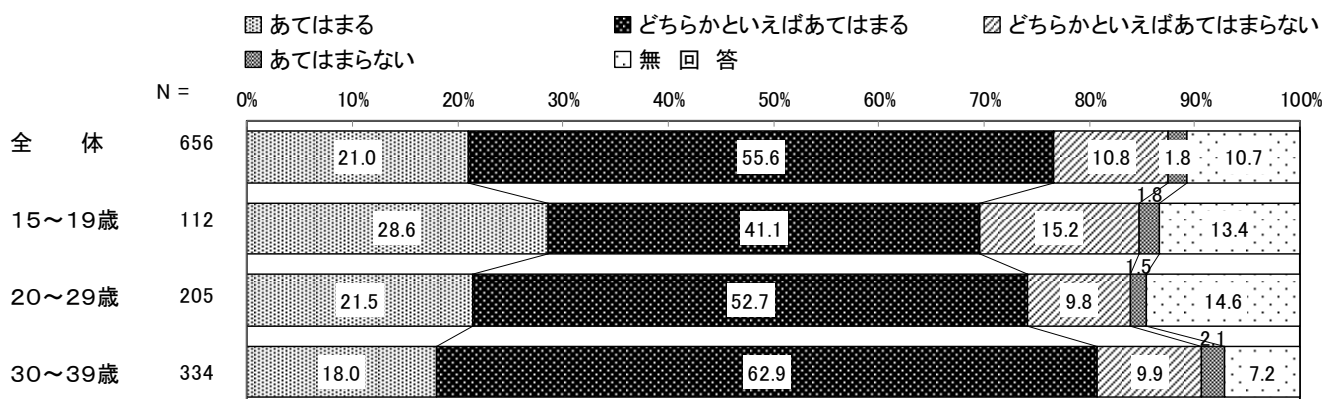


【その場に合った行動がとれる】

全体では、「どちらかといえばあてはまる」が55.6%で、「あてはまる」の21.0%と合わせた『あてはまる』は76.6%、『あてはまらない』は12.6%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて高くなっています。

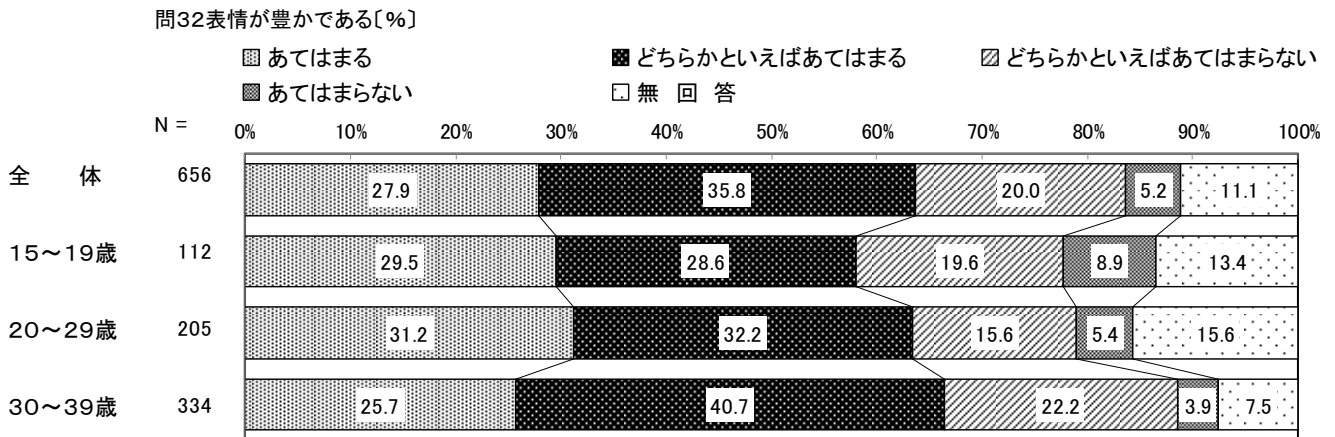
問32その場に合った行動がとれる〔%〕



【表情が豊かである】

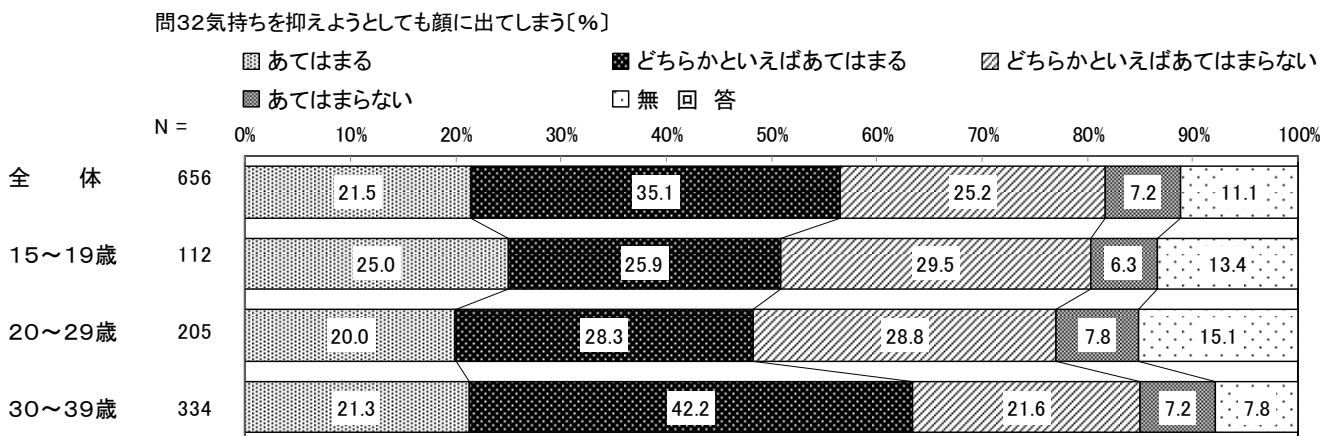
全体では、「どちらかといえばあてはまる」が35.8%で、「あてはまる」の27.9%と合わせた『あてはまる』は63.7%、『あてはまらない』は25.2%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて高くなっています。



【気持ちを抑えようとしても顔に出てしまう】

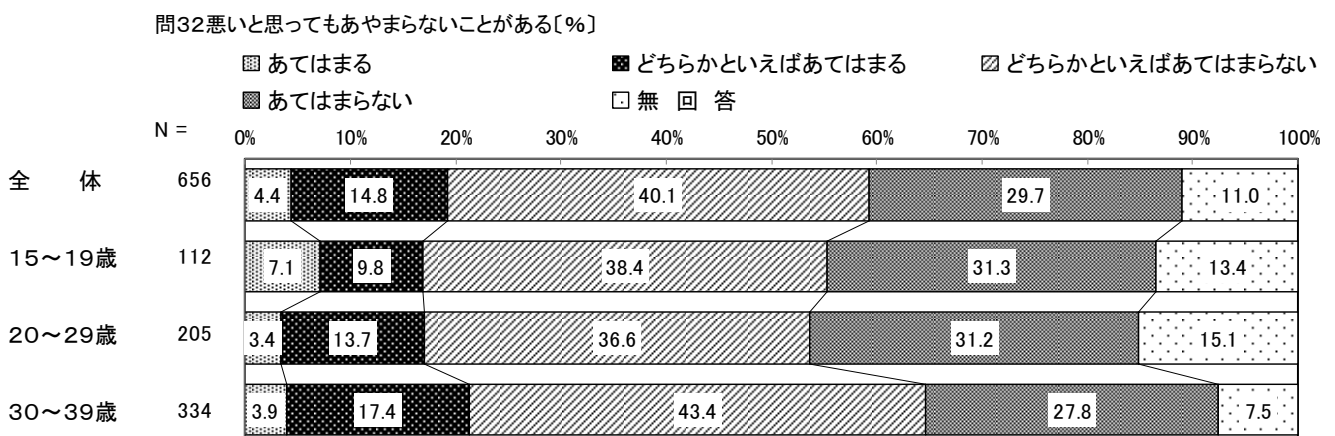
全体では、「どちらかといえばあてはまる」が35.1%で、「あてはまる」の21.5%と合わせた『あてはまる』は56.6%、『あてはまらない』は32.4%となっています。



【悪いと思ってもあやまらないことがある】

全体では、「どちらかといえばあてはまらない」が40.1%で、「あてはまらない」の29.7%と合わせた『あてはまらない』は69.8%、『あてはまる』は19.2%となっています。

『あてはまる』は、年代が上がるにつれて高くなっています。



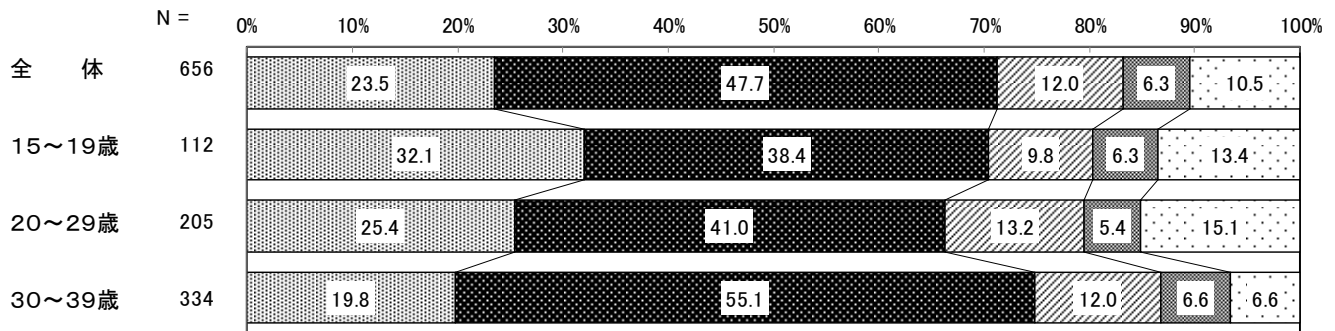
問33 あなたは、「社会や地域のために役立ちたい」と思いますか。

全体では、「どちらかといえばそう思う」が47.7%で、「そう思う」の23.5%と合わせた『そう思う』は71.2%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計）は18.3%となっています。

◆就業状況別では、『そう思う』が現在就業しているが、休職や休業中の回答者で、85.2%となっています。（図表4-29）

問33社会や地域の役立ちたいと思う[%]

□ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答



問34 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。最も近いものを選んでください。

全体では、「どちらかといえば希望がある」が41.3%で、「希望がある」の19.8%と合わせた『希望がある』は61.1%、『希望がない』（「どちらかといえば希望がない」と「希望がない」の計）は28.2%となっています。

◆婚姻状況別では配偶者のいる回答者、世帯構成別で夫婦のみの世帯の回答者『希望がある』が70%強と高くなっています。

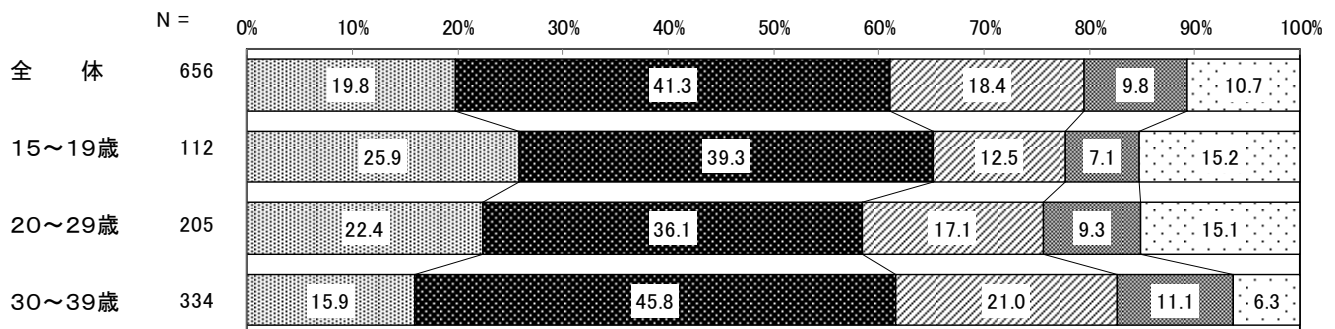
◆就業状況別では、『希望がある』は現在就業しているが、休職や休業中の回答者で77.8%、就業していないが就業経験のある回答者で73.9%と高くなっています。

◆所得別では、『希望がない』は低所得世帯では33.9%となっています。

◆家計逼迫別では、『希望がない』は家計逼迫リスクのある回答者で43.4%となっています。（図表4-30）

問34将来について明るい希望を持っている[%]

□ 希望がある ■ どちらかといえば希望がある ▨ どちらかといえば希望がない ■ 希望がない □ 無回答



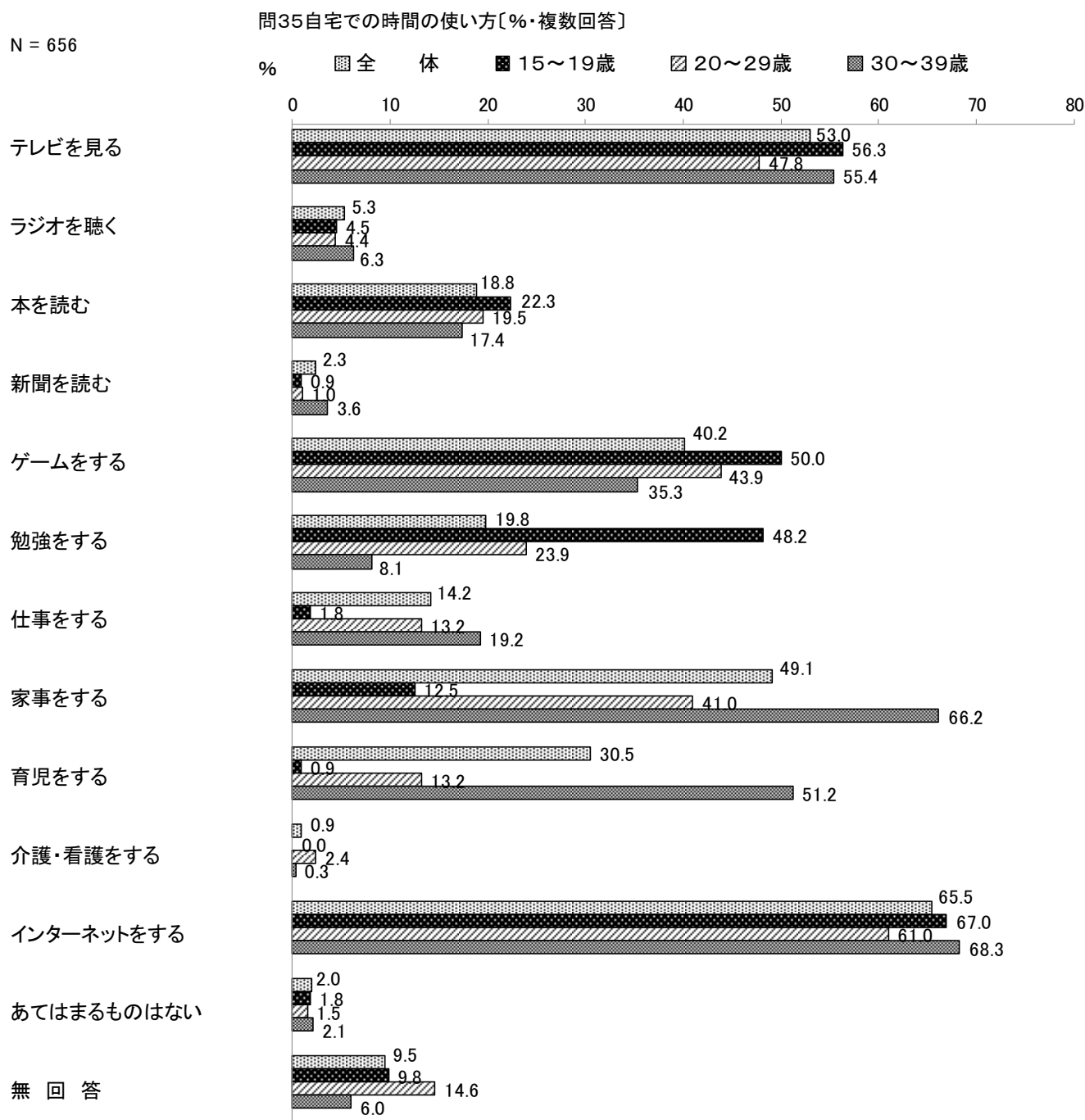
4.3 現在の生活状況など

問35 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どのようなことに時間を使っていますか。

全体では、「インターネットをする」が65.5%と高く、「テレビを見る」が53.0%、「家事をする」が49.1%、「ゲームをする」が40.2%となっています。

30～39歳で「家事をする」が66.2%、「育児をする」が51.2%となっています。15～19歳で「ゲームをする」が50.0%、「勉強をする」が48.2%となっています。

◆婚姻状況別では、未婚者で「勉強をする」が31.1%、配偶者のいる回答者で「テレビを見る」が58.7%、「家事をする」が76.8%、「育児をする」が63.5%、配偶者と離別（離婚）した回答者で「仕事をする」が29.4%、「家事をする」が82.4%、「育児をする」が58.8%と高くなっています。（図表4-31）



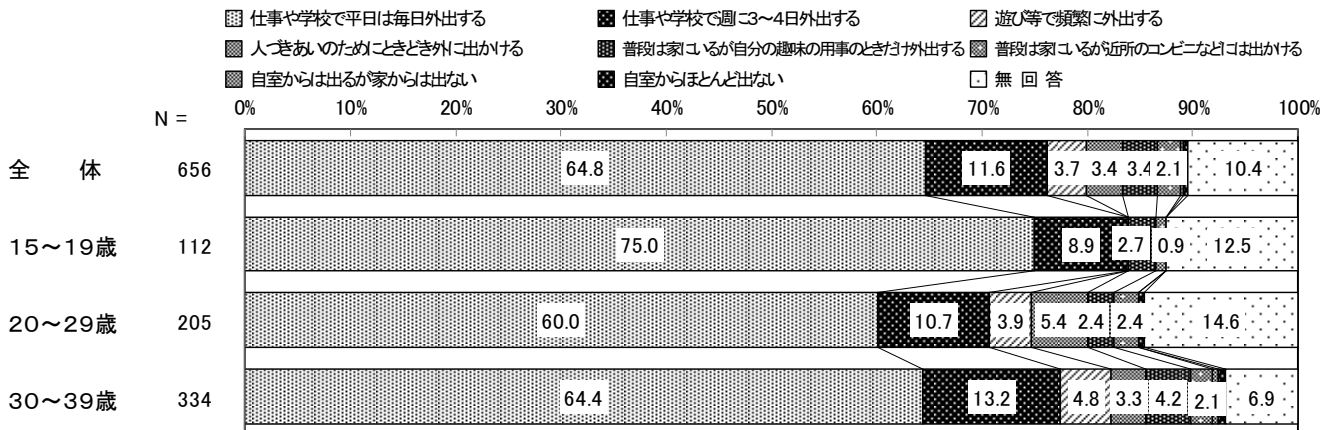
問36 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

全体では、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が64.8%と高く、「仕事や学校で週に3～4日外出する」が11.6%となっています。

15～19歳で「仕事や学校で平日は毎日外出する」が75.0%となっています。

◆就業状況別では、現在就業している回答者は「仕事や学校で平日は毎日外出する」が72.2%と高くなっている。(図表4-32)

問36 普段の外出状況[%]



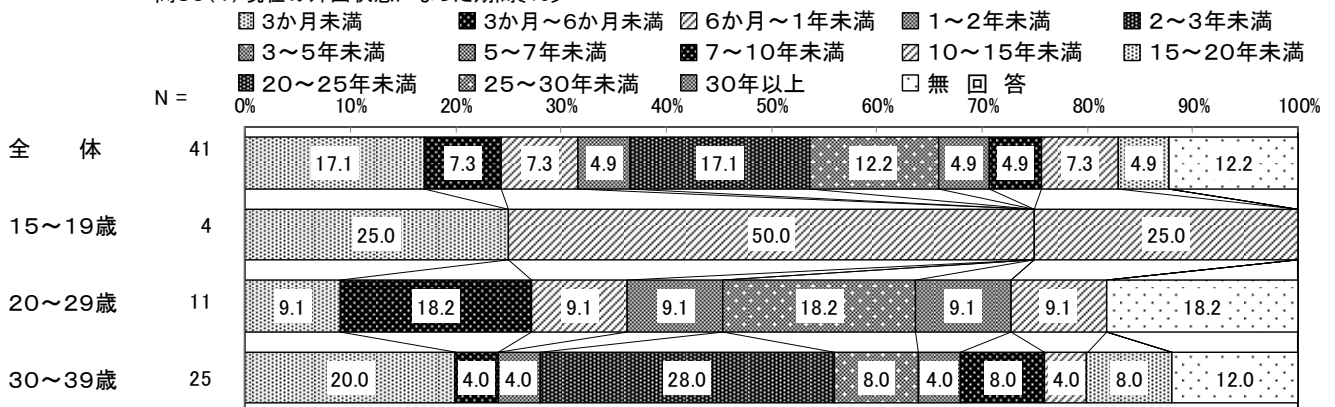
○全体「自室からほとんど出ない」:0.5%、「自室からは出るが家からは出ない」:0.3% ○15～19歳「普段は家にいるが近所のコンビニなどには出かける」0.9%、「遊び等で頻繁に外出する」「人づきあいのためときどき外に出かける」「自室からは出るが家からは出ない」「自室からほとんど出ない」:0.0% ○20～29歳「自室からほとんど出ない」:0.5%、「自室からは出るが家からは出ない」:0.0% ○30～39歳「自室からは出るが家からは出ない」「自室からほとんど出ない」:0.6%

(1) 問36で「5～8」を選んだ場合、あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

全体では、「3か月未満」と「2～3年未満」がともに17.1%と高く、「3～5年未満」が12.2%となっています。

20～29歳で「3か月～6か月未満」と「3～5年未満」がともに18.2%、30～39歳で「2～3年未満」が28.0%となっています。

問36(1) 現在の外出状態になった期間[%]



○全体「20～25年未満」「25～30年未満」「30年以上」:0.0% ○15～19歳「3か月～6か月未満」「1～2年未満」「2～3年未満」「3～5年未満」「5～7年未満」「7～10年未満」「15～20年未満」「20～25年未満」「25～30年未満」「30年以上」:0.0% ○20～29歳「2～3年未満」「7～10年未満」「15～20年未満」「20～25年未満」「25～30年未満」「30年以上」:0.0% ○30～39歳「6か月～1年未満」「20～25年未満」「25～30年未満」「30年以上」:0.0%

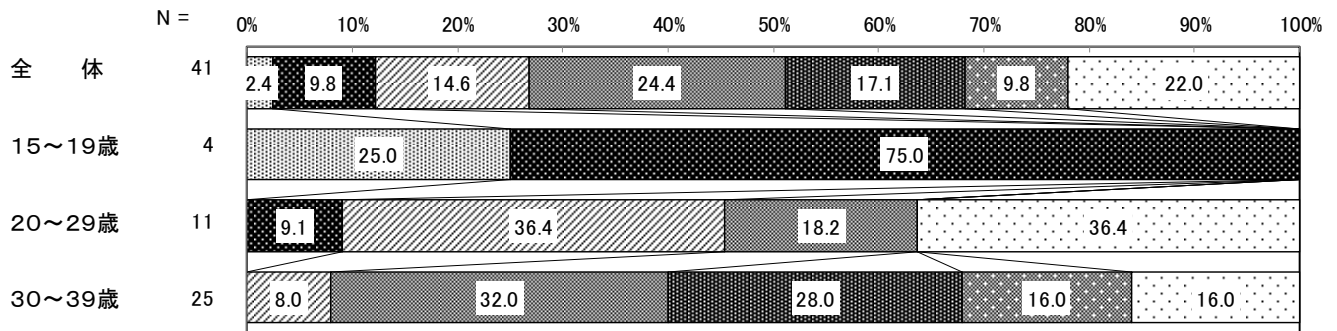
(2) 問36で「5～8」を選んだ場合、あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。

全体では、「25～29歳」が24.4%と高く、「30～34歳」が17.1%、「20～24歳」が14.6%となっています。

20～29歳で「20～24歳」が36.4%、30～39歳で「25～29歳」が32.0%、「30～34歳」が28.0%、「35～39歳」が16.0%となっています。

問36(2)現在の外出状況状態になった年齢[%]

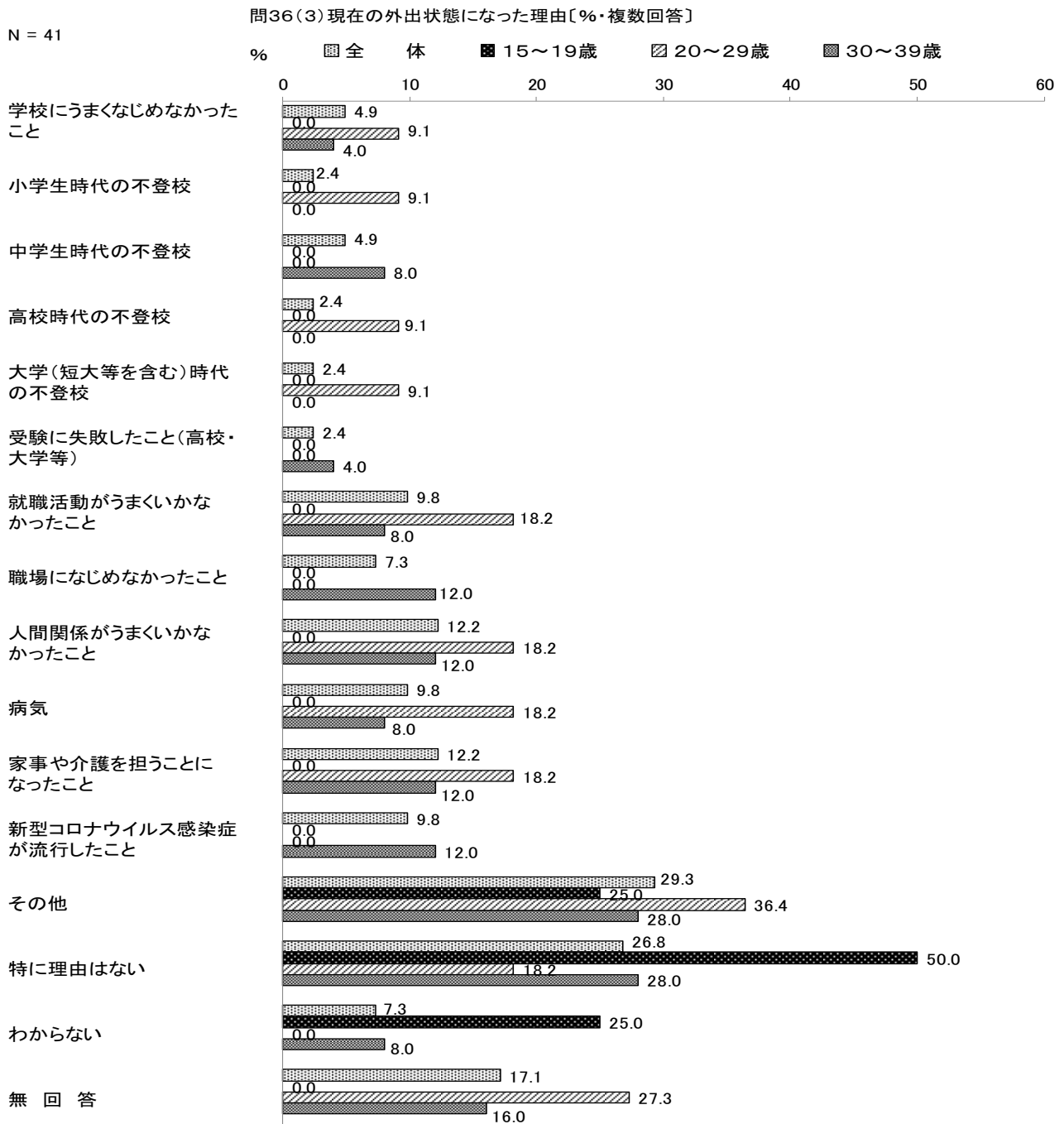
■ 14歳以下 ■ 15～19歳 ▨ 20～24歳 ■ 25～29歳 ■ 30～34歳 ■ 35～39歳 □ 無回答



○15～19歳「20～24歳」「25～29歳」「30～34歳」「35～39歳」「無回答」:0.0% ○20～29歳「14歳以下」「30～34歳」「35～39歳」:0.0% ○30～39歳「14歳以下」「15～19歳」:0.0%

(3) 問36で「5～8」を選んだ場合、あなたの外出状況が現在の状態になった理由は何ですか。

全体では、「その他」が29.3%、「特に理由はない」が26.8%、「家事や介護を担うことになったこと」が12.2%、「就職活動がうまくいかなかったこと」と「病気」がともに9.8%となっています。

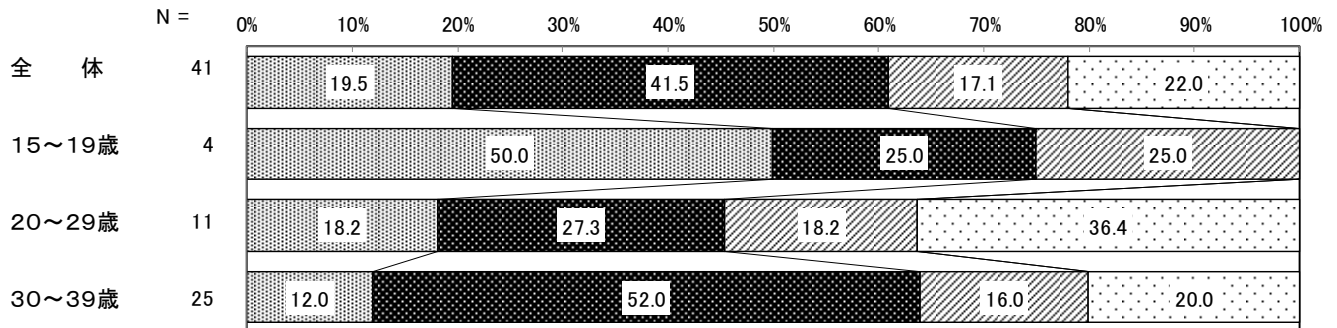


(4) 問36で「5～8」を選んだ場合、最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。

全体では、「ときどき会話した」が41.5%と高く、「よく会話した」が19.5%、「ほとんど会話しなかった」が17.1%となっています。

問36(4)最近6か月間の家族以外の人との会話[%]

■ よく会話した ■ ときどき会話した ▨ ほとんど会話しなかった ■ まったく会話しなかった □ 無回答



○全体「まったく会話しなかった」:0.0% ○15～19歳「まったく会話しなかった」「無回答」:0.0% ○20～29歳「まったく会話しなかった」:0.0% ○30～39歳「まったく会話しなかった」:0.0%

問37 あなたは、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験が、今まで（現在進行も含めて）ありましたか。最もあてはまるものを選んでください。

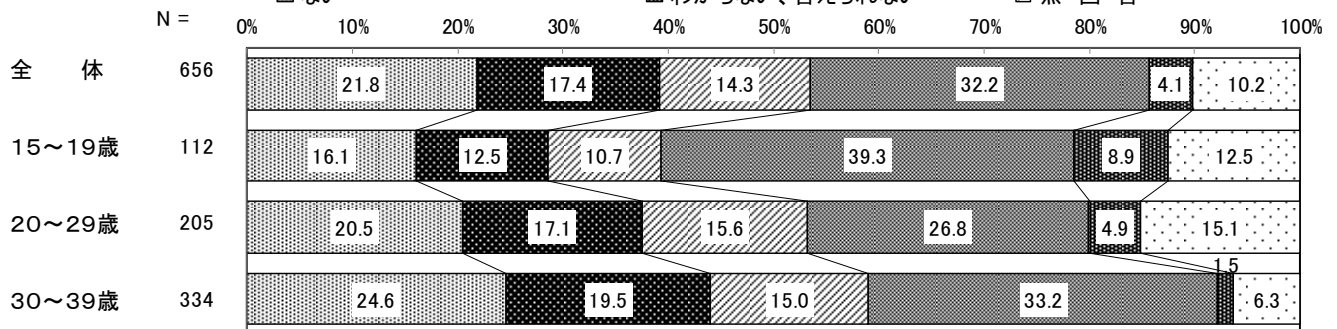
全体では、「ない」が32.2%で、「どちらかといえばない」の14.3%と合わせた『ない』は46.5%、『ある』（「今までに経験がある」と「どちらかといえばある」の計）は39.2%となっています。

30～39歳で『ある』が44.1%となっています。

- ◆婚姻状況別では、配偶者と離別（離婚）した回答者で『ある』が52.9%と高くなっています。
- ◆就業状況別では、『ある』が現在就業しているが、休職や休業中の回答者で55.5%、就業していないが就業経験のある回答者53.9%と高くなっています。（図表4-33）

問37社会生活や日常生活を円滑に送れなかった経験[%]

■ 今までに経験がある ■ どちらかといえばある ▨ どちらかといえばない ■ ない ■ わからない、答えられない □ 無回答

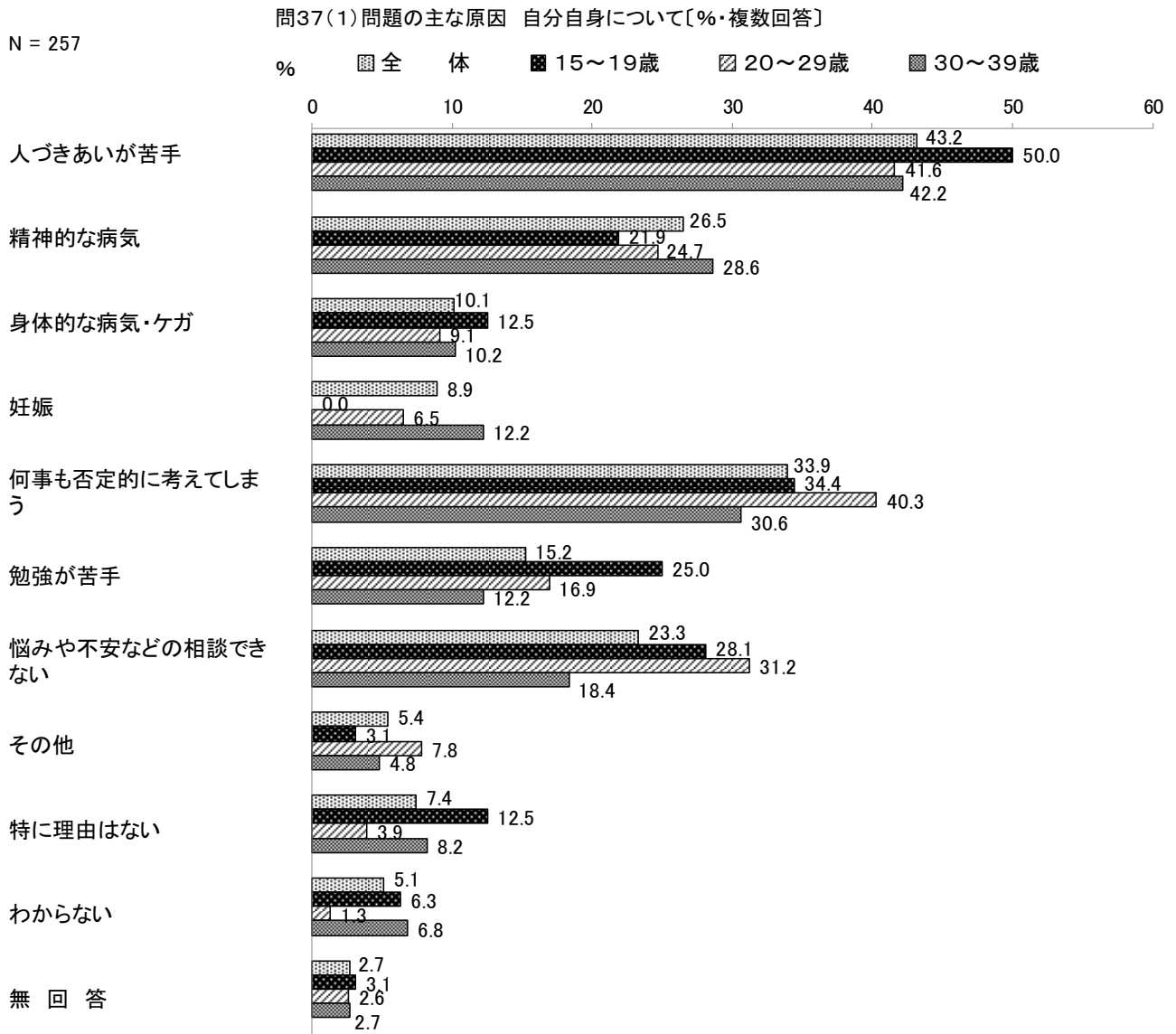


(1) 問37で「1」、「2」を選んだ場合、そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。以下のそれぞれにお答えください。

【自分自身について】

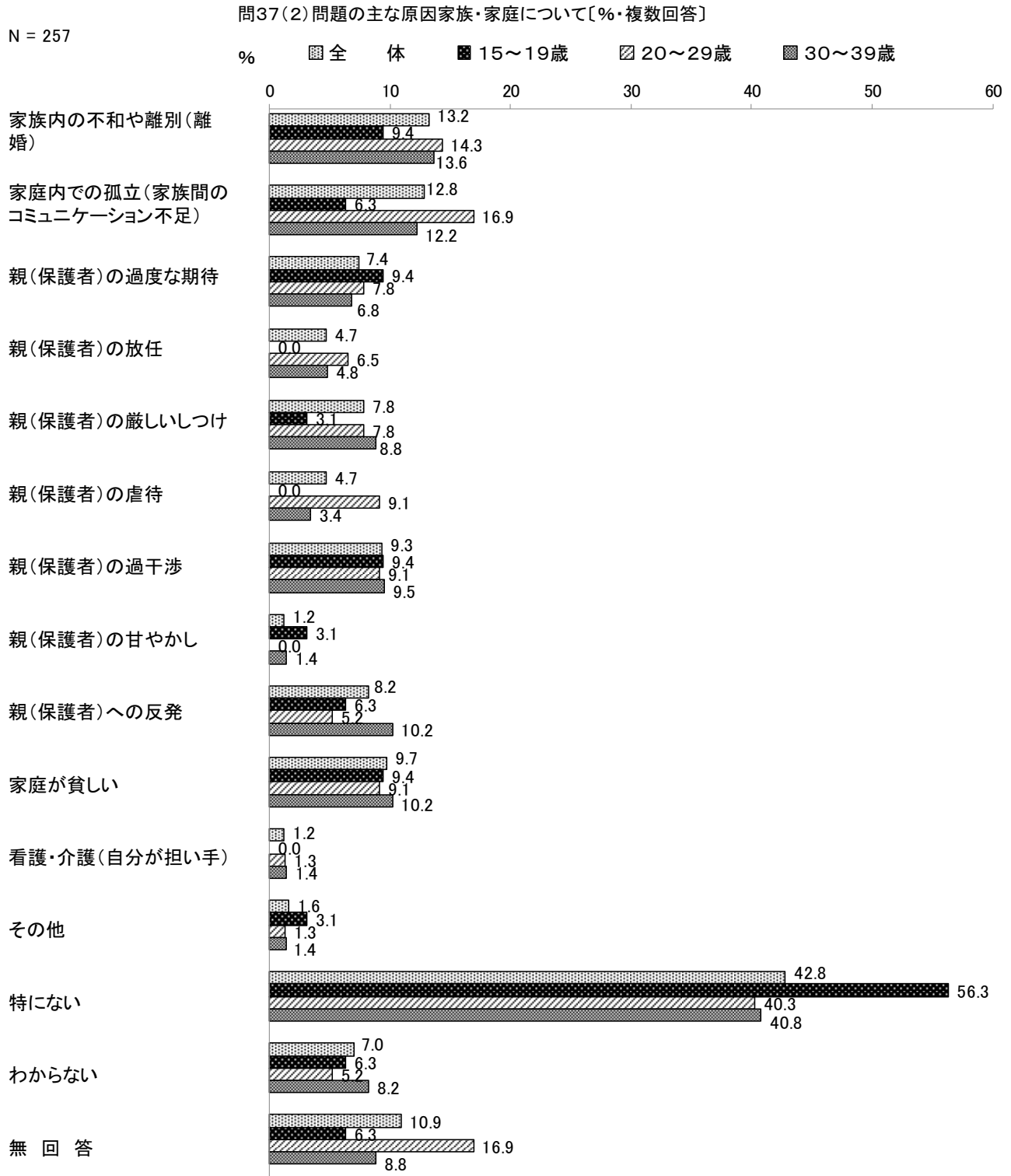
全体では、「人づきあいが苦手」が43.2%と高く、「何事も否定的に考えてしまう」が33.9%、「精神的な病気」が26.5%、「悩みや不安などの相談できない」が23.3%となっています。

15～19歳で「人づきあいが苦手」が50.0%、「勉強が苦手」が25.0%、20～29歳で「何事も否定的に考えてしまう」が40.3%、「悩みや不安などの相談できない」は15～19歳と20～29歳で30%前後となっています。



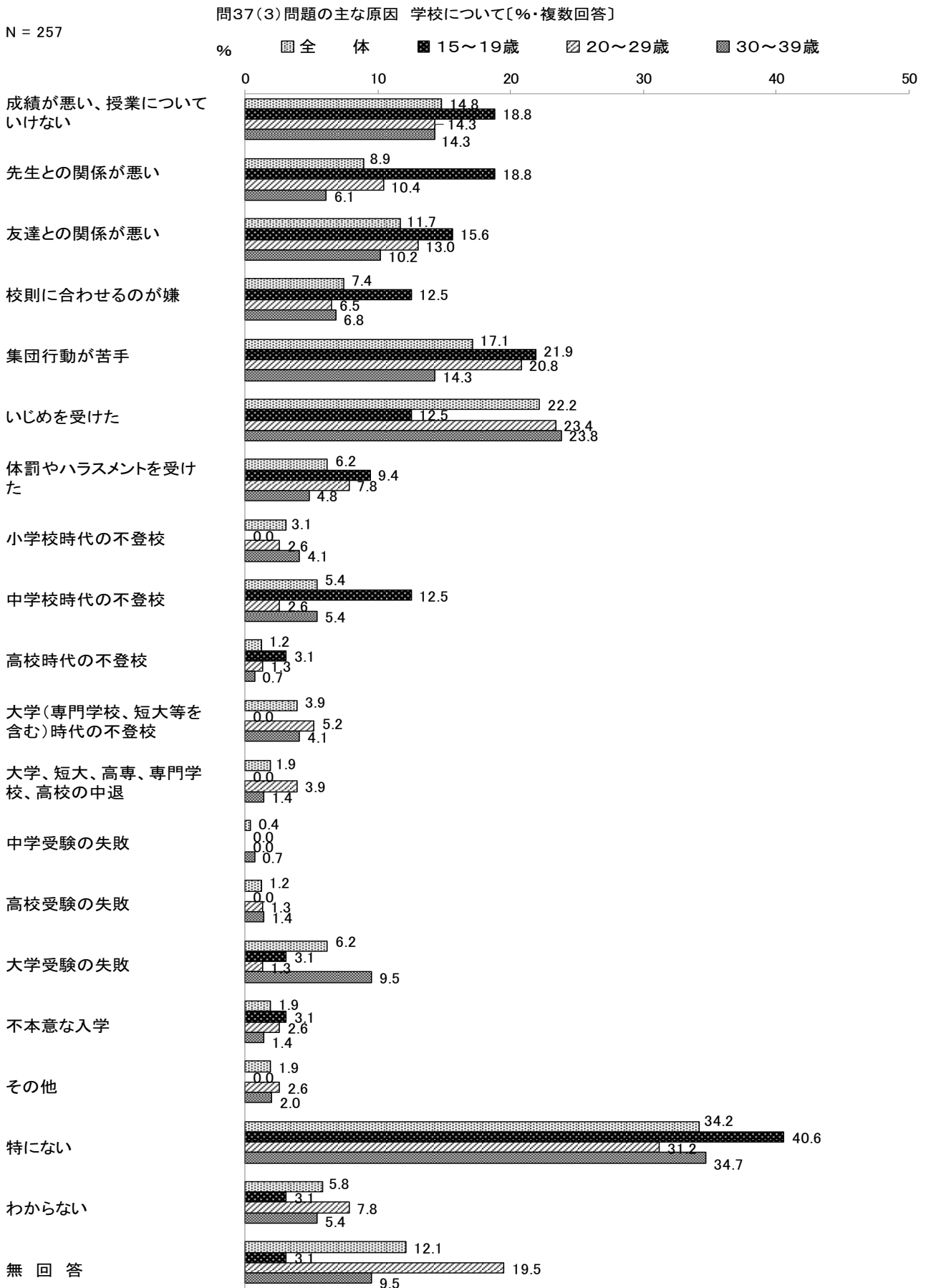
【家族・家庭について】

全体では、「特にない」が42.8%と高く、「家族内の不和や離別（離婚）」が13.2%、「家庭内での孤立（家族間のコミュニケーション不足）」が12.8%、「家庭が貧しい」が9.7%となっています。
 ◆家計逼迫別では、家計逼迫リスクのある回答者で「家庭内での孤立（家族間のコミュニケーション不足）」が26.9%、「家庭が貧しい」が28.8%となっています。（図表4-34）



【学校について】

全体では、「特にない」が34.2%と高く、「いじめを受けた」が22.2%、「集団行動が苦手」が17.1%、「成績が悪い、授業についていけない」が14.8%、「友達との関係が悪い」が11.7%となっています。

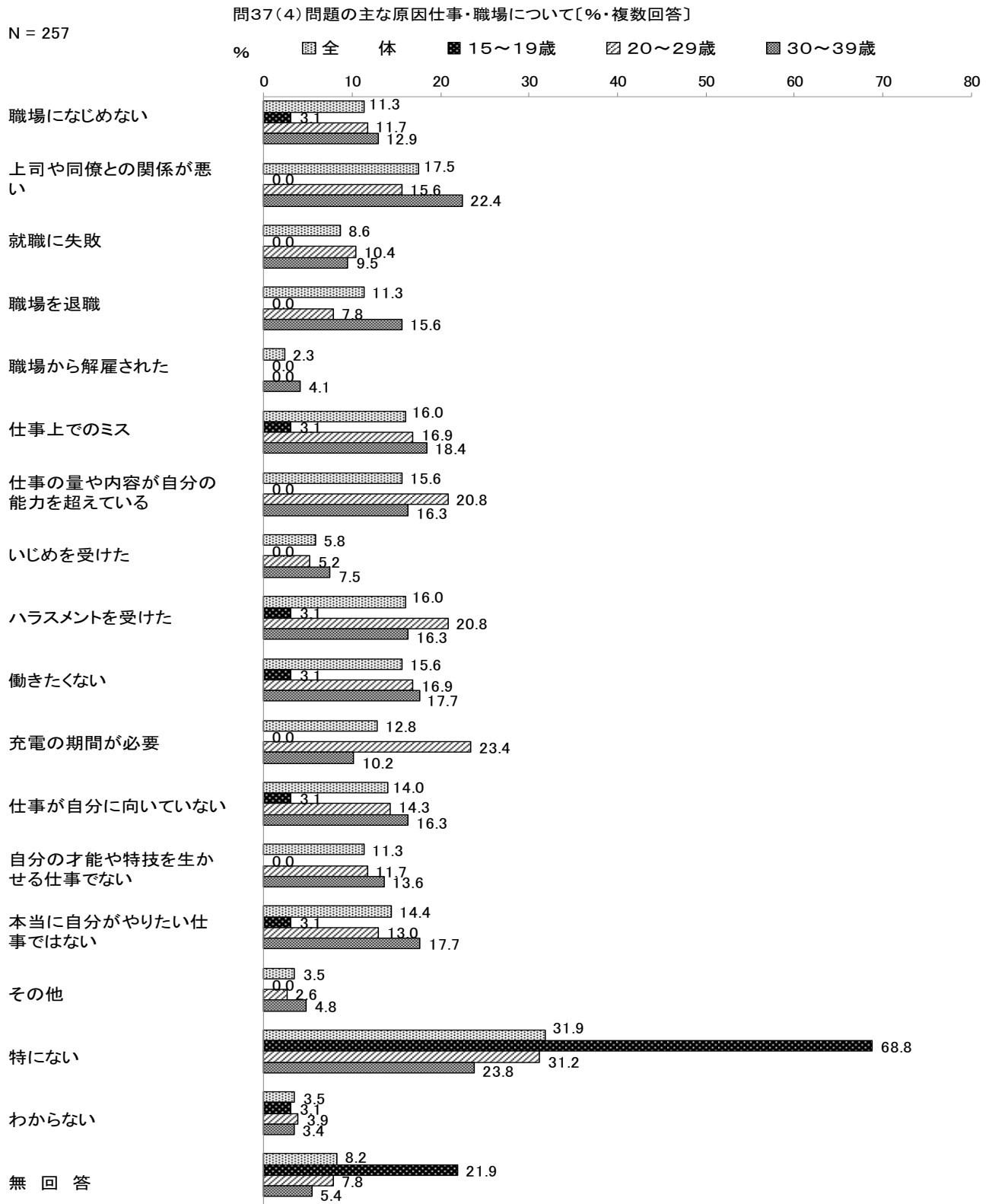


【仕事・職場について】

全体では、「特にない」が31.9%と高く、「上司や同僚との関係が悪い」が17.5%、「仕事上でのミス」が16.0%、「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」と「働きたくない」がともに15.6%、「本当に自分がやりたい仕事ではない」が14.4%となっています。

30～39歳で「上司や同僚との関係が悪い」が22.4%、20～29歳で「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」が20.8%となっています。

◆就業状況別では、現在就業しているが、休職や休業中の回答者で「上司や同僚との関係が悪い」と「充電の期間が必要」が33.3%となっています。(図表4-35)

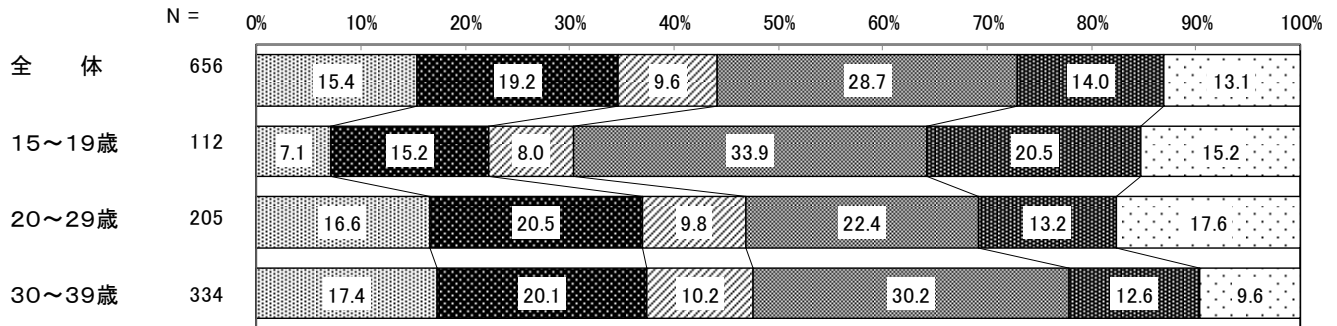


問38 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありますか。最も近いものを選んでください。

全体では、「なかった」が28.7%で、「どちらかといえばなかった」の9.6%と合わせた『なかった』は38.3%、『あった』（「あった」と「どちらかといえばあった」の計）は34.6%となっています。

問38生活等を円滑に送れない状態からの改善[%]

■ あった ■ どちらかといえばあった ▨ どちらかといえばなかった ■ なかった ■ わからない □ 無回答



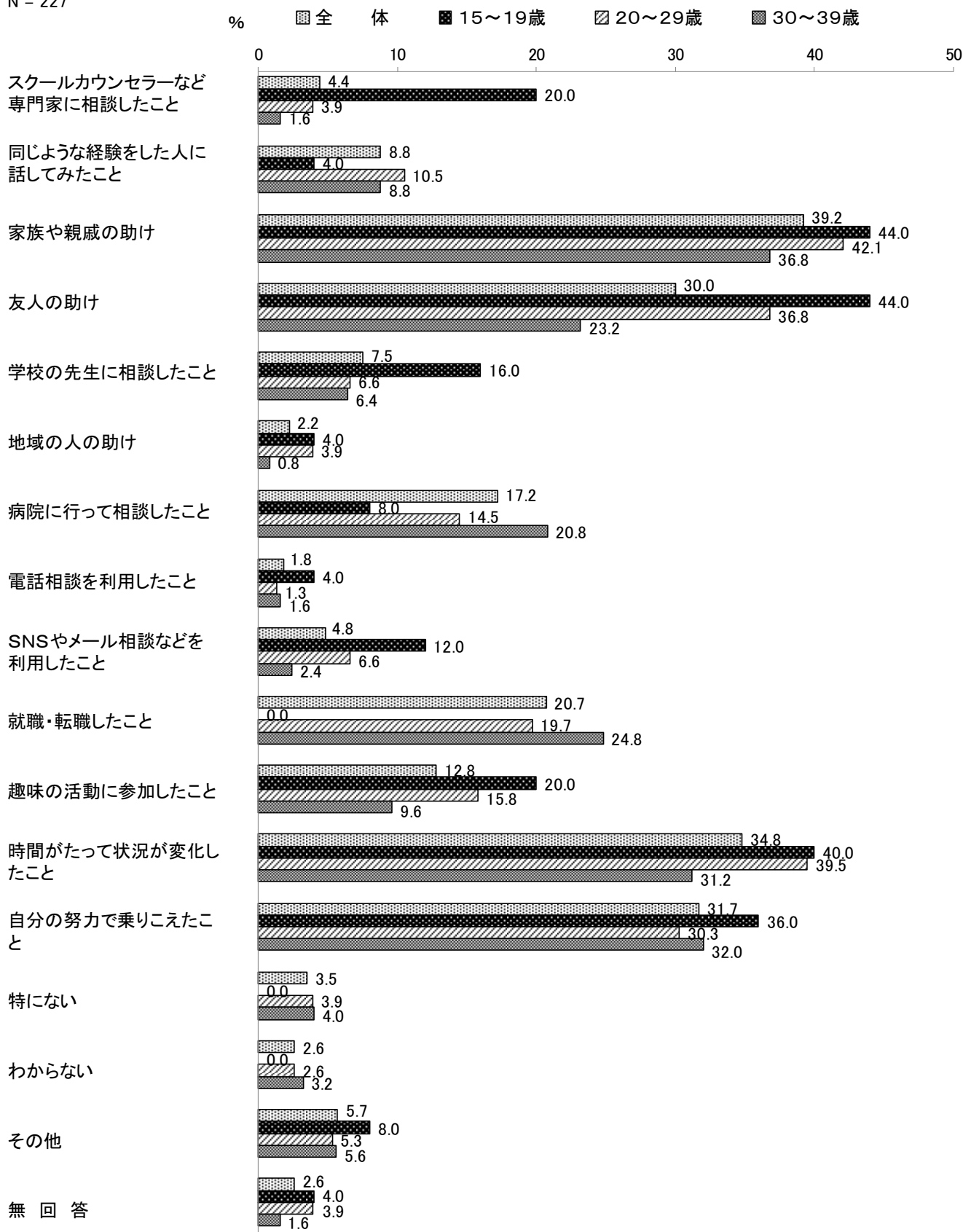
(1) 問38で「1」、「2」を選んだ場合、状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何ですか。

全体では、「家族や親戚の助け」が39.2%、「時間がたって状況が変化したこと」が34.8%、「自分の努力で乗り越えたこと」が31.7%、「友人の助け」が30.0%と高く、「就職・転職したこと」が20.7%となっています。

15～19歳と20～29歳で「時間がたって状況が変化したこと」と「友人の助け」が40%程度となっています。

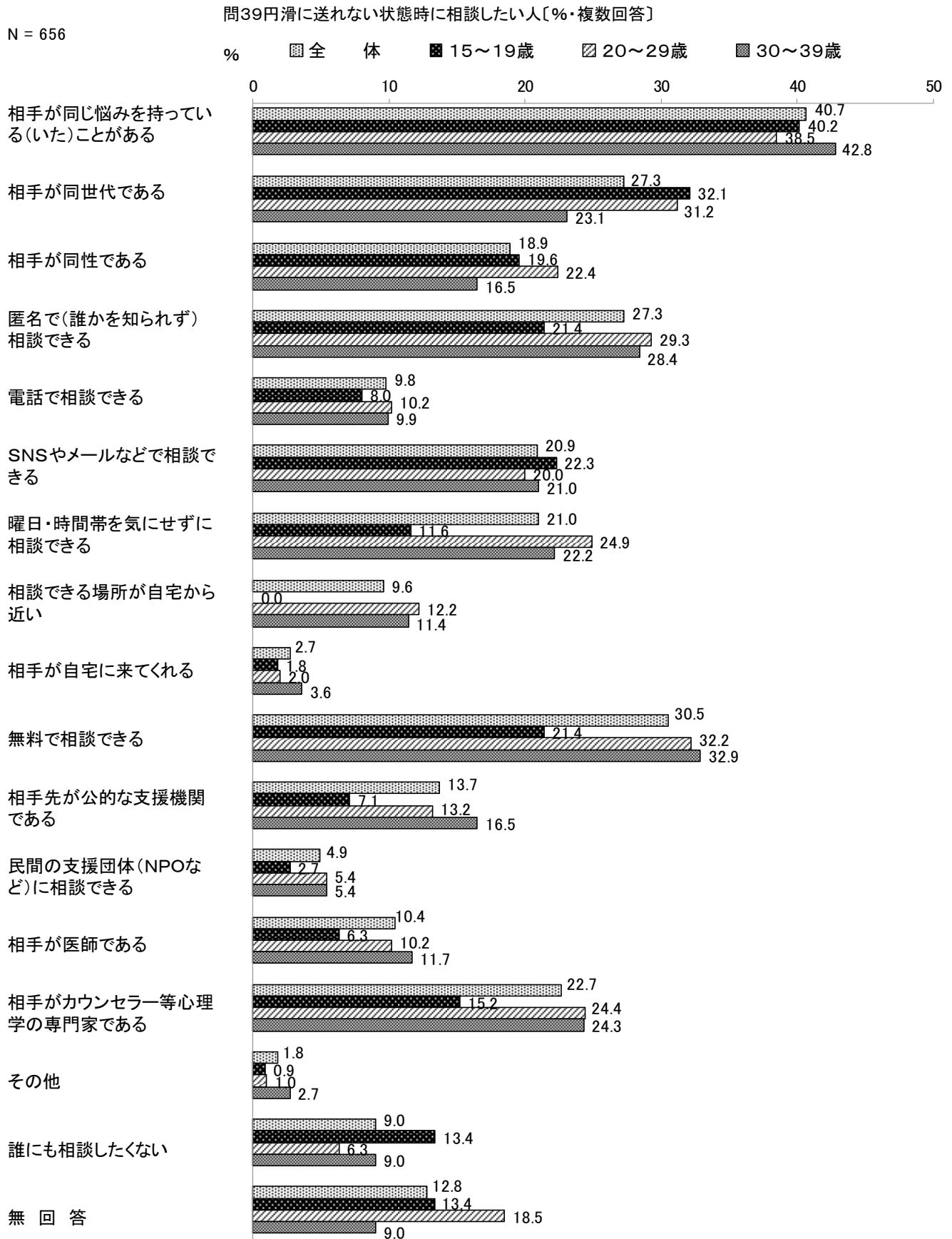
問38(1) 状態改善のきっかけ・役立ったこと[%・複数回答]

N = 227



問39 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談する場合、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。

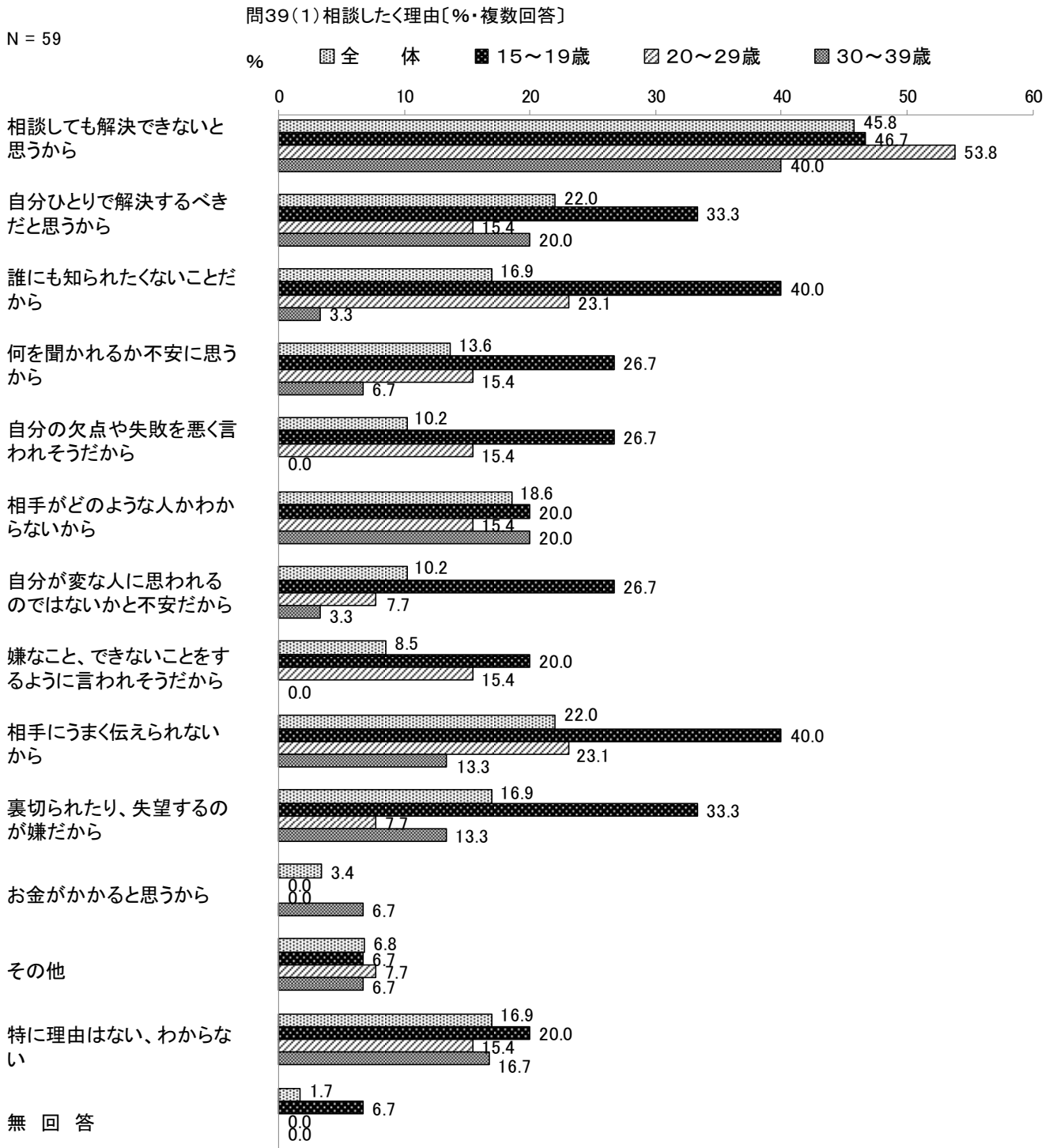
全体では、「相手と同じ悩みを持っている(いた)ことがある」が40.7%と高く、「無料で相談できる」が30.5%、「相手と同世代である」と「匿名で(誰かを知られず)相談できる」がともに27.3%、「相手がカウンセラー等心理学の専門家である」が22.7%となっています。



(1) 問39で「16 誰にも相談したくない」を選んだ場合、相談したくないと思う理由は何ですか。

全体では、「相談しても解決できないと思うから」が45.8%と高く、「自分ひとりで解決するべきだと思うから」と「相手にうまく伝えられないから」がともに22.0%、「相手がどのような人かわからないから」が18.6%、「誰にも知られたくないことだから」、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」と「特に理由はない、わからない」がいずれも16.9%となっています。

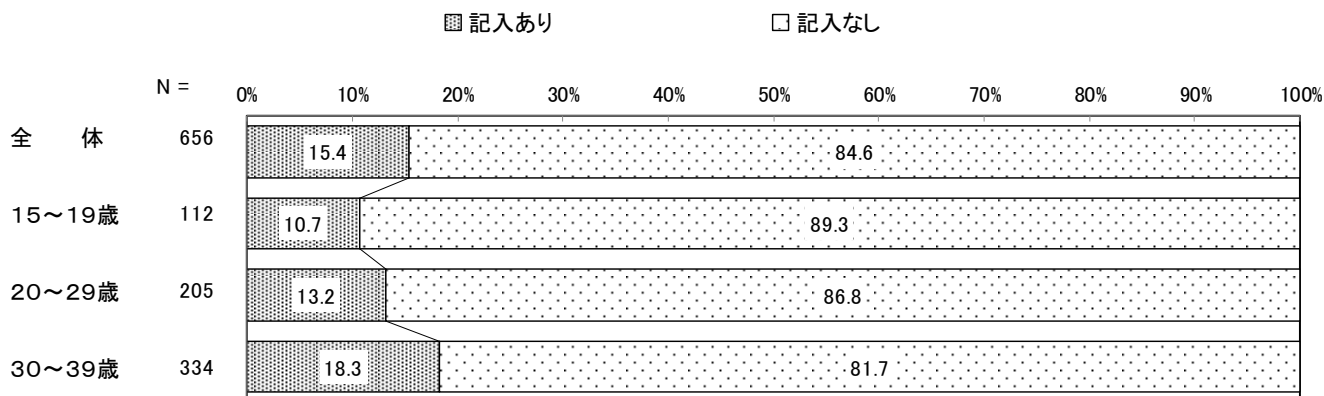
20～29歳で「相談しても解決できないと思うから」が53.8%、15～19歳で「自分ひとりで解決するべきだと思うから」と「裏切られたり、失望するのが嫌だから」がともに33.3%、「相手にうまく伝えられないから」と「誰にも知られたくないことだから」がともに40.0%となっています。



問40 社会生活や日常生活を円滑に送ることができないことについての悩みなど、自由にお書きください。

全体では、「記入あり」が15.4%で、「金銭面に関すること」、「子育てや、仕事と育児の両立に関すること」などの意見がみられます。

問40自由意見[%]



順位	内容	件数
1位	金銭面に関すること	19件
	物価高だが、給料が上がらない。一生懸命働いても、その分税金ばかり取られて嫌になる。夫婦共に正規職員として働いていて子どもが一人のみだが、金銭的に余裕があるとは言えない。贅沢はしておらず自分の服などは購入を見送ることもあり、物価の高さを感じる。社会人になったばかりのため、金銭的問題がある。	
2位	子育てや、仕事と育児の両立に関すること	14件
	仕事と育児の両立が大変である。忙しい。家事、育児を一人でやっている。協力してくれない。育児ばかりで家事も手につかず、自分の時間もとれない。息抜きが上手くできない。育児で近所の買い物に行くのも困難を感じる。金銭的不安がなく、子どもがいても働きやすい環境があれば、2人目、3人目がほしい気持ちはある。子どもが大きくなると子育てについて気軽に相談できる場所が少ない。	
3位	職場や就職に関すること	各9件
	今年の4月から社会人になったが毎日大変で行きたくない日がある。面接でいつも落ちる。人を見た目で判断しすぎる。どこの職場にもパワハラ人間がいる。現在精神疾患があり、正社員として就職できていないことが悩みである。	
5位	施設や交通機関に関すること	8件
	他愛のない雑談ができるスペースやカフェのような場所で、些細なことから行政サービス等を紹介してくれるような相談員がいるサービスがあるとよい。東鷲宮駅の立体通路は本当に必要ないと思う。子どもたちが遊ぶ場所、若者の遊ぶ場所、交通機関は栗橋地域のバスを茨城県境町のようにしてほしい。学校にもう少しお金をかけてあげてほしい。外壁落下の放置等はありません。	
5位	人間関係に関すること	8件
	人とのコミュニケーションが苦手である。改善しようにも、付き合いのある人がいない。人間関係を億劫に感じてしまう時期が定期的であり、よい関係を長く保てない。隣人が何に興味をもっているのか全くわからない。接点がない。	

4.4 アンケート結果から見える現状・課題

○こども・若者の状況

問2『年齢』は「35～39歳」が28.0%、「30～34歳」が22.9%、「15～19歳」が17.1%となっています。問3『婚姻状況』は「未婚」が52.4%、「配偶者あり」は44.7%ですが、30～39歳は71.0%と高く。問4『同居家族』から世帯構成を見ると「2世代世帯」が74.8%、「夫婦のみの世帯」が8.2%と核家族に当たる世帯が高く、「単身世帯」は20～29歳で10.2%となっています。

問11『就労状況』は20～29歳と30～39歳で「正規の社員・職員・従業員」が約60%、15～19歳は「学生・生徒（予備校生などを含む）」87.5%となっています。

○職場環境

現在就業している職場については、問14『職場』で「子育て中の職員に職場・上司の理解がある」は85.9%、「休暇はとりやすい」は72.8%となっており、子育てに関する職場の理解は深まっている様子が伺えるものの、「出産・育児が就業継続・経歴の障害と感じる」が51.5%となっています。

また、問15『育児休業の取得について』は、「取得した」が母親は42.3%、父親は17.4%に対し、「取得していない、取得する必要がなかった」が母親は11.8%、父親は48.8%と相反関係がみられ、問16『家事・育児の時間』についても、母親で35.4%と最も高かった「8時間以上」が、父親では1.4%と、母親が主となる家庭生活が伺えます。

ワークライフバランスの考え方や実践は浸透しつつありますが、家庭と仕事を両立する難しさが根強く残っていることから、勤務先において組織全体でワークライフバランスへの取り組みを推進することが求められます。

○将来のこと

問18『将来、結婚や家族を持つこと』は15～19歳、20～29歳は「すると思う・持ちたい」がそれぞれ40.5%、50.0%ですが、30～39歳では「わからない」が35.0%、「しないと思う」が26.3%の回答もみられ、世代別で異なっています。

問20『理想のこども数と予定のこども数』については、理想は「2人」が42.7%、「3人」が21.2%ですが、予定は「2人」が26.8%、「0人」が19.5%と低くなっています。理想と予定のこども数が異なる主な理由は、「子育てや教育にお金がかかる」が45.6%、「金銭的に不可能」が33.5%、「子育てが大変だから」が23.4%となっており、理想のこども数を実現することが難しい状況が伺えます。

問22『今後の定住意向』は「はい」が62.7%と高くなっています。また、問23『若い世代等市民が住み続けたいと思える久喜市となるための取組』では、「子育て支援サービスの充実」が54.7%、「こどもの教育環境や生涯学べる環境づくり」が48.9%、「奨学金や各種給付金による経済的支援」が40.5%などとなっています。

○現在の生活状況等

問25『自分が幸せだと思う』は76.4%、『そう思わない』は14.1%となっています。問24、25を通じて、自己肯定感や幸福感は20代で低くなり、30代で高くなる傾向が見られます。

問35『普段自宅でしていること』では、「インターネットをする」が65.5%、「テレビを見る」が53.0%、「家事をする」が49.1%、「ゲームをする」が40.2%となっており、家族をはじめとする周囲の存在とのコミュニケーションを取る時間が少ない傾向がみられます。

そして、問37『社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験』が『ある』は39.2%で、自分自身の主な原因として「人づきあいが苦手」が43.2%と高く、「何事も否定的に考えてし

まう」が 33.9%、「精神的な病気」が 26.5%、「悩みや不安などの相談できない」が 23.3%という状況から、人付き合いをすることへの苦手意識や負担感がみられ、問 39 での「誰にも相談したくない」様々な理由は、コミュニケーションを避け、自己完結に至ることで、内向性が強まり、孤独や孤立に繋がる可能性があります。

孤独や孤立が心身に及ぼす悪影響は、ストレスの増加や免疫力の低下、認知機能の衰えや精神疾患となるリスクといった生命に関わる危険性があるため、同じ思いを抱く人同士や、同じ経験を克服した人と分かち合いができる場所や、気軽に立ち寄れ、相談できる場所づくりが求められます。